(明治四十年八月二十五日第三種郵便物認可)

滿洲日報

夕刊 八月二十一日

發行所 大連市東公園町三十一番地 株式會社滿洲日報社

けふ南京政府會議で重要對日方針を協議
無謀な强硬論は斥けられるか
蔣氏の態度注目さる

【南京特電二十日發】明日の政府會議には南昌より歸つた蔣介石氏が久し振りで出席今まで方針の確定を見なかつた萬寶山事件其他**重要對日方針に確定的裁斷を下す**筈で朝鮮事件第三回抗議草案も此會議に上程通過の上直に日本側に送達される事にならう、蔣介石氏が對日方針に對し如何なる裁斷を下すかは異常な注目を惹き一般に傳へられるが如く**無謀に近い强硬論は排撃され相當穩和且妥當な方針**の決定を見るものと觀られてゐる、從つて朝鮮事件其他も案外簡單に解決の道を辿るであらうと豫斷する向きが尠くない、目下の排日運動についても相當の考慮が拂はれる模樣で全然禁止しない迄も相當の手心が加へられる模樣である

青島事件の責任を支那は日本に轉嫁
解決の無誠意を暴露

【青島廿日發】青島事件に關する日支協同檢證の結果支那側はその責任を日本側になすり逆襲し來り交渉有利に解決せんとし支那側は早くも解決を圖る誠意なき事を暴露するに至つた

球磨の陸戰隊は當分上陸を禁止
萬一の際は直に出動

【青島特電廿一日發】軍艦球磨は昨日午前九時入港した第二遣外艦隊司令官津田少將が座乘し居り居留民の保護に關しては遺憾なき手配を爲し居りたので在留民は安堵した、青島事件直後の際當分は水兵の上陸を禁止し萬一の際は直に出動し得る樣準備してゐる

支那紙逆宣傳

【青島特電廿一日發】青島市黨部機關紙青島民國日報は國粹會は常に武器を弄し大和魂の美名に隱れ支那人を脅迫してゐる、事件の發生原因はかゝる日本側にあり暴力團の存在は社會の安寧を害するを以て日本側に嚴重取締方を要求し損害賠償をも要求すべしと宣傳してゐるが、胡青島市長は原因は兎も角斯かる不祥事を惹起した事は兩國親善のため遺憾であるから友誼的精神に基き一日も速かに解決したいと語つてゐる

閻、馮兩氏今後の進退

【北平二十日發】太原來電によれば中央から外遊を迫られゐる閻錫山氏は我事成れりと五臺山の奥に隱遁し又馮玉祥氏も外遊の模樣なきも奉天側は軍事上強制されたものと見てゐる

蔣氏の下野 絶對條件

【廣東二十日發】蔣介石氏が宋慶齡女史を通じ南京、廣東の妥協を畫策してゐるに對し廣東側孫科、古應芬氏等協議の結果蔣介石氏の下野以外の條件では妥協に絶對反對するに決定した

天津戒嚴司令部閉鎖

【天津特電廿一日發】天津戒嚴司令部は戰局も一段落を告げたので二十五日限り閉鎖することに決定したが張學銘氏は更に警備司令部に改組すべく目下準備中

奉派、閻氏に外遊希望

【濟南特電廿一日發】赴平中であつた韓復榘氏の代表宋式顔氏は往訪の記者に次の如く語つた
張學良氏と北方の治安について充分の協議を遂げたが氏は韓復榘氏との會見を熱心に希望してゐた、韓氏も石軍の改編を了つてから北平に赴くであらう、學良氏は全快し各方面の代表に連日會見してゐたが、閻錫山氏の歸着には非常に不滿を抱き自發的に外遊することを求めてゐた山東の石軍改容には滿足の意思を表示してゐた

滿洲の現狀を奏上 菱刈大將より

【東京特電二十一日發】菱刈前軍司令官は二十一日朝七時二十分上野發、那須御用邸に伺候し聖上陛下に拜謁し軍部側より見たる滿洲の現狀につき詳細御報告申上ぐる所あり陛下より有難き御言葉を賜り恐懼して退出、同地に一泊の上二十二日歸京の豫定である

厄介なオリムピック競技規則書

スタヂユームの新設擴大入場券の前賣と來夏ロサンゼルスで開かれる第十回國際オリムピック競技に主催國米國では莫大な費用を投じて大わらべの準備中だが國際的競技に適はしく規則書もジユリア・シメーヤー孃の苦心で四ケ國語に飜譯されこの程五萬册ばかりが刷上つて全世界の六十二のオリムピック委員會に發送される事になつた、寫眞は刷上つた苦心の規則書を見るジユリア・シ・メーヤー孃と、技術監督のウイリアム・エツチ・ヘンリー氏

植民地學位令は修正通り可決か
政府、宇垣總督に照會

【東京特電二十一日發】樞府御諮詢中の植民地學位令は審査委員會で修正可決された儘政府は朝鮮總督更迭等あり修正を同意するや否や定まらざるために樞府に對し本會議留保を交渉した儘今日に及んでゐるが最近拓務省より宇垣新總督に對し右修正の可否意向を問合せ中でこの回答を待ち閣議に諮り態度決定の上樞府に通知する筈朝鮮總督以外の各植民地長官は何れも修正に同意してゐるやうだから結局本會議で委員會の修正通り決定する事とならう

省廢合問題
一般行整と切離して 來週閣議で可否決定

【東京廿一日發】閣内の意見は省廢合反對に傾きつゝある狀勢に鑑み若槻首相は川崎翰長を江木鐵相の許に派し意見を聽取する事となつたが之を實行すれば黨内の不統一を暴露し政治的危機を招來する惧れありこれを一般行政整理と切り離して當面の動搖を避ける樣で來週の閣議で若槻首相より諒解を求める事となる模樣である

陸相首相協議

【東京二十一日發】南陸相は二十一日午前十時若槻首相と會見したが、若槻首相は頑強に大藏省の豫算節減要求に對抗してゐる陸軍の再考を促し軍制改革につきても協議を行つた

海外發展上 廢止反對 原拓相の意見

【東京特電廿一日發】省廢合問題につき廿日閣議後若槻首相は町田、櫻内、原三相と懇談したが會見後原拓相は語る
實は過日首相から十七日會見したいとの事だつたが延々となつて今日三大臣一緒に會見する事になつたのだが勿論省の廢合に關するもので劈頭首相から準備委員會からは未だ何等正式報告はないが色々新聞もうるさいし又興黨の注文もあるし近く審議會の議題となるから意見を述べろとの事で意見を述べた、自分は植民地統治統一海外發展は今日の不況の深刻化人口過剩から觀て絶對必要と思ふ故に拓務省廢止は反對である、省廢合が直ちに行政整理であるかの如く觀るものもあるが之は間違ひである

反日決死隊を組織
日貨の强奪を敢行
我陸戰隊と對抗形勢

【上海二十日發】我陸戰隊の活躍以來排日會檢査隊は怖氣づき强盜的行爲を控へてゐたが反日會の過激分子は今回決死隊を組織し便衣を纏ひ拳銃を携帶し日貨强奪を續行し陸戰隊と對抗するに決した模樣で目下警戒中である

孫科氏等調停し汪精衛氏歸任す
北伐軍總司令に許崇智氏

【廣東特電廿二日發】孫科、唐紹儀氏らの調停で汪精衛氏は廣東に歸つた、許崇智氏は北伐軍總司令に就令した

日本人顧問の任用禁止

【南京特電廿一日發】蔣介石氏は北方各將領に向け一切日本人顧問を任用する勿れ、且つ租界地における反蔣派は充分取締るべしと發令した

日支の感情を融和し提携して行きたい
奉天事務所の設置も之が目的
内田滿鐵總裁車中談

沿線初度視察の途についた内田、江口滿鐵正副總裁は首藤、山西兩理事、杉本、八木兩秘書役等を帶同し二十一日午前八時三十分着列車で來奉、驛には日本側林總領事を始め森島領事、小倉地方課長、古川鐵道課長、迫庶務課長、立川奉天署長、野口居留民會長、藤田會頭、各機關團體代表その他知名士支那側から臧主席代理王鏡寰氏、高紀毅氏代理婁副陽、鄒恩元兩氏その他約百五十名の多數出迎へあり、驛貴賓室に小憩出迎への知名士と挨拶を交し在奉記者團と會談し直にヤマトホテルに入つたが、内田總裁は途中まで出迎への記者に對し語る
滿鐵沿線には數回來てゐる、然も日露戰爭當時遼陽から奉天まで來た事があるので諸君より精しいわけである、だが總裁としては今回が最初である、職制改正も一段落を告げたので外部の

實地視察 といふわけだ、今回はチチハルまで、滿鐵沿線全部を廻る豫定であつたが來月十日用事があるので一旦歸へり改めて安奉線視察に出る、職制改正も實績を見てからでなければ批評も出來ぬ、結果如何により惡い點は改める、傍系會社は整理よりも退職希望者を解職する位で今これに取りかゝつてゐる昭和製鋼所は最も重大な問題で特に慎重を要する、來年度の事業費豫算大減少については未だ考へてゐない

鐵道交渉 は高紀毅氏の病氣で捗らぬが全快次第開始するつもりである、その交渉の任も木村理事が當つてゐる從前通りだ
奉天事務所の擴張は地理的に亦國際都市として滿洲の中心地であるから奉天に重きを置き日支兩民族の提携を圖り平和な共存共榮が目的で今後成績の如何により擴張するやうにもならう、近頃は日支間で種々**感情を害**してゐるやうであるが滿鐵としてはお互に融和に努め提携して進んで行きたい【奉天電話】

滿鐵正副總裁 廿五日鞍山視察

滿鐵内田、江口正副總裁の一行の沿線初巡視に先立ち伍堂理事、斯波技術局長は二十一日午前四時半鞍山驛通過、正副總裁一行は二十一日午前六時十分鞍山驛を通過したが川崎鞍山地方事務所長は途中湯崗子まで出迎へ遼陽まで同車の後歸鞍した、同一行は奉天、撫順視察後鞍山には廿五日午前九時廿三分着列車にて到着する豫定である【鞍山電話】

對支關係は重大では無い
然し軍部の肚は決めてゐる
南陸相決意を語る

【東京特電廿一日發】二十日の閣議散會後南陸相は蒙古における中村大尉虐殺事件について左の如く語つた
中村事件については閣議で詳細に説明して置いたが支那官兵が斯くの如き事を敢てするのは甚だ怪しからぬ、談判は勿論外務省に一任して置いたが**支那側が之に應じない場合どうするかについては僕としても肚を決めてゐる**、然しその内容は今から發表すべき限りでないと思ふ、青島事件についても外相から報告があつたが近來續々色々な事件が支部に起るのは困つた事だ、然し**この程度を以て時局重大と爲すのは當るまい**【寫眞は南陸相】

山道幹事長進言

【東京二十一日發】省廢合問題につき二十日若槻首相は町田、原、櫻内三閣僚に對し意嚮を聽取したが反對を押し切つて斷行する事は困難なるものと見らるゝに至つた又興黨内で緒方木、富田、加藤、俵氏等の少數を除いては三省の廢合は賢明でないとし不徹底な反對氣勢有力となつた、よつて山道幹事長は何時までも未解決に放任するの不利なるを若槻首相に進言する模樣である

軍縮準備委員會

【東京二十一日發】第三回軍縮準備協議會は二十日午後一時三十分首相官邸に開催會議に派遣すべき代表の人員及び直接關係なりが九月の聯盟總會で佐藤全權から聲明すべき政府の態度其他につき協議し午後四時三十分散會した

臭い爆彈

長谷川如是閑

去月の十一日にロンドンのアルバート・ホールで一萬近くの大衆が會合して大「反戰」デモを行つた。政府黨は勿論、在野黨その他英國の六十有餘の團體が代表され、マクドナルド、ボルドウキン、ロイド・ジョージの三黨首が演説した。司會者が前參謀總長のロバートソン元帥だつたのも振つてゐる。
ブルジョア反戰運動。いかにそれが矛盾であり、出來ない相談であるかは、そこでの黨首連の演説が正直に告白してゐる。
マック首相はいふ「いかにも不思議に堪へないことは、すべてのことが――反戰に關して――が云はれ且つ爲されたに拘らず、今日は過去のいかなる平時におけるよりも多額の金を軍備に投じてゐる。平和の氣分は世界に瀰つてゐるが平和の實行は局限されてゐる」云々。
ロイド・ジョージはいふ「軍縮會議、ロカルノ協約、反戰同盟――そんなものが、戰前の武裝に委をかけてゐる國々によつて持ち出され、それが成立するや締盟諸國は以前に倍して軍國的となる。世界は平和の歌を唄ひつゝ、武裝を準備しつゝ、確實に、恐ろしくも馬鹿らしくも戰爭といふ破滅に向つて行進しつゝある。世界は八億磅の武裝費のために破産に瀕しつゝある」等々。
軍人生活五十有餘年といふロバート元帥さへもいふ「今や世界の人間の大多數は、戰爭を、暴利商人以外の何人にも有害であり、何人をも益せず、何事をも決定せざるものであると考へてゐる」云々。
日本の政治家や軍人が到底いひ得ないことを大膽にいつてのけてゐる所は流石英國と感服させられるが、さて「すべてのことが云はれ且爲されたに拘らず」各國は益々戰爭の危險に迫られ、從つて益々武裝費之に迫ひかけられる。
昔支那の春秋戰國に孔子といふ聖人があつて、盛に戰爭してゐる封建國家を攻撃した。當時の支那全土のインテリはもちろん攻撃された當の軍國君主までがそれに共鳴して、直弟子だけでも七千人に上つたといふ騷ぎだ。然し「すべてのことが云はれ且つなされたに拘らず」戰國共は依然として封建戰爭をつゞけた。その理由は?
それは、孔子も畢竟、一つの軍國々家―周―の帝國主義の主張者に外ならないからだ。しかも既にヘゲモニーを失つた極東の「神聖ローマ帝國」の觀念的帝國主義だ。その「神聖國家」の實力喪失から起つた春秋戰國が、そんな古看板で治まる筈はない。周が再興したら有りつけると覗つてゐた七千の弟子が大抵失業インテリに終つたのも是非がない。
ブルジョア國家の觀念的「反戰」運動もや、それに似てゐる。ブルジョア帝國主義の元締だ。英米――それはまだヘゲモニーを失つてゐない資本主義の周だ――の碧眼紅毛の孔子連が「武裝はやめだ」と號令をかけても乃公自身の帝國主義そのものが武裝で維持されてゐるのだから誰れもそんな「子曰く」を本氣にするものはない。ロバート元帥よりもコケ正直な日本の大將などは頭から反噬してゐる。
十六日のロンドンの會に、新聞記者席にゐた一人の美人(?)が會場に恐ろしい惡臭を發する瓦斯彈を投げつけて一萬の大衆に鼻をつまゝせた。彼女はファッショだつた。マックやジョージやロバートソン元帥やが孔子なら、日本の連中は差向きこの臭い女の方だ。

人事

▲稻田己喜藏氏(工專教官步兵大佐)今回勇退廿一日出帆ばいかる丸にて内地へ
▲木島升氏(步兵少佐)同上步兵第三十聯隊附へ
▲中村賢氏(工兵少佐)電信第一聯隊附同上
▲池田眞樹氏(安田保善社理事)正隆銀行總會出席中のところ同上歸任
▲二村光三氏(前滿鐵勞務課長)同上内地へ
▲佐田弘治郎氏(前滿鐵調査課長)同上
▲ステアー氏(ライジングサン社員)廿一日下り機にて京城より來連
▲齋藤文男氏(貿易商)同上平壤より
▲藪内丈平氏(陸軍步兵少佐關東軍司令部附南滿工專服務)着任挨拶のため二十一日市内關係方面歴訪
▲加藤正美氏(關東廳航空武官)廿一日新任挨拶のため中尾遞信局監理課長同伴各方面歴訪
▲本山繁雄、同敏雄氏(本山大毎社長愛孫、慶大學生)暑中休暇を利用し滿洲各地見學のため廿日來連、大毎大連支局に滯在中

蛇角

リンデイ夫妻、北の荒海の機上に不安の枕を並べる、うらやましくはないか。
◇
漢口水災に政府は之れから對策の協議を始めた、協議の了つた頃には在留邦人が水ぶくれになつてゐた。
◇
勞農大衆黨大山郁夫君、米國へ黨勢擴張に行く、米國人は見むきもしないが、在米邦人は珍しい奥行だと思つてお賽錢をあげる。
◇
藏相と陸相、節約で刄を合すこと數度、火花は散るが一向金は浮び出ない、出ない筈である軍服には袖がなかつた。
◇
滿鐵正副總裁の巡視、巡視からは必ず偉大なものが生ずる。
◇
覺のチーム、藍淵野球軍來ろ、眼ぐせのついた滿倶も少しは覺アりを出すがいゝ。
◇
骨抜きの植民地學位令が出來上つた、骨はどうでもいゝ、博士は身のあるのを尊ぶ、滿洲からは身ばかしのがごしごし出ますぞ。

萬寶山事件報告に
高崎弓彦男上京

萬寶山事件の發生と共に所屬貴院公正會より同事件調査を特命され同地において調査報告資料の蒐集中であつた高崎弓彦男は廿一日出帆ばいかる丸で急遽上京したが右は同調査事項の報告に赴いたもので出發に先だち
私用だよ報告だつて、まあそんな仕事もあるさ、高崎は丁度滿洲に居るから調査して貰へといふので派遣された人だから充分調べて來たつもりだ、内容はこゝで發表の限りでない

松浦伯に叙勳

【東京二十一日發】貴族院議員松浦厚伯は曩て病氣の理由を以て議員辭職を願ひ出てゐたが十九日御允許、二十一日發表された、畏き邊ではその功勞を嘉せられ二十一日左の御沙汰あつた
從二位勳三等 伯爵 松浦厚
叙勳二等授瑞寶章

史談會幹事會 大連史談會では二十四日午後二時から幹事會を開き二十八日例會の打ち合せを爲す筈

東亞の謎 (66)
國枝史郎
挿畫 伊藤順三

魔都の陰謀(一)

三日目の午後に××丸は、東洋の魔都。――いや世界の魔都、その魔都の上海の、雜然とした港へ入り、乘客達はランチによつて、そこの碼頭へ運ばれた。
松下伯の一行も、多數知人の出迎へを受け、南京路のグランドホテルへ這入つた。
× × ×
その翌日のことであつた。
呉淞路の一軒の家で、上海日々新聞を手にしながら、武村俊三が話してゐた。
「松下伯の一行が、いよいよ上海へ來たらしいな」
「さうです、さうさう來たらしいです。罠にかゝりに來たやうなものので」
かう云つたのは上海亭にゐた、例の兇暴の男であつた。名を大島吉五郎と云つた。
「野郎共には用は無いが、女郎達は是非とも手に入れなけりやア」
「わけてもお梅さんの充子さんをでせう」
かう云ふと吉五郎はヘラヘラ笑つた。
「うん、あの女も手に入れるさ。なあに未練なんか有りやアしないんだが、どうでも一度はよびよせて來て、痛い目に逢はせてやらなけりやア、この腹の虫が納まらねえつてやつさ」
「その節お梅さんを手に入れるとお梅さんの旨い口車に乘せられ、グニヤグニヤになるのでござんせうよ」
「ヘン、そんな甘ちやんなものか」
武村は厭な顔をした。彼はもう一度新聞を見た。
伯一行が觀光のために、同勢六人で來支したこと、美しい令孃も同件したこと、作家として令名のある小枝次郎氏や、刀水會長の南部正雄氏も、一行に加はつてゐることなどが、可成り長く書いてあり、一行六人の寫眞も出てゐた。
グランドホテルに投宿し、當分上海にゐるだらうといふことや、大連や奉天やハルピンの方から、場合によつては蒙古の方へ迄、出かけるかもしれないといふやうなことや、名に負ふ華冑界の新知識であり、探檢家である伯のことであるから、今度の來支も單なる觀光ではなく、矢張り何等か探檢するための、來支らしいといふやうなことが、興味をそゝるやうに書いてあつた。
「さあ是からの計畫だが、どこから立てゝ行かうかな」
武村は吉五郎へ云ふといふより自分へ向つて云ふやうに云つた。
「小夜子を攫へるのが一番でせう」
吉五郎は水煙草を喫ひながら、それが順序だといふやうに云つた。
「それが出來れば何よりなんだが、ちよつと小夜子は攫へられまいよ」
武村は煙燈の焰の先へ、消えた葉卷の先を押つけ、新しく火を呼んで喫ひはじめた。
「そりやア又何故ですかい?」
「伯爵が嚴重に警戒して、外出なさせまいと思ふからさ」
「だつて私達が居るつてこと、この上海に居るつてことは、彼奴等知つては居りますまいに」
「そりやア知つては居やアしまいさ。が、小夜子を欲しがつてゐるのは、他にも幾人もゐるんだからなあ」

漢口日支罹災者に御救恤金を御下賜

聖上陛下の畏き思召

【東京廿一日發】天皇陛下は漢口大水害の慘狀を聞し召されさくに居留邦人及中華民國人御救恤御慰問の思召て御內帑金下賜の御內沙汰があつたので一木宮相、關屋次官は昨二十日外務省谷亞細亞局長と協議しその結果を齎し關屋次官は廿一日午前七時上野驛發那須に赴き天皇陛下に外務省着公報を奏上したなほ右金額は午後御發表になるはず

木下宮內省總務長官謹話

聖旨は一週間前から拜し夫れ〴〵實情調査中であつたが略ぼ被害程度も判明したので本日午後發表するに至つたこれは陛下が率先隣邦の御義捐に當らせらるゝ譯で日本朝野を始め外國でも思召には感激するであらう之れは大正十二年關東大震災に對し支那が日本に寄せた好意と同情に對して酬いさせられる思召もある事と拜する

勞働者等が義捐金

深川の無料宿泊所止宿者等が慘狀をきいて醵出

【東京特電二十一日發】二十日泥塗れの印半纏を着た一人の青年が東京朝日新聞を訪問して十圓紙幣を五枚出して大水害で困つてゐる民國の罹災者救濟の資金にと寄附を申出た、青年は深川の共愛無料宿泊所三十餘名の自由勞働者代表中川新一郎で二、三日前宿泊所の監督から漢口大水害の慘狀を聞いて悲慘な罹災者を救はうとお互から十圓事務員から五圓合計十五圓を山口所長の處に出した處所長も安い勞銀で働く諸君がよくも斯うして同情して異れたと感激して即座に十五圓出したのを聞いた所長の友人も十圓五圓と出し五十圓更に第二回として九月には勞銀の何割かを出し合ふ事を申合せてゐる

支那罹災民に一千圓を寄附

【東京特電二十一日發】南湖院々長（結核療養所）高田畊安博士は二十一日午後二時外務省に幣原外相を訪問今回の揚子江大水害に就き支那側罹災民に金一千圓在留邦人被害者に金百圓の寄附を申出で送達方を依頼した

水害で失業した漢口勞働者不穩

在留邦人の身邊危險

【漢口二十日發】水害による勞働者の惡化漸次濃厚となり殊に邦人紡織工會社に對し甚だしく泰安紡織の職工は一般職工より遙かに優遇され不良分子が無いといはれてゐたが同工場で防水排水作業に從事した際僅かに六時間の仕事に對し一人銀十元宛を強要し形勢不穩であつた泰安紡の職工すら右の如くで一般勞働失業者は更に險惡性を帶び來り一方反日會の活動だけは水害のため不可能だが工人等は手段を替へて反日會の暴行に呼應すべく水害と糧食缺乏を機會に直接行動に出でんとするもの、如く特に警戒されてゐる

武漢三鎭全部水中に沒す

【漢口二十日發】當地對岸の漢陽も今朝遂に附近の堤防決潰し城內は完全に水中に沒するに至つた、斯くて武漢三鎭全部は最後の一坪も殘さず水中に沒し終り昨日まで漢陽側の高地から辛うじて供給されてゐた少量の野菜類も今や全く杜絶した

食糧品藥品を急送

【上海廿日發】蔣介石氏は漢口地方水害意外に甚大で溺死者數千名水中に彷徨するもの三十萬に達せる事實を確め得たので本日徵發軍用船全部の漢口集中を命じ一方水害救濟委員會に對しては食料品藥品の急送及び內外人より救恤金を命じたが政府としての秩序だつた救濟策は目下漢口にある顧問ジョン・ベーカ氏の報告を待ち兩三日中に決する筈

リンデイ機の修理成る

霧はれ次第試驗飛行

【落石二十一日發】リンディ機エンヂン修理成りしも着火スタート面白からず濃霧は次第に霽れつゝあり、濃霧霽れ次第試驗飛行を行ふ由である

修理成れば根室に飛ぶ

【落石二十一日發】今朝六時迄に新知丸より落石局に達した情報に依ればリンドバーク機は波高く機關の手入れ出來ぬため更にケトイ島北側に曳航して徹宵夫妻協力して修理を試みたが午前四時半に至るも修理成らず今朝は夫妻とも疲勞のためスッカリ寢てゐる模樣でこれから起きて再び修理に取りかゝるのであるから今朝出發するとしても何時頃になるか見當が附かぬ然し昨夜リンドバーク大佐は二十一日に修理が出來れば飛行を決行し多少天候惡くとも根室に飛び度いと云つてゐたから遲くなつても出發するかも知れぬと尙根室附近は雷鳴驟雨あるも次第に回復に向ひつゝあり

獨女流飛行家

カザン發日本へ

【カザン廿日發】十九日午後四時（日本時間午後十一時）カザンに着陸せる訪日飛行のドイツ婦人飛行家マルガ、フォン、エッツドルフ孃は同地一泊後二十日未明四時三十分（日本時間十一時三十分）日本に向け飛び出した

クルガン到着

【クルガン廿日發】東京へ向け歐亞聯絡飛行の途にあるドイツ女鳥人エッツドルフ孃はカザンからモスクワ夏期時間二十日午後三時クルガンに到着した、二十一日オムスクへ向ふ豫定

全京城對全滿鐵對抗競技の豫想

本年度滿洲陸上競技界の最大催しものとして大なる期待を以て迎へられて居る全京城對全滿鐵の對抗陸上會は愈々廿三日午後一時より奉天國際運動場にて擧行されるが全京城軍と云ふものゝ實質に於ては全朝鮮軍ともいふべきでこれに反し全滿鐵軍は全滿洲軍の中堅小林、米津、土倉及び學生軍の不參加に村上の負傷、岡、三隅の入院のため大打擊を蒙つて居る今爾軍のレコードより戰績を豫想するに

▲百米、二百米 岡が出場するとしても病後のことであるから朝鮮の矢野兄弟には一歩を讓るであらう、ただ滿鐵大久保の奮戰を待つのみ

▲四百米 滿鐵軍多田の奮鬪期待されて居るもこれまた京城の山根深津で一二着を占められるのではなからうか

▲八百米 春のマラソンに可成り無理をした濱田は回復意の如くならずやゝその前途に暗影を投じて居たが最近漸く好調となつたから京城の中村、白圭福、滿鐵日比の三選手が二三四着を爭ふのではなからうか

▲千五百米、五千米 永谷大藪八重樫の超弩級を揃へる全滿鐵軍に對しては全京城軍は何等ほどこす術もなからう中村（滿）が僅かに四着に食ひ入るに過ぎないと思はれる

▲高障碍 滿鐵福井に對し全京城は網干を以て對戰せしめるであらうが結局福井一着、二着網干三着山田（全滿鐵）四着柴田（全滿鐵）となつて滿鐵七點京城三點

▲中障碍 老朽福井新進山田に對し京城軍田中、孤軍奮鬪あるのみ結局一着福井（滿）二着山田（滿）三着田中（京）四着柏木（滿）

▲千米繼走 京城軍百米矢野（兄）二百米に岡本三百米に矢野弟又は田中四百米に山根を以てオーダーするものと思はれるが滿鐵軍如何なるメンバーを以て對戰すとも絶對に勝味なし

▲圓盤投 丸茂、劉、藤田で一等を爭ふであらうが結局丸茂が全京城を押さへると思はれる京城の由巻と滿鐵の川野との四等爭ひが興味の中心となるであらう

▲砲丸投 滿鐵のナンバーワン、西村急病のため出場不可能となつたため七對三でリードされることゝ思はれる

▲槍投 小林の不參加は滿鐵にとつて打擊で京城霜鳥が壓倒的記錄を以て優勝し岡田（滿鐵）三等劉（京城）四等伊藤（滿鐵）となるであらう

▲棒高跳 過般練習の際四米〇五の驚異的記錄を出した滿鐵淺坂對京城山本の一騎打ちは本大會の呼物であらう、又滿鐵伊藤京城勝原の三四着爭ひもこれにおさらない接戰となるだらう

▲走巾跳 好調を示す滿鐵の柴田の優勝は確實京城は矢野の奮起をうながすであらうが侮り難きものがある結局六對四で滿鐵リード

▲走高跳 柴田ただ一人を有する滿鐵軍として最も苦手の種目である、結局慘敗に終るであらう右各種目の豫想より兩軍得點を豫想すると左の如くなり七十四乃至七十二對六十九乃至七十一で滿鐵軍の敗となるのではなからうか

種目	滿鐵	京城
百米	2	8
二百米	2	8
四百米	3	7
八百米	5	5
千五百米	9	1
五千米	9	1
高障碍	7	3
中障碍	8	2
繼走	0	3
圓盤投	4	6
砲丸投	3	7
槍投	4	6
棒高跳	5	5
走巾跳	6	4
走高跳	2	8
合計	71	72

鮮南暴風雨の被害

死者廿、行方不明二百

【京城特電二十一日發】警務局着電によれば十八日以來全南地方を襲つた暴風雨の被害累計は死者二十名、負傷者四名、行方不明百九十名、家屋全潰百五十二軒、半潰五百九十八軒、浸水百六十一軒、流失三軒、船舶沈沒二十八隻、顚覆七隻、行方不明三十隻の多數にのぼり、その他農作物の被害甚大なるが目下調査中である

林檎のお株攫はれた林檎屋

成功した三井の割込

滿洲林檎の南洋進出に對しては既に神戶藤田商會の手によつて兩三年前より實行され昨年度の如きは約五千箱を輸出、滿洲林檎の聲價を知らしめたが本年にいたり滿洲林檎の南洋市場における好評を耳にした三井ではこの藤田商會と關東州果樹組合との間に割込み運動をなし過日來紛糾を釀してゐたが當の藤田商會の藤田俊夫氏は數日前より來連この三井の割込運動に對策を講じてゐたところ遂に利なく南洋における一手販賣は三井に攫取られた形となりかなり興奮して昨廿一日出帆ばいかる丸にて歸神した、船中語る

折角南洋に滿洲リンゴの名を賣り弘めたと思つたらこんな事になりました、私の方は長い間果實專門にやつてゐるので經驗もあり得意先も多いのですが果して三井でやつてどれ丈捌けるか疑問です、最初三井と一緒にやるやうな話も出ましたが下手に競爭するのも面白くないので斷りました、こちらの組合の人も案外勝手な事を云ふ人が多い樣です、三井では年一萬箱を捌くと云つてゐるが五千箱行つたら成功でせう

こんどは暴利封じ

エロ故の暴利は認められぬと公定値段を獻立表に揭示さす カフエーの新取締り

命令條項の公布でカフエーのエロ封鎖を行つた大連署では今度はカフエーの飲食物暴利を取締ることゝなり調査に着手してゐる、從來カフエーの飲食物は物價の低落とは全く無關係で

原價 廿四五錢のビールを五十錢、一錢位の鹽豆を突出して十錢、カクテル一杯三十錢、湯水の如きコーヒを二十錢といふ調子で天下御免で暴利をむさぼり、其他一般飲食物も著るしき高價なものを賣付けてなりカフエーのみ暴利を認めてゐる警察當局の態度に非難の聲があつたのに鑑み、今回調査のうへ法外なる

暴利 と認められるものは斷然値下げを命じ、カフエー組合を通じて値段の統一を計り、警察當局が認可した公定値段をメニューに揭げて公示させる方針である

不合理は改正 藤井保安主任談

右に就き藤井保安主任は語る「カフエーは食ふ所にあらずエロを味ふ所なり」といふ營業方針は時代遲れで警察としては理髮料、湯屋其他一般取締營業の値下げを慫慂してゐるに獨りカフエーのみエロ氣分を味ふ所だから暴利は止むを得ないと認める譯にはゆかぬ、尤もカフエーが一般飲食店より高いといふことは大目に見るが現在の如く原價の三倍も四倍もの暴利を得てゐるといふ不合理は速かに改正する必要があると思つてゐる

中村大尉の死をいたむあどけない少年の美擧

ひとの感動を惹く手紙

廿一日午前小崗子署警務係へあどけない文字で書かれた一通の手紙が屆いた、門脇警務主任が開封して見ると「中村大尉さんが興安嶺で惡者に殺されてお氣の毒です、滿洲にゐる私どもはこの仇を取つて上げます、おばさん決して御心配なさいますな、お身體と赤ちやんをだいじにして下さい、この金は少ないけれど、これいぜんに供へて下さい」と、曩に支那官憲の手にかゝつて虐殺された參謀本部中村大尉の死をいたみ、未亡人を勵ます溫かい同情の手紙に添へて一圓紙幣が一枚添へられてあつた、差出人は市內富浦町居住の某氏の長男であるが、讀んで門脇主任も大いに感動し、この手紙に金を同封し、參謀本部を通じて未亡人へ贈る手續を執ることにした

御神寶の傳達式

二十日大連民政署貴賓室に假安置された御神寶は廿一日午前七時四十分、辛島民政署長、富田庶務、山中地方兩課長、神官、氏子總代立ち會ひの許に傳達式が行はれ三浦關東廳內務局長（長官代理）より御下賜になつた大連、沙河口、大石橋、營口、鞍山、奉天、撫順、鐵嶺、四平街、長春各神社に傳達された、而して沿線の神官および氏子總代は同九時發下り急行列車で出發大連神社の分は水野神官奉戴し石本、恩田、神成、鈴木各氏子總代並に富田民政署庶務課長、沙河口神社の分は河野神官これを奉戴し結城、桂城、一宮各氏子總代並に山中民政署地方課長何れもお伴を申上げ同九時三十分民政署を出發してソレ〴〵歸社した

滿鐵の囑託整理

滿鐵の囑託整理については一兩日中に發表を見る筈であるが左の四名丈け決定、二十一日發表した

鐵道部囑託 武山孝治 同 王徽五 同 大西清 同 黒子純造 解囑託（各通）

靑聯に內紛

大連支部幹事の除名騷ぎ

滿洲靑年聯盟では十八日午後七時より山城町聯盟本部に理事會議を開き大連支部長森田拓志氏以下高木、大町、河野の三幹事の除名を決議し十九日金井理事長の名を以てこれを各方面に通告する所あつたがその除名の理由とする所は前記四氏の思想行動が靑聯の主義主張と相容れざるものありといふにありこれに對し被除名者たる森田氏等は連名を以て長文の聲明書を發表し理事會の決議による除名理由の全く事實無根なること並に理事會の權限上右の除名決議は單なる空文に過ぎざることを主張し理事會の反省を促す所あつたが時局打開のため最近頓に本來的使命に則し活動しつゝある聯盟の有力支部たる大連に於て斯る內紛が勃發した事は成行を注目されてゐる

方面委員七月中の取扱件數

關東廳方面委員が七月中に取扱つた件數は五百四十九件で前月に比し九十六件の減少であるがその內容は左の通りである、社會調査一五七、保護救濟四三、相談指導七八、醫療保護八二、周旋紹介四四、兒童保護二五、戶籍整理二、金品給與二九、敎化福利五四、その他三五合計五四九

長山島淸遊會

中日文化協會主催の大長山列島淸遊會は風雨のため延期中であつたがいよ〳〵來る二十九日(土)午後四時半滿月の夜を好機として出帆、三十日午後七時頃歸着することゝなつたが會費は船賃及び三十日の朝晝二食分を含めて金二圓で申込みは二十七日午後三時迄中日文化協會まで申し込まれたしと

幼稚園同窓會

市內播磨町大連幼稚園に於ては來る二十三日第十五回同窓會を催すが、當日は童話舞踊、獨唱等種々餘興の催しがあると

辻聽花氏逝く

本社北平特派員辻聽花、辻武雄氏は十八日夜北平の寓居にて腦溢血にて逝去、十九日同地本願寺にて葬儀を執行した、享年六十二、氏は民國元年蘇州高等師範學校教授を辭して赴平し順天時報に支那劇評を揭げ日本における支那劇通の第一人者として令名あり、中國劇界も氏の死を悼み近く追悼會を營む筈

マーク募集

南滿商科學院にては同學院のマーク圖案を懸賞付きにて一般より募集することになつた

晚夏のとんぼ——けふ西公園にて

中等學校野球決勝

十萬の觀衆極度に緊張

【大阪特電廿一日發】勝ち殘る二强豪臺灣代表嘉義農林と東海代表中京商業の二チームによつて全國の覇權を決すべき優勝戰は愈々廿一日午後二時二分より嘉義農林先攻の下に開始された、嘉義農林の巨砲勝つか中京の鐵壁の守備優るか決戰は絶好の微風コンディションに惠まれて觀衆十萬を越ゆるに極度の緊張を示す審判は梅田（球）鶴田、水上、久保田（壘）の四氏

嘉義 平野 上松 蘇 吳 東 眞山 小里 川原 福島 7 8 6 1 2 5 3 4 9

中京 大鹿 恒川 櫻井 鈴木 村上 後藤 杉浦 吉田 吉岡 7 4 2 9 8 3 6 1 5

▲第一回 嘉義平野第一球を飛ばしたが村上よく走つてとる蘇遊飛、上松第一球を三越單打したが吳おしくも遊飛△中京大鹿四球に出て恒川二球目をバントしたが投飛となり大鹿とともに併殺を喫す櫻井右翼前に單打したが鈴木の三飛に櫻井二壘に封殺されて空し

▲第二回 嘉義東二飛眞山捕邪飛小里の投飛を吉田後走してとり三者凡退△中京村上四球を得たが後藤打者のとき二盜を企て投手好投に刺さる後藤三壘線上に單打に出て杉浦の三飛に封殺され吉田遊飛

▲第三回 嘉義川原中前單打に出て中堅手一壘惡投に一壘二進福原の二飛に川原三進平野三振蘇三振にチャンスを逸す△中京吉岡三遊間強ゴロを放つたが遊擊よく捉へてアウト大鹿二飛の後恒川中前單打に出て櫻井四球に續き二死ながらチャンスを迎へ鈴木三遊間に單打して恒川先づ生還し左翼よりの球を捕手二壘

▲第四回 嘉義上松三振、吳遊飛の後東二飛失に生きたが眞山三振空し△中京後藤四球、松浦一二間バントは內野單打となつて後藤一壘三進、杉浦も二盜し中京またチャンス、吉田一飛に倒れたが吉岡打者の時第一球を投手暴投して後藤、杉浦共に生還吳投手に疲勞の色あり中京待球主義に出つ、吉岡、大鹿共に四球、恒川右前に單打して滿壘、櫻井投飛して吉岡惜しくも本壘に封殺され續く鈴木二飛にやんだが中京また二點を得計四點となる

▲第五回 嘉義小里、川原共に三振福島三飛失に生きたが平野三飛に無爲△中京村上遊飛後藤遊飛失に生き杉浦四球に走者一、二壘に據る吉田二飛吉岡の二飛に杉浦二壘に封殺されて空し

上海バス罷業

【上海特電二十日發】上海共同租界聯合自動車車掌、運轉手等過般改正給料値上を要求し今朝から同盟休業を開始し目下監督ロシヤ人運轉手等で少數の車を運轉中である

天氣豫報

二十二日 南西の風 曇一時晴

各地溫度（二十一日午前十一時／二十日最高）

地名	二十一日午前十一時	二十日最高
大連	二七、七	二九、三
旅順	二八、四	二九、一
營口	二六、五	三〇、九
奉天	二四、九	三〇、一
長春	二四、九	二七、一

滿潮 午前四時二十五分 午後四時十五分
干潮 午前十一時十分 午後十時五十五分

けふの小洋相場（正午） 金百圓は二六二圓一五錢

暗流阿修羅館 (162)

生田蝶介
挿畫 藤井耕造

啞少年（七）

「さうか、そのやうなこともあるであらうと思つてゐた」

遠山左衛門一寸笑つたが、あとは生眞面目になつてむつゝりした

「つまり、殿の手を借りずに、自分で、老中は犯人を探し出さうとしておいでてございます」

稻澤源一郎は云つた。

「老中には奉行が要らぬのぢや、あの老人には上様さへ不要だからな。まして、この様な役にたゝぬ奉行などは問題ではないわ」

「これでは自然競爭しないでは居られませぬ」

「競爭か？　それもよからう」

「かうしたらいかゞでせうか、あの章信を連れ來つて、老中の術を訊いたら、また何かを發見するかもしれませぬ」

「そのやうなことをするがものもあるまいと思ふ」

「ですが、かうなれば、何時われわれをどうかしようとするかもしれませぬ。どうせ何とかされるのなら、こゝで一番、あの老人の裏をかいてやつたら胸が透くでせう」

「あの老人のことだから、事がこゝまで來てゐる、いまに餘程の難題をもちかけてくるには定まつてゐるが……」

「だから、それまでに度肝を拔いておいてやらないと虫が納まりません。また、あんな奴に爲てやられては死んでも死に切れないぢやありませんか」

「爲てやられるやうなことは滅多にないが、そんなに云ふのなら章信の方は其方に任せる、どうとも腹の透くやうにするがよい」

「任せて下さいますか」

左衛門は頷いた。

それから左衛門は、つと立つた

「稻澤、來て見い」

「はい」

稻澤もつゞいて起つた。

二人は廊下に出て、幾つもの部屋の前を通つて、突當り部屋の障子を開けた。

そこは八疊ほどの部屋で、壁の方へ片寄つて寢床が敷いてある。

「どうぢや」

寢床には人が寢てゐた。

左衛門が聲をかけたが、靜かな寢息をたててゐて返辭をしなかつた。

「よく寢てゐる」

左衛門は呟いた。

稻澤が覗き込むと、寢床の中には、昨日非人小屋にゐた少年だつた。

枕頭には藥の土瓶が二つと、湯呑が一つ置いてあつた。そして咽喉には布が卷いてあつた。

「この少年が、早く言が云へるやうになれば案外何もかも氷解することゝ思ふ」

少年は、そこに二人が立つてゐるのを感じたものか、ぼつかと眼をひらいた。そして暫し自分がいま何處に居るかといふについて考へてでも居るやうに、ぢつと一と所を見てゐたが、その瞳を、やがて二人の顏の上にうつした。

「どうぢやな、よく寢てゐたな。疲れはぬけたやうか」

少年は口を動かしたが、やはり

「まだ云へぬか」

「點灸はどうでございませう」

「點灸もよいかも知れぬ。が、そんなにしなくても今夜は少しは云へるであらう。醫師もいろいろ研究してゐるやうだから」

左衛門は自信をもつて云つてゐた。

「それでは、私は行つてまゐります」

「さうか、ぬかるな」

まだ何も云へなかつた。

『嘆きの都』本日限り

好評を博してゐる本社販賣部後援の大日活に於ける帝キネ特作映畫森靜子主演の「嘆きの都」はこの暑さにもかかはらず連日滿員の盛況を續けて來たが、いよいよ本日限りとなつた、此の際大いに本紙刷込みの優待券を利用して觀覽されたい

帝キネ營業主體 新興キネマ設立

帝キネの改革はその後松竹常務堤友次郎氏の社長就任、撮影所關係では去就注視の的であつた立花專務が片手に映畫を離して撮影所業務を請負ふこととなつてゐたが、今回新たに新興キネマ株式會社が創立され、帝キネの營業一切を行ふこととなつた、この結果、帝キネは單に製作品に商標名として殘るやうな形になり、その作品は新興キネマが配給する外、立花氏關係の作品一切の配給は今後興味ある決定を見ようとして居る。

噂話

酒井米子、海江田讓二一行が昨夜常盤座の舞臺がすんでからカフエーワカナで夜食をとつたが、ワカナではレイレイしく「酒井米子孃、海江田讓二君御豫約席」と立札したテーブルを三ツ程並べる▲で、自然その隣りのテーブルを目がけて客が殺到し、ワカナの宣傳圖に當つたわけだが▲どの客も「酒井米子と女給さんと比べて見やう」と云ひ出すので、ワカナの女給さん「うち、酒井米子きらひ」▲來週の南座は尾上榮五郎入社第一回作品の「馬頭の錢」と「この母に罪ありや」の特作二本を並べて特別興行をやるが「人戀よ愛と共にあれ」以來の最上プロであらう▲本日午後四時より新聞關係を招待して酒井米子、海江田讓二一行の懇談會が老虎灘の月の家に於て行はれる

元祿十三年

この映畫の持つ魅力は千惠藏映畫であると云ふことよりも、林不忘の原作と、稻垣浩の監督と、入江たか子最初の時代劇出演と云ふこの三つに掛つてゐる。千惠藏が主演してゐると云ふこと、又は伊丹萬作が脚色してゐると云ふこと、……此れ等に全く興味がないと云ふのではないが、それよりも林不忘、稻垣浩、入江たか子により多くの期待と、興味を感じるのである

◇林不忘は今賣出しの絶頂にある作家だ……と云ふことは大衆の最も弱い裏面をよく知つてゐる作家と云ふことだ。元祿以來大衆の赤穗義士に對する感じは一貫して義士の位置に立つと同樣の悲しみと、義憤とにある。それを「赤穗城主淺野内匠頭の刄傷事件に先き立つこと一年」と云ふ前提の下に林不忘は吉良上野と淺野内匠頭の位置にある岡部美濃守と云ふ影法師をつかまへて來て、「元祿十三年」なる一篇によつて完全に大衆に溜飲を下げさし、又朗らかに大衆を笑はしてゐるのだ。林不忘は恐ろしい作家だ。餘りに大衆の弱點を知り過ぎた作家だ。

◇稻垣浩の監督について……撮影所では死力をつくしたと宣傳してゐる。その成否は別として確かに成功してゐる。伊丹萬作と共に千惠藏を守る唯二人の監督として如何にも努力してゐる、勅使のあつかひ方の下品になりすぎた事、ラストシインの物足りなさ等々の缺點はあつても一貫してトンくと筋を運んで行く手際に、觀客は決して退屈はしないだらう。玄人は餘りに笑ひを強ひすぎてゐると云ふかも知れない、しかし大衆はそれで喜ぶのだ。いかにも千惠藏ものらしくていゝ。

◇入江たか子の演技……この映畫だけによつて彼女の時代劇に於ける技倆を云々することは出來ない。何故なればこの映畫に於ける彼女の役は戀に強く生きたけなげな一女性に過ぎぬ、これは現代劇に於てもよくある役だ。伏見直江のやうに殺陣をやるのでもない。酒井米子張りのタンカを切るのでもない。唯觀客はあのモダンな入江たか子が美しい元祿娘になり切つてゐるのに驚かされるであらう

◇撮影上特に云ふ事もない、千惠藏の演技三桝豊の演技ともに成功して居るの一言につきるだらう

∞馬頭の錢∞

長谷川伸氏原作、井上金太郎監督の松竹下加茂映畫、尾上榮五郎入社第一回作品で、林長二郎と蒲田の柳咲子が特別出演してゐる。中村吉松、浦波須磨子助演、馬頭の錢太郎をめぐる物語りである。

本社特選 新棋戰（其六）

香落 四段 △建部和歌夫
二段 ▲梶一郎

【圖は前號指了迄の局面】
△建部氏 持駒 飛桂歩歩歩
▲梶氏 持駒 飛銀

△四八金ヨル ▲九八飛
△七三角成 ▲八五銀
△六四桂 ▲四二金
△三四桂 ▲五九と
△三八金上 ▲五八と
△同金 ▲同飛成
△六三馬 ▲六六馬

【土居八段講評】▲梶氏の九八飛打は後に至り八五銀に聯を保つ關係上八八飛と打つて置く方が優る。

滿洲日報

恩給制度改正案 きのふ閣議で決定す
現行在職年數の延長を斷行し 植民地在勤加算變更

【東京二十一日發】二十一日の閣議で決定せる恩給制度改正案左の如し

一、年金恩給の基礎條件たる在職年數の延長

文官、教育職員及び待遇職員の現行十五年を二十年、士官以上の軍人の十一年を十五年警察、監獄職員十年を十一年に改む、國務大臣の在職年數に關する特例を廢止す

二、年金恩給割合の變更

文官、教育職員、待遇職員は在職年二十年に對する年金額を基礎俸給の百五十分の五十一の額とし在職年二十年以上一年を加ふる毎に基礎俸給の百五十分の一を加へ軍人、警察、監獄職員は同十五年に對する年金、恩給額を基礎俸給の百五十分の五十の額とし、十五年を超え又はドる一年につき基礎俸給の百五十分の一を加へ又は減ず、而して各公務員を通じ最高恩給額を基礎俸給の百五十分の九十、文官教職員、及び待遇職員は在職五十九年、その他の公務員は在職年五十五年とす

三、年金恩給の停止

年金恩給を受くるもの他に勤勞所得ある場合、恩給金額と勤勞所得年額合算額一萬圓を超ゆる時其の超過額に相當する恩給を停止す

四、恩給重複支給の制限

一時金たる恩給を受けたる者後に年金恩給を受くる時曩に受けた一時金恩給の増額又は幾分を年金恩給中より返還せしむる方法を設く、但し扶助料に及ばず

五、植民地在勤加算の變更

現行の割合一月に就き半月を四分の一月に改め植民地相互間の轉勤はこれを引續きたる在勤と見做すこと

六、現在の受給者に對する取扱ひ

現在受給者の恩給額は更正せず將來再任の場合其の前在職年に就き現在職者に對する經過的取扱に準じ算出せる金額を其の恩給額とす

七、現在職者に對する經過的取扱ひ

（イ）新法に依り普通恩給を受くべき最短年限に達せぬ者の舊法時代の在職年は文官、教育職員待遇職員は十五分の二十

軍人（准士官以下を除く）十一分の十五、警察監獄職員は十分の十一を掛けて換算し改正後の在職年と合せ新法所定の年限を超ゆる時恩給を給す

（ロ）普通恩給金額は恩給法改正前の在職年限數の內舊法に依り普通恩給を受くべき最短年限に達する迄の年月數に對し軍人は十一分の十五、警察監獄職員は十分の十五其の他公務員は十五分の十九を掛けて換算した年月數と殘りの在職年月數を加へたる年月數に新法の規定を適用算出せる金額とす、但し文官、教職員、待遇職員にして右計算の結果在職年月數十九年以上二十年未滿のものに對する恩給額は基礎俸給の百五十分の五十とす

八、國庫納金

從來納金せる公務員は俸給の百分の二に改め、此の例なかりし公務員（內村を除く）は新たに百分の一を納付せしむ

九、恩給負擔の分擔（略）

一〇、特殊勤續加給變更

勤續加給、外國勤續加給の割合を現行の約三分の二とし警察、監獄職員勤續加給は在職十二年目より外國勤續加給、教育職員勤續加給は同二十一年目より開始す

一一、基礎俸給の制限

退職當時の俸給を恩給算出基礎とす退職の際の昇給は一階級に止む

一二、教育職員に對する恩給法九十九條の特例を廢止す

臧主席訪問の滿鐵正副總裁

（寫眞）右から榮臻參謀長、山西滿鐵理事、內田總裁、江口副總裁、臧式毅主席、林奉天總領事

反蔣運動の側面觀（下）
上海にて 日森虎雄

軍隊のルンペン化

然し、前にも述べた樣に、これらルンペン化の軍隊が大軍閥に兼併される事を願望せざる事は勿論又それと同時に、所謂共匪軍に加入することも彼等のよく成し得る所ではない、出來得べくんば、自らが押しも押されもせぬ大軍閥に膨脹するか、少くも共兼併の脅威から免れ其存在保障を得たいといふのが彼等の本望である、然るに、實際情勢は此二つの願望は彼等に取て容易に達成得るものではない

過去における彼等の混戰の歷史はどうであったか？彼等は凡ゆる機會をつかんでは其苦い現狀を打開しやうと盲滅法に、相互に入り亂れて、戰をなして來たのである中には勝算皆無の大軍閥に對してすら屢々反抗を試みた事もある、然るに其結果はどうであったか、只徒らに自己の力を削り離し、或ひは自滅したものもあった。

これらのルンペン化軍隊は河北河南、山西、陝西、山東各地を貫き數十萬を以て算する、しかも何れも自分自身を賄ふだけの收入を有たず共多くは全く云ふに足らない僻地の貧乏區域に蟠居してをり彼等は平常何れの方面からも軍費の補助を受くる道を有たず、地方民より掠奪しては辛うじて共日暮しを續けてゐるに過ぎない。

而して、今彼等は廣東國民政府の買收と煽動に應じて蹶起し、又一齊に起たんとしてゐる、即ち、廣東政府の名において張學良及び蔣介石に反抗せんとし、着々共準備は進展しつゝある、だが、これらルンペン化せる一聯の軍隊の反蔣運動は、決して廣東のそれと同一視すべきものではなく、何等國民革命の自覺に起因するもへでは ない、前述した如く彼等が驚化せる張蔣大軍閥から突き放され、生存上の絕對的脅威を感じ、此際起たねば見すく自滅するの外はないといふ最後的な危機の前に起つてゐると云ふ事が、廣東側の買收と煽動に容易に應じた所以であり又同時に、これらルンペン化軍隊は今日迄いぢめ抜かれた張、蔣大軍閥に結束して當り舊怨を合せて晴らさんとするものである。

反蔣運動と列强

中國の斯かる反蔣戰爭が內亂であると同時に、又國際的現象でもあることは歷史的事實である、即ち、中國の內亂は條約上乃至國際的商業上、より緊密な諸關係をもつ列强とは切離す事の出來ない全く不可分關係を有つものである、而して、內亂時代の中國に對する列强の態度如何が事實上內亂の落ち着く處を決定する程の力を有つてゐる事は一般周知の事である、從つて今度の反蔣戰爭においてもこれに對する列强の態度如何は南京側にも、はた又廣東側にあつても非常な銳敏さを以て注意し、當南陸相の滿蒙問題に關する忌憚なき意見の發表に對しても、南京方面では之れを痛く神經に病み、其反響としては蔣介石の排日中止命令となつて現れたとさへ云はれてゐる。英國の態度も又南京方面において は頭痛の種となつてゐるらしい。

廣東英國領事の洩らせる口吻に據ると、英國は廣東と南京の對立がより長く持續せん事を希望してゐるとの事である、これは南京側にとつて深大な脅威であらう。斯かる要因からして法權交涉に對する中國側の態度を最近極めて消極的になさしめてる所以であらう。

斯くて、中國における反蔣戰の見透しをつける時、其決定的力とさへなつてゐる列强の力關係、微妙な其動きは著るしく前面に押し出され、其正しき認識の下に於てこそ始めて反蔣運動の本質乃至其の見透しを誤らせないであらう。（完）

省廢合反對の諒解を求む
原拓相、濱口、仙石兩氏を訪問

【東京二十一日發】原拓相は今朝九時半久世山の自邸に濱口前首相を見舞つたのち省廢合問題につき反對意見を述べ、なほ濱口氏の意見を聽取し更に仙石貢氏を訪ひ同樣反對意見を述べ諒解を求めた

て辭去したが左の如く語つた

省廢合問題は政府の重大問題であるが櫻內、町田、原各相でも明らかに反對を公言する事はあるまいと思ふ、若槻首相は關係閣僚にどの程度の事をいつたか知らぬが苟くも責任の地位にある者はまだ案の內容を知悉せずしてこれを云々すべきでない

關係閣僚 明かに反對を公言すまい
小泉遞相談

【東京二十一日發】若槻首相を訪問した小泉遞相は南陸相と首相との會見が長時間にわたつた爲め遂に會見せず別室で櫻內商相と懇談し

三相の共同會見取止

【東京二十一日發】櫻內商相は二十一日午後二時原拓相を訪ひ午前若槻首相との會見顛末を報告、原拓相より濱口、安達、井上諸氏との會見顛末を報告した結果、省廢合反對の立場にある町田、原、櫻內三相共同して安達、井上兩氏と整理準備委員會主査に會見を求めたが、井上藏相は「省廢合に就ては決定案なきため若槻首相にも報告してゐない、出來れば閣議附議に先達相談する」と答へた爲め三相の共同會見は取止めとなつた

軍縮全權候補に齋藤子、山本男ら
數名を首相から推薦
軍部に異論なき模樣

【東京二十一日發】二十一日午前の若槻首相、南陸相に於て若槻首相は軍縮會議全權決定につき意見を求め若槻首相は參考として數名の候補者を擧げたが右顏觸れは極秘に附されてゐる、その中には民政黨顧問山本達雄男、前朝鮮總督齋藤實子も加へられてゐるもの如くである、然して兩氏につき軍部では異論なきもその受諾に就いて疑問を持つてゐる

大山郁夫氏を米國に派遣
勞農大衆黨

【東京二十一日發】全國勞農大衆黨 原代議士は米國遊說收穫豫想外に多く各地在留邦人の間に黨の組織を見た點から明年議會終了後更に黨勢擴張の爲め大山郁夫氏を米國に派遣する事となつた

印度からビルマ分離

【ロンドン廿日發】インド事務省の發表によればイギリス政府は十一月ロンドンに於てビルマ圓卓會議を開き同會議で第一回インド圓卓會議の勸告に從ひビルマをインドより分離せしめたのち憲法制定問題を討議するに決したと

日支の融和を希望
滿鐵正副總裁省政府を訪問し 臧主席に挨拶交驩

滿鐵正副總裁一行は午前十時五分ヤマトホテルを出て奉天神社に參拜し次で春日小學校講堂において講演中斃れた早川前社長の跡を弔ひ續いて忠靈塔に參拜、それより領事館を訪問し午前十一時林總領事の案內で城內臧首席を省政府に訪問、十一時十五分から內田總裁の新任挨拶に次で

滿鐵としても親密に融和して協同福利の增進を圖りたい、尚これに就ては外によく事情の判つたものがあることとてその人からいろいろお話もせられることゝ思ふから何分宜しく賴む

との希望に對し臧首席もこの外上機嫌で迎へ

支那側としても決して離るべからざる密接な關係あることとて宜しく願ひたい

との挨拶で十五分間で會見を終り玄關に出て記念撮影をなし同政府を辭去、續いて商埠地の張作相氏不在のため張景惠氏を私邸に訪問挨拶をなしヤマトホテルに歸り晝食を濟ませて午後一時三十五分發列車で撫順の視察に赴いた【奉天電話】

遼陽通過北行

內田、江口正副總裁一行は廿日午前六時四十七分遼陽着、山崎領事を初め官民有志ホームに出迎へ一行は六時五十三分發北行した【遼陽電話】

米陸軍長官來朝

【東京二十一日發】アメリカ陸軍長官ハーレー氏は比島視察の途二十一日來朝したので南陸相は官邸で同長官歡迎午餐會を開いた

柳多島は明かにわが領土
支那側の演習中止要求に對し 朝鮮軍司令部聲明

【京城廿一日發】會寧工兵第十九大隊が去る八月七日より咸鏡北道北端豆滿江の下流柳多島に於て架橋演習作業中、支那側は突如不當にも問題の土地であるからとの理由の下に琿春及び局子街兩日本領事館を通じ演習中止方を朝鮮軍司令部に抗議して來たが、朝鮮軍司令部では我が領土內の

演習につき支那側の容喙を受くる理由なしとて一蹴した

然るに十四日に至り南京政府は公文を以て重光公使に對し正式抗議を手交し柳多島問題は茲に日支兩政府間の國際問題となるの成行重大視さるゝに至つたが、右につき朝鮮軍司令部は本日左の如く發表した

柳多島は咸北慶源郡安農面に屬し周圍二方里、現在戶數十五戶（支那人なし）である、本島は元朝鮮の地續きにして朝鮮領たる事何等疑ひなきものである、たゞ明治二十九年八月の洪水にて俄かに新領東島下より朝鮮側陸地に向つて

豆滿江

の水流二派に分れ島嶼を形成した、然れども當時は幅員二十間、水深一尺なりしに依り出水時以外は渡渉し得たるも爾來數度の洪水の爲め漸次その幅員及び水深を增大すると共に從前の河心は反對に埋沒せられ大正八年の洪水に依り支流却つて本流の狀を呈するに至つた現在は乾枯してゐるが舊本流たりし狀況明瞭に認めらる

王樹常軍司令部天津に歸還

【天津二十一日發】津浦線王樹常第二軍司令部全員二百名は昨夕天津に歸還更に各兵種增派部隊の一部は關外に向つた

川越青島總領事急遽歸任する

【東京特電二十一日發】川越青島總領事は山東の事情報告のため上京中であるが過般の日支衝突事件に就き爾來惡化する形跡があるので急遽歸任する事となり二十二、三日ころ退京の筈であるが何れ事實を正確に調査し無責任なる支那官憲に對し嚴重なる抗議を爲す模樣である

今後も滿洲と深い關係
佐田弘治郞氏談

滿鐵前調査課長佐田弘治郞氏並に前勞務課長二村光三氏の兩家族が多くの友人達の見送りをうけ離滿した、佐田氏は語る

丁度十年の滿洲生活でした、初めから十年でやめるといふ信念で入社したもので自分としては豫定の行動です、滿鐵とは關係は斷ちましたが滿洲とはズツと關係があります、恐らく一生滿洲とは切つても切れない關係がありませう、憎まれもし賞められもし十年一昔を懷しく過しました、落ち付先は東京池袋です

英赤字補塡案
反對の聲に原案修正

【ロンドン二十一日發】イギリス內閣經濟委員會作製の赤字補塡案に對し勞働組合側並に保守黨側に反對の聲あるので同委員會は本日午後再び會合論議の結果原案の一部を改訂する事となり二十一日更に會議續行に決定した

赤字補塡原案內容

【ロンドン廿日發】デーリー・ヘラルド紙所報によればマクドナルド首相が二十日勞働組合及び勞働黨代表に說明した赤字補塡案內容は左の如くである

一、赤字の半額は增稅に依り補塡す

一、殘る半額は經費節約に依り補塡す

一、節約計畫中には道路費より八百萬磅を節約する外閣員裁判關係官、教員、一般官吏、各空軍下士卒の減俸案を含む

官吏減俸案內容

【ロンドン二十日發】英國の官吏減俸案の內容は左の如きものと諒解さる

一、年額五千磅以上は二割減

一、二千乃至五千磅は一割二分五厘減

一、以下これに準じ率を低減

次に節約の一部として通商關係への補助金を削減し失業保險料を增徵し五百萬磅程度の國庫負擔を輕減する計畫であると

宋慶齡女史が內爭に忠告

【上海特電廿一日發】宋慶齡夫人は廣東政府の各要人に對し故總理一生の觀念を破壞する私的の政見で黨の團結を破壞する勿れ、その忠告電を發した

第二の反抗（7）
三宅やす子 阿部金剛畫

來客（七）

「だが伯父さんもわからない事を仰しやるんだな」

「さても、あの。ほんとに察一さんにお願ひよ。もつとさばけて與れるやうに、說法して下さらない？」

「駄目、駄目。僕が云ひ出したら蹇なしだ」

「騷いわれえ――ちやいゝわ、あたし、獨りで決行するわ。こゝからすぐ行きませう」

「佐枝子さん」

改つて察一が呼びかける。

「なあに？」

「リイグ戰はまだいつでも見られる。それより、佐枝子さん。あなたの重大問題に對する考へを決めておかないといけないと思ふな」

「僕は佐枝ちやんの性質はのみ込んでるつもりだ、伯父さんにでも伯母さんにでも、あなたの事で、僕が佐枝ちやんの代辯をしなければならない時があつたら、いつでも役に立つつもりで居るんだ」

ありがたうといふやうに、佐枝子は頷いた。

「だから、お歸りなさい。僕も今日は行かない。絹子さんたちの保護者には誰か代りに行つて貰ふ」

「ほんと？」

「だから、歸つてれ。今日は、おとなしい娘になつてらつしやい」

佐枝子は、淚が出さうになつた察一の溫かな聲を、いつまでも耳に殘しながら、家に歸ると、母は一生懸命に客間の掃除をして居た

「ゆつくりだつたれ、少し手傳つておくれよ」

佐枝子にせはしく云つた。

「何、重大問題って」

「暢氣だなあ――數衛さんが何しに來るか、知つてますか」

「知らない って云つたぢやない の。察一さんは知つてるっていふの？」

「僕は知らない。知らないけれど想像がつく」

「へエ、偉いわれえ」

「茶化してるところぢやないでせう。僕も口を出す幕ぢやないが」

「いやに氣になることを云はれちやつたわ――それ、私に關係したこと」

「まあ、可いでせう。お歸りなさい」

「歸らないわ」

「僕が今日は、おたのみするから歸つて下さい」

「そんなに邪魔なの？」

「邪魔ぢやない――あなたの將來のためを思ふから」

「大きく出たわ――今日歸ると將來のためがいゝの？」

「少くとも、僕の信用が落ちない」

「卑怯者」

佐枝子は察一をにらみつけた。

「間違へないで――僕はいま信用を落したくない――といふのは、何かの時に、僕が、あなたの加勢をしてあげなければならないやうな事が出來た場合――ね、佐枝ちやん。僕は、そんな時に、いつでもあなたの味方になりたいと心掛けてるんだ」

「……………」

社說

宮中御下賜金 朝野の漢口災民救濟

漢口を中心とする水害の慘狀は日々報道せられ、報道せらるゝに隨つて其慘害は益々大なる事が認識せられる。日本朝野にありても災民救濟の聲が漸く高まつた。我宮中に於かせられても是等罹災者に對し深甚の御同情を寄せられ御下賜金の御內沙汰があつた。尙政府部內でも幣原外相が中心となつて實業家連をも動かして官民合同の救援運動を起す由。宮中の思召の有難い事は申すまでもないが、官民の此運動は誠に機宜を得た處置である。云ふまでもなく、吾人が先日も一言した如く、支那は最早他國ではない(暫らく國家觀念を離れて)。長江沿岸の土地も住民も日本とは特別に深い關係がある。其災害は支那の災害であるばかりでなく、日本の災害であつて世界の災害である。吾人は必ずしも經濟的利害の見地からばかりから之れを云ふのではない。世界が狹くなり世界の人類はすべて同胞であるといふ感が殊に深まつた今日の實情から之れを云ふのである。高田南湖院々長も一千圓寄附してゐる。自由勞働者から五十圓寄附した如き其隣人愛は鬼神をも泣かしむるに足る。關東大震災の時、支那の官民が愕然色を失ひ、在支日本人よりも多く心配して災民の救助に熱心であつた事は今尙吾人の淚を濺がしむるものがある。平生反日運動に熱中する人も一時之れを放棄した。危急の際に當りては人類愛、隣邦愛が勃然發生するものと見える。我官民の救濟會の如きも成る可く早く成立し成る可く早く救助の手を差し出したいものである

蔣主席に望む 國法の尊重

二十一日の南京政府會議には蔣介石主席久方振りに出席、萬寶山事件其他重要對日方針に確定的裁斷を下す筈で、朝鮮事件第三回抗議草案も此會議に上程せらるゝ筈だといふ、其結果はまだ分明しないが、席上何れ種々の議論が出る事であらうし、主席が如何なる方針を決定するに至るかは甚だ注目に値する。日支間の問題として大きな問題例へば治外法權問題の如きは双方國民も比較的に冷靜な態度を以て之れに對する事が出來るが近時頻發せる萬寶山事件、中村大尉事件、反日會の各種事件の如きは双方の民心を刺戟する事直接であるから、感情に走り易く、斯くの如き局部的直接問題の頻出は、却つて國交を危險に導びくものである。反日會檢査隊が日貨を押收するに對して日本海兵が奪還すれば更に之れに對して反日會にては武器を携帶せる決死隊を組織せんとするが如き、刻々國交の危險に近づきつつある感がある。

◇

局部の直接利害に關係ある人々は大局を忘るゝ場合もあり、或は敢て大局を忘るゝにあらざるも、現場の事情に制せられる場合もある。中央にありて大局を支配する者は常に事前に於ては適當な訓令を發し、事後に於ては又適當な善後策を講じて大局を破壞せざる樣に心懸けねばならない。近時日支間の紛爭は日人がいつも受身の地位にある萬寶山事件から朝鮮事件が起り反日會の日貨押收から日海兵の出動となつた。中村大尉の虐殺の如きは何等の理由もない。若し軍事探偵の嫌疑ならば相當の法律及び條約の手續を踏む可きものである。反日會の行動の如きも國法に依據せず條約に反する所が多いから日海兵の直接行動を招ぐのである。斯くの如き狀態に立到るのは本國側に秩序維持の點に於て缺くる所があるのでないか。吾人は蔣主席が對日態度の方針を決定するに當りて最も此點に留意せん事を望まざるを得ない。

◇

蔣主席が先日南昌の陣中から發した國民に告ぐる書の中にも今日國家多事の際猥りに外國と事を構へるのはよくないから、各人宜しく自重すべしとの意見を示してゐる。今度態度を決定するといつた所で、日本を飽くまで敵視せよと云ふ筈はない。恐らく大局的觀點から見て反日會の常軌を逸した騷動に反省を促がすであらう。而して各事件に關しては適當の方法を講ずるであらうが、吾人が第一に蔣主席に希望する所は國法の維持を各方面に強く訓示せん事である。

國法以內の活動ならば、反日會が如何に日貨の排斥をやつても、それは單なる國貨獎勵運動たるに過ぎないから何等國交に害を及ぼさぬ。それで日本が直接行動を取れば、非理は明白に日本にある。地方の官憲に對しても國法の擁護を命じておきさへすれば中村大尉事件の如き明白な非禮は起り得ない。日支兩國民の關係が頗る複雜であるからそれでも尙紛擾爭鬪は免かれないであらうが、國法を念頭においての事件ならば、其の解決は容易であつて、國交に害を及ぼすといふまでには至らない。

◇

云ふまでもなく中國にありて法規の嚴守を要望する如きは迂遠な話しではあるが、現在の黨部、黨部に支配さるゝ反日會、又は地方官憲の如きは餘りに國法を無視し過ぎて居る。反日の實行が一種の愛國的及び英雄的行爲であると迷信して居る。その結果が、國法輕視の習慣と相俟ちて、如何に國法を蹂躪しても反日の爲めなら構はないと考へて居るのでないか。吾人が蔣氏に望む所は此點にある。國法は尊重せねばならぬ。人民や官憲が國法を尊重せれば、治外法權撤廢も出來れば、徒らに隣邦と事を構へて其責任を自國に負はねばならぬ。之れは中國の爲めに非常の損害である事を官民一般に知らせるならば、それだけでも、日支兩國々交に貢すべき結果を生ずる事多大であると考へる。法の嚴守の如きは今の中國に到底出來ない事は吾人と雖も之れを知る。只、國法なるものは無茶苦茶に蹂躪してもよいものだと思はしめないだけでも結構と考へる。

中國人羅災者に 十萬圓贈與の御沙汰

畏し本邦居留民には一萬圓下賜 宮相、政府と處理協議

【東京二十一日發】宮內省發表=長江沿岸ではこの度中華民國揚子江洪水の趣きを聞し召され天皇、皇后兩陛下より本邦居留民へ金一萬圓下賜、また天皇陛下は中華民國罹災民へ十萬圓贈與の思召を御內沙汰あらせられ一木宮相は聖旨を體してその速かなる處理につき目下政府と協議中である

食糧調節のため婦女子は上海避難

邦人側の被害今後更に增大せん 慘!漢口の大水害

【漢口二十一日發】昨朝來約五時間減水した市中の水は昨夕又復三時間增水し、その儘よどんでゐるがこれまで土色をしてゐた市中の水は今や青黑色に變じ汚物が混濁して漸次鐵漿樣の泥となり惡臭鼻を衝くに至つた、加ふるに日中は九十五六度の暑氣で惡疫の流行を見るは必然、邦人は住宅の倒潰はまだ無いが明治小學校等堅固な建物程水勢強く爲めに床板は殆ど全く彈き上げられ同文會經營の江漢中學の如き風浪のため倒潰の危險に瀕してゐる、邦人の被害は今後更に增大するものと見られ本當の受難はこれから始まらう、尙米は民團より配給しつゝあるも燃料不足のため紙その他手當り次第に焚きつゝある狀態で食糧調節のため婦女子を上海に避難せしめつゝある

民間團體が中心で 中國水害義捐會を組織

【東京廿一日發】漢口を中心とする長江一帶にわたる未曾有の大水害に對し畏き邊では別項の如く在留邦人並に中國人に對し多額の御內帑金御下賜の有難き御沙汰あつたが、若槻首相もこれに感激し來る二十四日午後四時官邸に商工會議所會頭郷男、工業俱樂部理事長團男以下紡績聯合會その他民間有力經濟團體代表者及び新聞通信社代表を招き救援方法につき懇談する事となつた、民間團體が中心となつて中華民國水災義捐會を設立し至急多額の義捐金を募集してこれを被害地に送る事となつた

漢口大水害に美しき友邦愛

同情金續々集まる 日赤社から取敢ず救護品を

【東京特電廿一日發】聖上陛下におかせられては友邦中華の大水害に痛く御軫念あらせられ特別の思召を以て御內帑金御下賜の御內沙汰があつたが、一般民衆の同情もひき續き昂まり五百圓、千圓の寄附申出あり、また日本赤十字社にては今日緊急幹部會を開き德川副會長、理事大久保侯、久保田讓太郎その他諸氏出席、取り敢ず必要の救護品を送る事を決定した、右に就き高橋救護課長は語る

今食料を送つた方が好いか、衣類を送つた方が好いか外務省と協議中で纏り次第慰問品を送る心算である

支那織物や巻煙草献上 關東長官から

【東京特電廿一日發】上京中の室田關東長官秘書官は塚本長官代理として今日午前支那織物、巻煙草等の献上品を捧持し宮內省に出頭、献上の手續きを爲し更に青山御所に伺候し皇太后陛下に對し奉り支那織物を献上し御下納の趣きを拜承、恐懼して退出した

避難民の上陸禁止 窮した武昌當局

【漢口二十一日發】武漢三鎭は既に食糧缺乏してゐるのに各地からの饑餓避難民は漢口二十萬、武昌五萬、漢陽二萬に達しその上へ車夫四萬、埠頭苦力十萬失業し何れも餓鬼の如く飢え切つて居り、漸次險惡化せんとしてゐる、上海その他へ避難するものあるも避難民の入り込む數が餘程多く、饑餓民は增加の一途を辿る許りで對策に窮した武昌當局は近縣から船で來た避難民の上陸を禁止した

本庄軍司令官 關東廳を訪ふ

二十日着任した本庄關東軍司令官は二十一日午前十一時半恆吉高級副官東道、板垣高級參謀、住友副官等を隨へ關東廳を訪問、長官代理三浦內務局長以下中谷警務局長、西山財務部長外廳內各課長と長官應接室に於て會見挨拶を交し同五十分辭去した

風變りなベルギーのキルメス祭

毎年盛んに當地において行はれるキルメス祭といふ風變りな厄拂ひのお祭りがブラッセル市長エム・マックス氏の司會の下に今夏も盛大に行はれたが、お祭りに大きな異樣な人形を持ち出す所なぞ、支那式で西歐の中心をなすベルギーには餘り似つかはしくない風景だがこれを見物に他國からもわざわざ出かける人が多いといふ、寫眞は、ブラッセル市長マックス氏が市廳舍前に集つた異樣な人形群を巡閲する所

滿洲大豆飼料化研究所を訪ふ

日本の丁抹愛知縣安城に(下)

◇…安城を中心とする碧海郡は愛知縣下に於て養鷄王國とまで呼ばれ、成鷄羽數六十三萬羽、飼養戶數七千九百十三戶、專業としてゐる家が多いのである、その年產卵數は六千九百三十九萬五千三百三十三個、一羽當り百十個を產んでゐる、最も多いのは一羽が一年二百九十個を產むさうな、これによる養鷄全收益は年額二百四十五萬四千圓となつてゐる

◇…畏くも高松宮殿下には昭和四年秋台臨遊ばされ、御獎勵の御言葉あり、又賀陽宮殿下には昭和五年夏、シャム皇兄カンペンペジエル殿下には同年秋、御視察遊ばされた、この事實は土地の人の大に光榮としてゐるところであつたわれ等は聯盟組合を視察してより郡農會、產業組合、圖書館等を巡りて、その組織の合理的にして且つ統制ある事に敬服した。

◇…中食後われらは安城を中心として二里四方の農村を巡察した、自動車を飛ばしての甲の村より乙の村へ、養蠶の傍ら、養豚、養牛を副業とさせる農家を訪問したのである、肥料桶の傍ら、養蠶小舍の廡下などに豚小舍、牛小舍或は鷄舍などがあつて、いづれも大豆粕を飼料として與へてゐた、或村落に於て、一萬羽の鷄舍を有する鈴木養鷄場を見て、その規模の廣大なるに驚いた、總て白色レグホンであつた、鷄の餌は鐵道によるトロッコにて運び、その餌は十數個の大釜にて煮るのであつた、更に鷄卵の荷造り、發送の現場をも視察した

◇…要するに、安城を中心とする碧海郡は、農業を總て合理的にやつてゐる、華を捨て實を取り、しかも進取的氣鋭に充ち滿ちてゐる、三河人は、元來辛抱強いところが、いまから五十年前は安城ケ原といふ不毛の山林地、荒地であつたものを、義人都築彌厚翁の獻身的努力により、開拓の基礎を成し、岡本兵松、伊與田與八郎氏等の協力により、不良土を拓いて、水田となし、今日、田面二千八百餘町歩六萬石を平年作となすに至つた、五十年前四百戶の一寒村は今日四千戶の繁榮の一都市となつてゐる

◇…それは土地の人々が協力一致して山を拓き、用水を開鑿した事に原因する、犧牲奉公の念の發露こそ、社會團體の繁榮の基礎である「人の一生は重荷を負ふて遠き道を行くが如し」といつた德川家康の教訓が、昔から三河武士、三河百姓に至る迄精神に沁込んでゐる、

◇…全財産を捧げ、安城ケ原を開拓し、矢作川から分水して、碧海郡の平野に灌ぎ、衣ケ浦灣に注入する大設計を建て、以て十八年間、他人から狂人と呼ばれて奮鬪した義人都築翁を思へば、熱淚を禁じ得ない、しかも都築翁は、功成らずして、中途にして長逝されたのだ、後人をして奮起せしめ、その遺業を完成せしめた事も、天の翁を憐れんだ結果であらう

◇…かうした先覺者の精神的感化が、山崎延吉氏の如き學者にして篤農家を出し、無數の實際的篤農家を續出せしめ、安城をして、遂に「日本の丁抹」とも呼ばしむるに至つたのである(完)

八相

投書歡迎 五十行以內 中傷はさらず

乘客のたしなみ 一乘客

◇よからぬ電車の車掌があるといふ投書を拜見しましたが、多數のうちには一人や二人よからぬ分子は何處にもあるものです、このほんの一人二人の行爲をもつて多數の人に迷惑を及ぼすやうなことは誰しも餘程愼まねばならぬことだと思ひます

◇よからぬ車掌を指摘された方は成るほど迷惑されたかも知れませんが、乘客の方でも立派な方ばかりだとはいはれません、若き女性、女學生などには隨分懷な振舞ひをする人の決して少くないのに往々にしてか驚かされることがあります

◇私は毎日朝夕電車の便を利用するものですが、若い女の人の車掌に對する態度の如何にも乘客に對するが如き振舞ひを隨分見受けます

◇女學生等が氣持よく老人や長上に席を讓つたのをみたことがありません、他の迷惑を思ふ心や女としての愼みなどみることが出來ません

◇よからぬ車掌の行爲は勿論あくまで責めねばなりませんが、車の中でコンパクトに鏡を押しつけてハケで顏をなで廻すが如き行爲は乘客にしても愼むべきものです

本庄軍司令官招宴

本庄關東軍司令官は來る二十五日午後六時三十分より旅順偕行社において旅大官民の主なる者約四百人を招し披露宴を開催すると

東京外語の支那視察團

東京外國語學校の支那語科、蒙古語科生十五名よりなる支那視察團は長途の旅行を終り廿一日入港の濟通丸で天津より來連したが旅行團を引率の宮越健太郎教授は語る

先月の九日に東京を出發して上海にいたり長江を上つて漢口まで行き、新しい支那の近[...]たうへ更に引き返し青島を見て膠濟鐵路で濟南に行き天津、北平と廻つたもので、北平には學生の語學勉强の意味もあり約三週間滯在した、自分なぞは單に一緒に行つたと云ふにとゞまり大體は學生の自由に任せた、語學を習ふものにとつてこれが一番好い經驗だと思ふ、幸ひ本校の卒業生はどこに行つても一人や二人は必ず居るので非常に心丈夫である、二三日滯在旅大を見學のうへ奉天に行き朝鮮經由歸るつもりだ

佛艦隊司令官訪旅

佛國東洋艦隊司令官並に幕僚五名は二十一日午前十時大連より自動[...]內にて博物館、記念品陳列所、水師營及び鷄冠山、東鷄冠山等を見物、正午黃金臺ヤマトホテルにて關東廳の午餐を受け午後三時大連に引返した

鞍山神社に御神寶着御

伊勢神宮御撤下の御寶物御神太刀、御楯、御劍、御鏡、御弓を鞍山神社にも御下附相成り大連まで奉迎の梶野神職、三宅氏子總代奉持して二十一日午後二時四分急行列車にて御到着、中ホーム及び驛前沿道[...]青年團、青年訓練生その他一般氏子の整列せる中を警察のオートバイを先驅とし御寶物自動車、供奉自動車等最敬禮のうちに驛前通りより大宮通りを經て恙なく鞍山神社に御到着、尙九月一日午前十時より神社に於て一般氏子に對し御寶物の拜觀を許される由【鞍山電話】

近く三巨頭北平で會議

【北平廿一日發】徐永昌氏は張學良氏に宛て「本日五臺山に閻錫山氏と會見す、明二十二日大同經由赴平すべし」と電話があつた、韓復榘氏も三、四日中に來平の旨打電し居り近く張、徐、韓氏を中心に北方時局平定善後問題、馮閻處置問題、匪問題等に就き協定を諮るものと見らる

龍山島に燈臺

海務局においては豫算約三萬五千圓を持つて沿岸航路標識の設備完成に努力し既に帽島、海洋島西中島各燈臺はコンクリート基礎工事も終了十月一杯までには完成のはこびになつたが更に直隸海峽の小龍山島にも燈臺建設をなすため廿一日午後同局所有金州丸にて補野技手出張これが下準備並に建設箇所の調査をなした

關東廳辭令【廿一日付】

任關東廳遞信書記補 關根利男

關東廳遞信書記補 關根利男 依願免本官

辭令【東京二十一日發】

任島根縣知事(二等) 三澤寬一

島根縣知事 大森佳一 依願免本官

明、闇・北支時局

離合常なき鵺的將領 走馬燈のやうに變る形勢

◇…逆賊石友三を數日にして平げ華北の和平を維持したと誇る奉天軍にも僅に數萬の石軍に追詰められて危うく關外に總退却すべくを準備した事實と、而して保境の一線を論がいて石軍に妥協を結んだ事實あり、威德の然らしむる所以を誇辭を呈する奉天派の半面には暗に反蔣派を通じ向ふに廻しては骨肉の爭ひだと叫んだ者、戰ひの不利を力說しての撤退を唯一の良途と心得へて來を謀らんとせる者、張學成等、等あり道の學良氏も今に數十日前を憶へば感慨に捨たる電文に苦笑を禁じ得ないであらう

◇…隰下に卷起つた客將排斥の─他省人の權力者を驅逐する─に驚き狼狽して既に直系と石家莊に避難した商震氏は一にして討逆隊の殊勳者であり矢を放たず一兵を傷けなかつた說明であつたが、反蔣各派指揮矢は一身に集注するも思へ德の司令部に夢の安きもの、石友三氏との總證を握られ西各將は昨年の復轍に痛快を叫んだのも束の間で今や商震氏のは協議の結果に基く豫定計畫と叫ばざるを得ない悲哀あり

◇…山西起てば行動を共にすべしと約束した韓復榘氏は當代の一怪傑だが、親友滅びては自己保全に牆壁を缺き「吾人は始中央擁護に變りなく何で政治を問はんや」との所謂心跡表明を通電せる吉鴻昌、孫殿英等、等、勇將もつい此間まではこの國民の賊を除かんのみとて劍を按じた人々である、その明暗孰が時局の眞相なのか何人も之を判斷することが出來ない、否明暗交互のそのものが時局の相であらう

◇…次いで大連から歸着した閻錫山氏は太原において久しく姿を隱してゐた馮玉祥氏と會見するや山西の形勢頓に緊張したのは事實だが、何時の間にか馮系軍隊たる宗哲元、龐炳勳氏等は河北省へ移駐を始めきのふは閻錫山氏擁護を誓つた山西各將領はけふは閻氏に何等の政治的野心なし、山西は平靜無事だと囁く

◇…又きのふは既に共に大事を語るべしと誓つた韓復榘氏は突如閻、馮兩氏に外遊を勸告する爲兵を石家莊に進めんのみと通電する代表は驅け廻り有線無線の電報は飛び慌たゞしい雲行がつゞくかと思へば妥協、和平、調停氏等々の活字が大きく新聞紙を賑はし和平統一は完成されたと考へると既に一方には駐屯の大軍一兵も動かず武器の輸送は反つて頻繁を加へる和平の裏に戰ひあり、戰ひの裏に和平あり、明と暗とのカクテルが現在の北方時局の相だ(八、一六)

大觀小觀

畏きあたりでは隣邦漢口の大水害を御軫念遊ばされ御內帑金下賜の御內沙汰▲國境を超越した御仁慈畏し▲また幣原外相を斡旋役とするその救濟運動がわが國內に起つたのは時節柄嬉し▲關東大震災の例もある、斯う云ふ不時の大災禍の場合、外國の同情が如何に嬉しく感銘さるゝか我等同胞はよく知つてゐる筈だ▲最近支那側の暴舉による各種の頻々たる不祥事件それに伴ふ國民的感情の惡化▲然し感情は感情、同情は同情だ、當地でも支那側の不法を糾彈すると同時に一方この種の運動も起つてよいだらう▲エロの次ぎに暴利の取締り、羽根をもがれ尻ッ尾を拔かれ──と云ふ程でもないが兎に角新取締方針に悲鳴を擧げるカフエー街▲然しエロの薄利多賣よりビールその他の薄利多賣の方が遙かに合理的だ▲勉强することを勉强することさ▲「對支關係はまだ左程重大化しては居ない」と南陸相▲然うです、だから寧ろでソッと搔でること、それでいい▲節約案の行惱み、赤字の咒ひ、英國も赤日本の涙か。

本日畫報を添ふ

奧地市況

品目	限月		
▲奉票	現物		一、四四〇〇
▲奉大洋	現物	四二、九〇	—
▲開原大洋	現物	四三、〇〇	—
▲安東鎮平銀	當限	六〇九	六〇九
	先限	六〇七	六〇九
▲哈爾濱大豆	九月	九〇〇〇	九〇〇〇
	十月	九一〇〇	九一〇〇
	十一月	九一〇〇	九一〇〇
▲同小麥	九月	一、四六〇〇	一、四六〇〇
	十一月	一、四七〇〇	一、四七〇〇
▲同大洋	現物	三五、〇〇	三五、〇〇

市場電報

神戶特產

銘柄	現物	先物
大豆	四二〇	三四〇
豆粕	一〇〇	二〇四
滿洲小麥		三一五
豆油		一五三〇

東京株式(長期)

銘柄	後場寄	後場引
東株新	一三七五〇	一三七五〇
東新新	一三〇〇〇	一三〇〇〇
五品中	不申	不申
五品先	不申	一〇八〇

豆信、豆新共全部不申

東京株式(短期)

	東新	鐘紡	鐘新	滿鐵
寄值	一二八八〇	一九〇一〇	七九〇〇	二二九〇
引值	一二九三〇	一九〇一〇	七九六〇	不申
高值	一二九四〇	一九〇一〇	七九六〇	二三九〇
安值	一二八三〇	一八九〇〇	七八六〇	二二八〇

大阪株式

銘柄	後場寄	後場引
大株	不申	不申
大新	六七一〇	六七一〇
鐘紡	一八九三〇	一八八六〇
鐘新	七九二〇	七九四〇
東株	一三七五〇	不申
東新	一二九五〇	一二九七〇
日糖	不申	不申
郵船	三五八〇	不申

大阪綿糸

限	後場寄	後場引
八月	一〇四六〇	一〇五〇〇
九月	一〇四二〇	一〇五五〇
十月	一〇四二〇	一〇四二〇
十一月	一〇四九〇	一〇四九〇

市況(廿一日)

株式 內地株變らず 當市閑散

內地主力株の大引保合を入れて當市も氣配變らず閑散裡に散會した

後場 ◇延取引(單位十錢)

銘柄	寄值	高值	安值	大引
五品	—	—	—	—
新豆	—	—	—	—
錢鈔	—	—	—	—
大新	七四	七四	七四	七四
東新	三九〇	三九三	三九〇	三九三
鐘新	—	—	—	—

錢鈔 標金變らず 鈔票保合

後場の市場は人氣引立たず標金動かざるため保合閑散裡に大引

◇定期後場(單位錢)

期	寄付	高值	安值	大引
近期	四三九〇	四四〇〇	四三九〇	四三九五
遠期	—	—	—	—

出來高(期近・遠期) 二十萬圓

◇現物後場(單位錢)

	銀對金	銀對洋	金對洋
一時半	—	一三三五	—
二時半	—	一三三〇	—

出來高(銀對金・銀對洋) 二千圓

商品 綿糸新安值 先物四圓臺

綿糸● 大阪三品大引は前場寄に比し期近三圓安中先二圓二、三十錢安の新安值に低落し當市はマバラ筋の小手合せをみた

銘柄	約定期	值段	捆數
福助	十一月限	一〇五〇	三〇
同	十二月限	一〇四八	一〇
同	一月限	一〇四六	四〇

出來高 七十捆

麻袋●(出來不申)

	十二月	一月	二月
	一〇四九〇	一〇四六〇	一〇四五〇
	一〇四六〇	一〇四四〇	一〇四二〇

橫濱生糸

限	後一節	後二節
八月	六四七〇	六四六〇
九月	六五九〇	六五七〇
十月	六六七〇	六六四〇
十一月	六四九〇	六四五〇
十二月	六四七〇	六四四〇
一月	六五〇〇	六四七〇

大阪期米

限	後場寄	後場引
八月	二〇〇一	一九八一
九月	二〇六五	二〇五一
十月	二一三六	二一一五

東京期米

限	後場寄	後場引
八月	二〇六五	二〇四五
九月	二一一五	二一〇五
十月	二一六〇	二一四二

神戶期米

限	後場寄	後場引
八月	二〇一三	一九九六
九月	二〇八七	二〇六七
十月	二一五一	二一三九

家庭

奥さま教育

流行を追はず、きずや汚を我慢すれば 極くお安く手に這入る洋雜品

お買ひ物上手（○）

洋品雜貨、さうしたものゝお買物にも何より大切なのは矢張り品物をよく見ることです、店にならんでゐる品物の殆ど全部が東京製品さ大阪製品ですが、概して東京物は製作に親切でその代り多少値段が高くなります

◇…大阪物はなか〱見場が

いゝかはりに製作は粗雜に出來てゐます、勢ひ東京物が大阪物より體裁は劣るが實用向だといふことになります、さいつても大阪物だつて相當の値段を出せば決してそんなものばかりでない事は勿論です、さころで一流の商店さ二三流商店の品では大分値段のひらきがありますね、例へば同じ樣な生地を用ひほさんど同じやうなスタイルに仕立た子供服にしても、一流商店の品より二三割も廉く二三流どころの店先に澤山並んでゐます つまり仕入元がちがふのです、仕入元で下手な職人に殆ど稽古用さして縫はした品ですから當然やすい筈です、ですからちやんさ恰好よく氣持よく着やうさすれば多少値が高くさも相當の店で買つた方がいゝのです、よく「丈は充分だが身幅が足りない」さか「肩のさころがダブ〱で氣持ちがわる」いさかいふのはこんな

◇…稽古用に縫つた品物に

多いのです、でも多少は恰好がわるくてもやすい方がさいふのでしたら、あまり店を張らない、廣告費などに多額の金をつかはない二流、三流の店で結構です、そして充分手にさつて見て品質を吟味して、體裁なんかかまはないから身につけるものだつたら着て見る位にするんです、アンダーシャツだの子供の通學用の沓下だのヅロースだのだつたら何も一流商店を選ぶほどのものでもありません、しかし洋服やシャツ類だつたら家へかへつて釦をつけかへる位の手數はかける必要がありませう、更に夜店物で間に合はす場合にはなほ更この邊の手入が大切です、さいへば一流商店では

◇…安い物は手に入らぬか

さいへばそんな事もありません、卻つて大變割のいゝ特價品、奉仕品などいふのがあります、こんな店の特價品でしたら夜店物のやうにつかまされる心配は先づありますまい、でどんな時に割引をするかさいひますさ、仕入がすぎた場合、向きがわるい時、或は一寸よごしたりきずになつた時に特價品さして二三割から時によるさ五割以上も値引して店に出すのです、今ですさ婦人帽、子供帽、カン〱帽、婦人子供服、ネクタイさいふやうな一定の時期がすぎるさ著るしく商品の價値を落したり又は全く價値を失つたりするやうなもの（流行さか色が變るさか）によつて）に思ひ切つた特價品を見ることがあります

いつもよく新聞廣告やチラシなどに氣をつけて、割引賣出しや特價品賣出をはじめるさ毎度かゝさぬやうに見にいらつしやる方があります、澤山の品物をずいぶん熱心にごらんになつて一寸流行におくれた上等の品や、少しよごれてゐる立派なものなどをずい分安く買つていらつしやる奥樣がおありです、ほんさに少しの流行おくれで我慢なさる方ならどの店にだつて相當立派な特價品が少くないでせう、ここに一寸手垢がついたりきづがあつたりする物なんか店では思ひ切つてお安くねがつてゐるのですからずいぶんお德用なんですがね、で

◇…お上手な奥樣になり

ますさ夏には春物を、秋になるさ夏物をさいふやうに時期おくれの物を殆んど三分の一位のねだんで買つていらつしやる方がありますが、ずい分世帶もちのいゝ奥樣さひそかに感心して居ります

ある洋品店の女主人はかう語つてくれました

フランクリンの受取りが四百五十弗

リンコルンの手紙は三百弗臺 米國名士のサインの値段

生存して居る人、或ひは故人となつた名士の署名さ云ふものは世界各國共に珍重せらるゝものさ見えて、五弗から數百弗間の價値を保存して居るさいはれてゐます、これ等のものが古い時代の人々のものに就いては、どういふ風に世の中に出て來るかさ云ふ事を考へて見るさ、物置等の中に永らくの間他の書類さ一緒に保たれて居つたものが掘り出されて來たものが一番多いので、或種類のものになるさその有名なる人の家に一代の間は保存せられて居つたものが子々孫々に傳へられて、遂にそれがその道の商人の手に這入り揚句の果にはさう云ふ種類のものゝコレクションをする人の手に這入るのです

就中その出所が明かであるものは、その價格もまた從つて高くなるわけで其の道の商人の型錄を見るさ現大統領のサインの數弗程度のものから初代の大統領或ひはイギリスのクイン・ビクトリヤ等のもの迄も型錄にのつてゐるさいふのです、そしてその値段さいふものは其の人の贏ち得たる地位の程度にも關係するし又別の方からはその人の署名が滅多に無いさいふ事にも關係し、時によればその書かれて居る書類の形式或は文章或は手紙の內容も關係する事になります、例へばルーヅベルト大統領の署名の如きはその形式如何によつて五弗から七十五弗位の間、ジョン・アダムスに依つて書かれたる歷史的の

文書は二百七十五弗、ベンヂャミン・フランクリンが千四百冊のドイツ書を受取つた受取の如きは四百五十弗、アブラハム・リンコルンの手紙でゼネラルバンサイドに送つた手紙の如きは三百七十五弗の定價がつけられて居るさ云ふ事です

簡單に出來るシャーベット

卵の白味さ果實汁さで作つた淡白なデザートです、アイスクリーム機械があれば簡單に出來ますからお試み下さい

▲材料 卵白四ケ分、罐詰パイナップル汁一合、湯ざまし一合、砂糖大匙一杯

▲拵へ方 卵白を泡立器でよく掻き廻し十分泡を立てゝおきます パイナップル汁、湯ざまし、砂糖をよく混ぜ合せたものにさきに泡立てた卵白も一しよにしてアイスクリーム機械にかけて三十分程廻します、固まりましたら涼しげな硝子器にもつてすゝめます

◇―すーいく？オールに銀波漂ふ

母のために童話を語る （三）

政本いさむ

狼とうさぎ

幼稚園の子供に先生がこんな話をしたさうです

一匹の狼が山の中を歩いてゐました。お腹がすいてゐるので、何か食べ物を探してゐました。可愛い兎の子がお母さんのそばからはなれて獨りで遊びに出てゐました。川がありました。そこに長い一本橋がかゝつてゐました。狼はふら〱さそこの橋にさしかゝりました。兎の子も反對がはから橋にさしかゝりました。

二匹はちつとも知らずに橋を渡りかけました。橋の眞ン中で兎さ狼がばつたり出會ひました。兎が吃驚しました、狼はパクッさ兎をたべてしまひました。

するさ子供が二三人ワアンさ泣き出したさうです。先生は吃驚しました。先生は出鱈目にこんな話をしてゐたのださうです。さあ困つてしまつて、まさか今のはうそださもいへず、一生懸命子供をなだめたり、すかしたりしても、どうしても泣きやまないで、ほさ〱困つてしまつたさいふ話を聞きました。

子供の世界はそれほど純眞です。大人の鈍つた神經の前には何でもないことが子供には眞劍に受け入れられるのです。子供はお話の中に這入つてしまつて兎になり切つて聞いてゐるのです。

犬ころを見ても、お月さんを見ても、それをみんなお友達さして見てゐます。子供の目にはこの宇宙の森羅萬象木も草も雀も家も石も月も星も犬も猫もすべてが自分に呼びかけてゐるやうに感じてゐるのです。

虹の橋渡ろ
手々ひいて渡ろ

子供の心は本當に虹の橋を渡つてゐるのです。子供は大人を小さくしたものではありません。子供は子供獨特の別個の世界に住んでゐるのです。

童話について

そこに教育の重大性があります。そんな純眞な子供をどう育てゝ行くべきかさいふことになります。

「なに子供はほつて置けば何さかなるよ」

いや、さうぢやありません。私は幾人かの女中を使つて見ましたが、無論それはよくない家庭から送り出されものが多かつたのさ外に幾多原因もありませうが、それ等の子供を見て、家庭教育によつて作り上げられた性質はもはや十四五にもなれば、どうすることも出來ない程根強く第二の性質を作つてしまつてゐることを感じます。お話が横道にはいりましたが本道へ戻して、子供に與へる童話について考へてみます。

面白い話もいい、お伽噺もいいが熱し本當に子供の美的情操を、豁しい心懐の世界を培つてやるものは、どうしても子供の生活にぴつたりしたものから材料をさつた、人生の何物かを暗示したものでありたいさ願ひます。

子供は案外敏感であります。本當にいゝ童話さいふものは未明さんのいつてゐられるやうに、子供に讀まれてよいものであるばかりでなく、大人が讀んでも或響きを感ずるものでなければなりません。そこに從來のお伽噺の世界から一歩レベルを上げて現代文學の中に詩や小說や劇さ肩を並べて確固たる位置を占めるやうになつたわけであります。童話は我々の人生の中から童話になる部分をぬき出したものであります。人生に何のかゝはりもない何の暗示も受られないものは文學さしての價値に乏しいものさいつてよいでせう。

現代童話作家の中では小川未明さんがどういつても第一人者でせう、それから永谷まさろ、濱田廣介、千葉省三、こんな作家のものは本當に私達の狙つてゐる童話です。こんな人たちの童話の中から選んで子供に話して聞かせるやうにお勸めいたします。

子供はお母さんのお話を聞きながら眠つて行く、眠り出してもお母さんはやつぱりお話をつゞけて行つて下さい。

半意識の中に受ける影響が覺醒中のそれよりも卻て強い潜在力さなつて殘つて行くものださいふことは或心理學者の研究の結果ださうです。

大人のものです。本當に子供のための映畫が、劇が、芝居が、童話が、もつと〱我國に起らなければならないと思ひます（をはり）

滿日各地版

滿鐵中間驛を襲擊 社員を人質に拉去
不況で兇暴性を帶びてきた馬賊 大膽な計畫を目論む

【長春】本シーズンに於ける全滿各地の馬賊の猖獗は最近見ない猛烈さで日支人を問はず不安は其極に達してゐるがこの匪賊に直接關係を有する各地警察官の警戒は寧ろ餘りにも悲壯を極めてゐる殊に本年の馬賊は銀安と不況から驚くべき小額の金までさらへる手癖がゐるかと思へば金を持たない百姓など最初から目もくれず堂々と日本人を人質に拉致するとか四洮鐵路局に巨額の要求をなすとか容れられざれば運行列車の顛覆を圖るとか、一市街地を占領せんと襲ふとかその兇暴は想像を許さぬものもある殊に最近傳へられる噂としては相當數の賊團は南滿沿線の中間小驛を襲撃して驛長乃至助役その他を人質に拉致し多額の金品を滿鐵に要求するといふ情報である、中間驛の襲撃は最も易々たるもので驛の賣上金などは差してある譯でもあるまいし結局社員を人質に拉致しようといふ作戰なるもの、如きであるため、間小驛の勤務者は此際特に警戒注意すべきであらう、匪賊が日本人の人質拉致に着眼し來つたことは新らしい戰術でこれも銀安の原因からであらうと見られてゐる

身代金三千圓を横取りさる
氣の毒な大倉組の二人

【四平街】去る七月三十一日午前十時郭家屯を距る西方一哩の地點遼河架橋中にある大倉組員三橋、山田の兩氏を人質に拉去し同贖金五萬圓を要求し來りたるは其當時報道せるが爾來前記兩氏の昵懇者は大倉組と共にこれが救ひ出しに萬策を盡して馬賊團に交渉中であつたが結局同贖金三千圓を提供することに話が纏まり去る十八日大倉組員は當地竹村洋行にて前記の三千圓を借り受け馬賊が指定せる場所である郭家屯附近に携行し二名の人質の身柄を引取るべく之を手交し一刻千秋の思ひで待てど暮せど一向それらしき模樣なく不審焦慮のあまり能く聞き糺せば三千圓を受取つた者は馬賊仲間の者でなく剩つさへ其者は其場より何れにか行方を晦ましたと傳へられてゐる、尚三橋山田の

其後の馬賊被害

【公主嶺】公主嶺の西方六支里懷德小孤楡樹居住農閑方に十八日の午前二時頭目戰山好の率ゆる四十名の馬賊團來襲周壁を乘越え屋内に闖入金品を強奪し人質一名を拉去逃走同夜温家河口の農黄方に一泊翌朝遼河口を渡渉梨樹縣に潛入の一方同日午後十一時葦子溝に於て討伐の靖團を全滅し逃走した東洋の率ゆる五十名の賊團は同地の豪農董方を襲ひ家人を威嚇食事を命じ翌朝四時出發に際し董の長男を人質として拉去逃走した

兩氏の消息を伏聞するに身體の自由を奪ふために兩腕を緊縛し縛りつけ食物は少なりこの炎天に碌々水も與へぬので兩氏は極度に衰弱し氣息奄々漸く生命を繋いでゐるといふことである而も今明日を測しなき曠野を轉々する毎に引ずられ行くので膝關部以下の肥膚は皮膚破れ血に染まる肉が露出し、屎尿に塗れて臭氣を放ちトテも近寄れぬほど變り果てゝゐるといふことである

馬賊を掩護 公安局で

【大石橋】十九日大石橋警察署長が海城縣公安局員より聞知したる處に依れば近時海城縣第十區(馬圈屯)管内には匪賊の跳梁横行甚だしく被害事件頻發し居るに拘はらず未だ曾て之を檢擧したる事例なきのみならず搜査警戒に關し同管内居住民より兇角の風評あるを以て縣公安局に於ては同分局長以下の行動に不審を抱き注意中のところ偶々本月十日同分局前の雜穀商に匪賊侵入し被害者より急報に接したるにも拘らず直に之が逮捕に赴かざりしのみならず引續き爾後の搜査をなさゞるを以て縣公安局に於て嚴重調査したる結果該分局長(警察分署長)は窃に匪賊團と密通連絡し匪賊團より金品の贈與を受け之が保護援助を爲しつゝある事判明したるを以て縣公安局長は部下六十名を率ゐ去る十七日同分局長以下逮捕に向つた

馬賊船を襲ふ

【營口】遼陽太子河から營口福成號の運搬船が綿布と雜貨を積み之に護衛として營口河防營隊劉班長以下兵士十二名が乘組下降中十九日午前十一時ごろ城西夾信子附近に差掛つた時匪賊の頭目双陽以下二十餘名の一團現はれ陸と船中とで交戰した結果兵士二名負傷遂に官兵は武裝を解除されたる上班長以下の携帶せる長銃十二挺モーゼル二挺彈丸數百發綿布雜貨類價格數千元を掠奪されたと

九人組の馬賊

【長春】十八日午後十時半頃大屯附屬地を南方四丁を距る農業張某方の瓜畑に九人組の馬賊現はれ瓜の提供を迫つたが番人は賣出したあさで熟したものがない旨を告ると賊は番人を毆打して逃走、附屬地を襲ふ計畫の賊團ではなかつたかと目下嚴重警戒中

撫順の馬賊

【撫順】高粱繁茂期に跳梁する強盜——十八日午後十一時支那町新立街野菜商彭萬善(三)方に大刀拳銃所持の三名組強盜表戸を破壞侵入現大洋二百三十元外金品十一點時價金換算三百五十圓のものを強奪逃走

十九日午、十一時二十分大山坑南方十八町の農士秀丽(五一)同崔鳳林(四五)同云鶴有(六八)方を矢繼早に五名組強盜襲ひ金品強奪犯人不明

正に降伏仕り候
撫順永安臺弓術道場に燦然と輝くふるつた額

【撫順】撫順永安臺弓術道場に掲げた額が兩日前より燦然と光つてゐる、曰く

降伏狀

第一回對抗競射會に於て正に降伏仕り候

昭和六年八月十六日

於撫順道場、奉天選手
川原、落合、小林、西尾、有田
瀧澤、尾坂、中山、高島、小森
鄕、青木、岡野、久保

撫順選手殿

右は奉撫弓界の精鋭をすぐつた對抗競射會を去る十六日開くに當り優勝旗の爭奪位じやそれが何れに歸してもピリッと來ない依つて負けた方は男として最大の恥辱降伏狀を書くことにしようと相談一決同十二時より「二十射競射」により輸贏を爭つた結果奉軍利あらず百五十三點對百五十九點で惜敗したため血涙を絞つて前記降伏狀を撫軍に贈つたものである、當日の成績左の如し

奉天軍(計一五三)

奉軍	川原	落合	小林	西尾	有田	瀧澤	尾坂	中山	高島	[illegible]	小森	青木	岡野	久保
得點	11	10	14	14	9	8	5	15	4	15	14	10	9	15

撫順軍(計一五九)

撫軍	岩松	長濱	坂井	井手	藤吉	稲富	岡崎	藤田	花田	甲裴	原山	渡邊	橋口	宮原
得點	13	13	15	11	11	11	17	13	7	11	9	9	15	4

自家用米に納税を強要

【鐵嶺】昌圖縣下八面城居住邦人小辻卯之吉は數日前知人數名と共同して安東より白米五俵を購入し驛から各戸に配付すべく稅捐局前を通過したところ局員は右白米を商品なりとし稅金の納付を強要したが小辻は日本人であり且つ白米は商品でなく自家用米なることを述べて一先づ歸宅したところ更に稅捐局から態度強硬に稅金納付を強要して來たので何の稅金やら譯が判らず同地警官出張所に屆出で領事館の指示を仰いで來た、日本官憲としては斯かる問題は承認すべき筋合のものでなく當然跳つける方針らしいが詳細不明の爲め調査復命を促した、八面城在留邦人は支那側の態度強硬なるに驚いてゐる

開原城壁を修繕
一般から寄附金募集

【鐵嶺】開原城の城壁は數年前より破損するに委せて警備上頗る不利を感じてゐたが不況の折柄とて修繕費の捻出方法なく今日に至つたが今年は各地に匪賊の出沒甚だしく開原縣下の被害も少からぬので警備充實上から見ても是非本年は改修したいとあつて十七日尹公安隊長は有力者を召集協議の結果一般から寄附金を募つて改修工事に着手する事になつたと

緑樹鬱蒼として涼味豐かな仙境
晩夏の金州響水寺

【金州】地獄の樣な炎熱に苦みながらも朝晩さつと吹く秋色の涼風は鈍つた活動力を容易に甦がへらしては居るもの〻まだ〳〵日中の暑熱から脱出すことは出來ない、海に山に涼地を漁る群は近ごろ續々として郊外の金州を訪れる、本社でも廿三日には苹果デーを催して疲れた大連人のために一日の行樂をほしいま〻にするチヤンスを與へ

金州側 でも双手を廣げて待つてゐる、海に山に……渤海と黄海とを目の邊に見下して昔日の激戰を偲びつ〻南山の英靈を弔ひ圓熟する山麓の苹果を觀賞して金州城、三崎山の古蹟、名所を巡觀するのは最も有意義であるが、之れを今少し延長して大和尚山に馬車を向け四圍の緑草木、展開さる〻淡々たる流れの山谷を通り抜けて仙境の響水寺を訪ることは金州に涼を求めピクニツクをする客の最も味はふべき事であらう、鬱蒼たる緑樹と險阻な溪谷とは分け入つて陰涼を採るに十分であり、山間を流るゝ豐富なる

淡水と これを集むる三百坪を超ゆる一大プールは現實に涼味を喫ることが出來る 恐らく全滿をしてこれ以上の涼場を見出すことは出來まい、而も往復の馬車賃が一圓二十錢の廉價である、獨り二十三日一日のみでない、秋色深まるに付けて溪谷の緑樹は紅葉して正に紅葉狩の適地として他に類を見ない、行けよ大和尚山に響水寺に

慘殺死體
長春鐵北で

【長春】二十日午前五時四十五分ころ通行中の一支那人が和泉町派出所に死體ありと屆出たため同派出所吉原巡査が現場に臨檢したるに鐵道北三不管(日露支三國の緩衝地帶たりし時代から支那人稱して三不管(現在は支那不良分子の巣窟)西方草中に頭部へ九ケ所の負傷箇所あり胸部露出、耳落ち右手拇指を殘して他全部は第二關節より切落され右背部に一ケ所を切りつけられた死體あり相當抵抗したもの〻如く死後既に三晝間餘を經過したものと思料され二十二三歳の苦力體のものだが遺恨による殺人視されてゐると

電燈料保證金撤廢の運動
安東鮮人から要望

【安東】安東在住朝鮮人に對しては沿線各地の例に倣つて南滿電氣安東支店は點燈申込者に對し電燈料支拂に對する保證金として二ケ月分の電燈料相當額を前納せしめつゝあつた爲めそれが撤廢に就ては從來よりも寄り〳〵協議が進められて居た處金虎贇氏が會長就任以來全滿各地に亘つて保證金前納の有無を調査したる結果奉天に於ては本年一月以來これを撤廢しつゝある事實が明瞭となつた爲め安東朝鮮人會は去る十四日金會長の名を以て電氣會社支店宛

一、日本人中より朝鮮人を差別すべき理由なし
二、最近朝鮮人の需要增加し料金支拂も往年の比でない
三、朝鮮人の滿洲進出助長は日本の經濟上重要である以上弱者たる朝鮮人に對する差別扱は國是に反する事
四、奉天は既に一月以來保證金制度を撤廢した事

等の四項を揭げて保證金の至急撤廢方に就き要望を爲す處あつたが右に就き電氣會社に於ても朝鮮人會の主張を極めて妥當なるものと認めたるが如く目下之れが調査を進めてゐると

釣りの「旅順」(四)
寒河江生

四、陸釣り

◎一竿を肩にして岩から岩へ渡り歩き、時には竿を弓のやうにたわめながら、水ぎわに躍る銀鱗にほくそ笑むのも、舟釣りとは違つた一種の趣がある、場所は岩や藻のある處なら何れも可、アカシヤの花咲く頃の上げ潮の夜には、産卵に來るメバル、アブラメの相當のものが、港内の波止場でも釣れる。

◎矢張りアカシヤの花の頃から炎暑の訪れる前迄に、旅順運動場のプールの前で、二歳、三歳のチヌが釣れる、上げ潮の一時間か一時間半の間、多い時は十尾位揚るので、關東廳や軍司令部の釣りファンがよく押しかけ、今年は餌賣りにいや迄出張する騒ぎであつた、引潮も喰はない事はないが數は少い、時にはボラやイカレヒの子も揚る、よくフグが邪魔をするが、チヌ釣にフグは付き物だから仕方がない、フグとチヌでは當りが違ふから、フグが當つたら躊躇なく糸を揚げる事だ、うつちやつて置けばどうせ餌はとられるし、時々は鈎迄ブツリとやられて了ふ。

五、ボラ釣り

◎其昔、ロシヤから日本の手に移つた頃の旅順はボラの名所と聞へた程に、港内到る處にボラが黒い背を見せ、殊に冬期の東港内はボラの冬眠地で、日を定めて海軍側が旅大名士をボラ釣に招き、深い井戸につるべの落ちた時に用ゐる樣なかぎを東港内に投げ込んで引ッ張りさへすれば、一尺四五寸から二尺と云ふ大ボラを、一人で五十も六十も揚げたものだと云ふ。

◎それが大正四五年頃からまるで寄らなくなつた、それ迄は旅順の町で東港内のボラ獲りの權利を持つてゐて、特定の漁夫に歩合を與へてボラ漁をやり、年收二萬圓もあつたものだといふ、其財源を失つた旅順は頗る狼狽して原因を調査したが判らない、宅島氏の話によると大正三年に東港内のボラが殊に多く、網を入れたところがボラの密集隊が折り重なつて網が動かない、四五日待つたが揚らない、潜水夫を入れて見るとボラが餘りに密集し過ぎて下積になつた奴は死んでゐると云ふ騒ぎ

◎とうとう網は海軍がやかましく云ふので切ッて了ッたが、それ以來連日死んだボラが順々に浮いて東港内が白くなつたと云ふ、越えて大正四年の二月頃、旅順未曾有の酷寒で東港内が堅氷に閉ざされ、氷の中に何萬と云ふボラが凍死した事があるのでそれ以來ボラ仲間に東港は危險區域とされるに至つたのではないかと云ふ事である。

◎併し夏から秋へかけて、現今でも棧橋の上から滿潮時をねらひ投網で五六寸から七八寸のいな(ボラの子)をビク一杯とる位は何でもない、尤もそれは網の領分だから釣の方に戻るが、上げ潮の早朝を第一として、總じて未明から旭日のなほ低い間、稀にボラの大群に出會はすと、一尺四五寸位のを四五十釣つて、無論ビクには入らず、荒繩で口を通してかついで歸るやうな事がある、筆者は只一度斯樣な實例を見た事がある。

◎秋のチヌ釣りにも曇つた日によくある、勿論細い糸で揚げるのは困難だが、上手にたまを使へば逃さずに濟む、凡そ釣りにたまの用意を怠る事は、みすく大物を逸する不覺を忍ばねばならぬ事である

日滿陸路貿易 通關事務改善

【安東】安東に於ける日滿陸路貿易上の通關事務は頗る重要なる役目を爲してゐるが從來輸送上の見解と通關上の見解に就いては往々意見の相違を來たす事あり其の原因は相互事務の連絡上に就て缺くる處あるは謂ふ迄もなく斯ては日に不況に喘ぎつゝある日滿貿易上甚だ遺憾とされ、これが打開に就いては種々講究されつゝあつたが要は稅關、鐵道兩事務の連絡を密にするにありとの見地から今回新義州稅關安東派出所長佐々木三雄氏を鐵道局書記として兼務せしめる事となつた、これに依つて將來稅關鐵道兩者の連絡も極めて密接となり通關事務上に就ても一新機軸を出すものと期待されてゐる

水稻の大豐作 撫順縣下作況

【撫順】撫順縣下水稻の大豐作―最近の調査に依る本年縣下水稻作付反別は實に二千町步例年は旱魃に禍され水喧嘩枯死水田龜裂等の悲劇を隨所に惹起してゐたが本年は降雨量極めて多く現在の狀態では三割方增收の見込早きは開花し他も悉く穗孕九月半には早くも新米が市場に出る見込で農夫連は日鮮支國境を超越何れも惠比須顏である

支那記者視察

【長春】上海の申時電訊社主催東北視察團一行、上海時事新報記者何西亞上海英文大陸報記者鄭鍈、上海申時電訊社記者黃天鵬三名中何西亞鄭鍈兩記者は二十日十三時着列車で奉天より來長、城內大東報記者に迎へられ城內四馬路長春旅館(支那宿)に入つたが右兩人は長春支那官邊各方面を訪問萬寶山事件を調査し奉天に病氣のため遲れてゐる鄭鍈を待合せ吉林、哈爾濱に赴き對日情況を調査する筈だと

北部庭球大會 出場選手決定

【金州】來る三十日普蘭店に於て行はれる本社三支局主催の州內北部庭球大會に出場する金州軍のメムバーは左の通り決定したが、必勝の意氣物凄く連日內外組コートに於て猛練習を續けてゐる尙左の順位に依り七組だけ出場の筈

二(高見)(中原)二(川人)(補美)三(長田)(竹氏)(鹽田)四(笠原)五(鶴見)(中村)(太田)(石)岩切六(藤井)七(福田)八(勁)九(畔柳)(阪成)一〇(森田)(秋山)一二(花戶上)

豚コレラ發生

【鐵嶺】數日前新臺子附屬地に於て豚コレラ發生し二頭を撲殺三十餘頭を隔離し應急豫防策を講じたが更に別の農家飼育豚がコレラに罹り二頭撲殺し三十餘頭を隔離大消毒を行ひたるが蔓延の兆あり目下感染系統は不明である

三地水上競技

【鐵嶺】豫て協議中であつた鐵開四公鐵撫水泳大會は公主嶺がプールの設備なき爲め參加不能らしきも鐵開四平街とは略協定が成立したので來る二十三日當地プールに於て鐵開四の對抗競泳會を開催すると

中村大尉追悼會

【鐵嶺】北滿旅行中支那兵の手に虐殺された中村大尉と井杉延太郎氏の爲めに追悼會を營まんと在鄕軍人有志の中に計畫が進められて居る

公主嶺 野球リーグ戰

公主嶺體育協會野球部のリーグ戰は連日ファンを熱狂させつゝある各チーム奮鬪の成績は左の如くである

十七日　地方部九―四對軍隊
十八日　實業一四―三對鐵道
十九日　地方部四―〇對殖產

見聞一束

△長春に於ける野菜行商人の不賣に對し公主嶺農業實習所は一千二百貫の各種野菜を急送した
△滿蒙の雲行は逐日險惡となり匪賊の慘害支那兵暴行事件等頻發の昨今當地に些に事故なきは日支官憲の努力により安全地帶の稱を高めた
△地委改選の運動期に近づいたが嵐の前の靜けさと一般頗る冷靜選擧人名簿を見に行つたものもないと
△市街の西北端ロシヤ墓の北方僅かに數丁の高粱畑に約七十名よりなる馬賊の一團が移動してゐるとの流言に附近の農民は極度の恐怖に囚はれ容易に外出出來ぬと

四平街 五月信子一行

ヴァンプ女優として夙に名聲ある五月信子、高橋義信の率ゐる近代座一行六十餘名は全滿巡演すべく大連上陸以來大連、奉天、長春において異常な好成績を收めて居るが尙四平街にも愈々二十四日來四當日一日限り午後六時より劇場に於て滿鐵勞務課、四洮新聞社後援の許に公演することは決定した當地にての公演は此度が初めにて稀に見る熱と座員の充實したる大一座とて市井の前人氣は極度に煽つて居るが開演當日は定めし大入滿員を呈するものと見られて居る
當夜の演出は先づプロローグとして音羽六藏氏作スポーツナンセンス「野球狂時代」中幕には得意の毒婦劇土師清二氏作「藏前お瀧」を上演して大切に今回の呼物たる現代悲劇連鎖劇「女給」を演じ觀客をして心憎き迄に魅了せずには置かないであらう
尙入場料は階下二圓、階上一圓五十錢、軍人學生八十錢、小人四十錢なるも滿鐵側は後拂入場券市中側は四洮新聞愛讀者に限り刷込割引券を利用されれば特に階下一圓五十錢階上一圓に割引すると

△四平街に開催の州外相撲大會に當地のチームに書入れの兵士の出場が出來ぬのでファンの失望主催者側も重點を軍隊に置いたのでこれまた失望とある
△十二日より開始した野球のリーグ戰は開戰前よりグラウンドに詰掛け金切聲の應援は遠慮してゐるが大和の〇子は某君の男性美にポーツとなり公園の稻荷に日參油揚を供へ連勝を祈つてゐると鄕雀の發見

鐵嶺

地方事務所

鐵嶺地方事務所では既報の如く工事係の新編入で事務室の配置を變更し階下は地方係、會計係、工事係とし階上は所長室、庶務係とし電話も左記の如く變更した
所長室公衆三九七番、庶務係公衆四六六番、社內五八番、階下公衆三〇七番、社內六番、三九番、二七番

鐵嶺雜聞

◇鐵嶺少年團は前團長藻寄準次郎氏近く離嶺されるにつき二十日午後一時より小學校講堂に於て可愛い送別茶話會を開き前團長の盡力を謝した
◇前地方事務所長藻寄準次郎氏は近く大連に引揚げの由につき親しき者達相寄り二十二日午後六時半から松花ホテルで別宴を酌むにつき贊成者は出席されたいと
◇來る二十三日滿鐵グラウンドに

安東 市民運動會

滿鐵關係及び市民合同の大運動會は一昨年六道溝トラックに於て盛大に開催されたが昨年は經費其他の關係で滿鐵側のみにて舉行したが新任多田地方事務所長着任するや本年は是非沈滯せる市民の士氣を鼓舞すべく滿鐵、市民合同の運動會を擧行すべく寄々協議を進めて居たが二十日午後一時から安東俱樂部に於て地方委員、區長、土建關係者、滿鐵箇所長等一同集合し秋季大運動會開催の件につき協議をなした期日は來る九月二十日の日曜日の豫定にて經費は一昨年同樣一千五百圓見當とし六百圓は安東運動協會より支出す三百圓は安東運動協會より支出す究滿鐵及び市民側が負擔し殘餘の外某方面よりの補助あるとの事となつてゐる模樣である此なる大運動會が開催されるものと觀られてゐる

於て舉行する鐵嶺日支對抗陸上競技兩軍メムバーは二十日交換したるが鐵嶺軍は奉中對抗戰の陣容と同樣で支那側は奉天から學生連が大分參加するやうであると

三氏の歡迎會

新任多田地方事務所長、千葉安東驛長、藏重安東守備隊長三氏の歡迎會は十八日午後六時半から安東公會堂ホールに於て開催された、一同着席するや大津地委議長の發起者を代表せる歡迎の辭あり之に對し多田新所長、千葉、藏重二氏を代表して謝辭を述べ宴に移つたが遊南兩地の美妓酒間を斡旋非常な盛會裡に午後七時四十分頃撤宴した

遼陽 活動寫眞會

滿鐵庭球部は經費難で腕は鳴つても充分の活躍が出來ぬので社會係が主催となり廿一日夜テニスコートで活動寫眞會を催した

白塔だより

振興期成會が振興策を募集して居るが、文章等飾るに及ばず理想に走らぬ實行性のある提議を希望すと▲振興策は種々あるが需要供給の調節が急務中の急だとの意見もあるがそれ然らば何戶が何戶、職業が何戶過多に依つて去つて下さいとは云ひ得ぬ譯やはり何とか方法を講ぜればとの尤もな話▲自主同盟、國粹會支部設置もよろし誰か一番奮發して異れる有志はないものか▲遼陽が他地に立後れするのも一つはあつても近所近邊に遠慮氣兼れするから遠慮は退嬰を意味すると云つてる人もある

境職した內科醫長石川精一氏歡迎の八畝田總吉氏の四氏のため廿二日午後五時より三階廣間において一大送別宴を開催すると

無苦苦茶な男

二十日午前二時過ぎ旅順市鮫島町迎橋派出所へ四五號人力車夫がワアノ＼泣き乍ら一人の邦人泥醉客を乘せ保護を願出たので詰合の長谷部巡査が取調べると車上の男は飛び下りるや否や長谷部巡査の右胸部を突きあらゆる暴言を吐き侮蔑を與へたので尙も說論中車夫を毆打するやら手に餘る處へ山口巡査も來合せた處今度は山口巡査に喰つてかゝり罵詈暴言亂暴を働くので遂に檢束されたがこの勇敢な男は山口縣人にて現住所大連美濃町七一時計賞金屬商村田明人(三一)で翌朝瀨戶口保安係から目の玉の飛び出る程叱責された

熊岳城 選擧人名簿

當地方區に於ける地方委員及び豫備委員の改選期日もいよいよ來る十月三日に決定したので其の選擧人名簿の縱覽を二十日より同二十四日まで五日間午前十時より午後四時までの間に行ふ事となつた、地方區長も若手に交代し大いに其の能率を增進しつゝある時代傾向に際し今將に地方委員及其の豫備委員の改選に當り新進有爲の委員選出を希望する向き多く既に下馬評に上つて居る人々もあるらしく新舊顏の奮戰も豫想せられてゐる

鞍山 御寶物奉安祭

鞍山神社では伊勢神宮撤下御寶物の奉安祭を廿三日午前十時より執行すべく準備中であるが寶物は汽船の都合で一日遲れとなり二十一日急行にて梶野神職三宅氏子總代奉戴して歸鞍した

二警官を表彰

鞍山警察署北六番町警官派出所詰鳥越巡查及び薛巡捕は去る十七日鐵西市場附近に於て匪賊と交戰一名を射殺一名に重傷、負はせ被害を防止し治安保持の職責を全うしたので松木署長から金一封を贈り表彰したが中谷警務局長は左の感狀に金一封を添へて贈つた
鳥越巡查等の勇敢機敏なる行動に依り管內に潛入せる賊一名を射殺し續いて一名を逮捕し被害を防止し治安保持の職責を盡したることを喜ぶ、薛巡查の負傷は同情に堪へず厚き手當を乞ふ

豆ゴルフ競技

鞍山みどり會では二十六日午後四時より赤城町ベビーゴルフ場に於て競技會を開催すると會員出場希望者は會費五十錢當日持參參加されたしと當日は賞品一等より八等まで授與し權威賞三等までとする

實青役員會

鞍山實業靑年團では十九日午後七時より實業會堂に於て役員會を開き左記の件を協議した
一、市民射擊會開催の件
一、御神寶奉迎の件
一、鞍山神社秋季大祭神輿かつぎの件

四氏の送別會

鞍山滿鐵醫院では今回四平街滿鐵醫院庶務長に榮轉する岩切懿吉氏及び撫順滿鐵醫院皮膚科醫長に榮轉する岩永滯氏は家事の都合によ

黃金臺

◇戰跡見學者供給馬車賃金に關し市役所では二十一日午後一時から各關係者の參集を求め協議會を開催する
◇少年團奮市街隊ヤキンムプ生活は愈々二十二日より三日間苗圃に於て行ふ事と決定した
◇朝鮮總督府警察講習所本科生四十九名は教官引率の下に二十六日午前九時十分着列車で來旅戰跡其他を視察の上午後八時二十分大連に向ふと
◇旅順ゴルフ俱樂部では二十一日より三日間に亘り本年度優勝盃爭奪競技會を開催二十一、二兩日は午後三時より二十三日は午前九時より開始豫選を行ひ四日午後三時より決勝戰を行ふ筈で本年は竹內、高田、臼井の三氏が優勝候補者と目されてゐる

古新聞應用講習

各家庭でも持合せのある古新聞紙で盆景ショーウインドの裝飾、床飾又は花生等にも顏る妙である古新聞應用の盆景講習會が生れた講師は民政署の富山華畝詣伯で氏獨特の考案になる面白いもので來る三十日午前八時から正午まで驛前の日濟寺で行はれるが會費は二圓で廿七日が申込期日の締切り朝日町一ノ三〇富山氏に申込むとよろしい因に習得は最も簡單で應用次第によつてはなかなか趣味のあるものである

旅順 時局演說大會

最近日支間の紛擾觀々として起り我が邦人に對する侮辱的行爲益々甚しからんとしてゐるので青年聯盟旅順支部幹事は十九日午後七時から八木町庶民金組に集合協議の結果市民有志も之れに合流し來る二十七日午後七時から昭和園に於て中村大尉慘殺事件、靑島不祥事件、鮮人襲擊問題其他を始め爾官吏加俸減額問題に對し批判大演說會を開催する事に決定した

劍道稽古開始

當地劍道部にては十八日より時節柄大いに士氣を鼓吹すべく劍道稽古を開始したが每火、木、土の三日宛クラブ道場に於て猛練習を開始し九月九日の當地神社祭禮には劍道の奉納をなす由、因に同練習期間に於て多數出席を希望し一般の參觀應援を望んでゐる

昭和園問題

旅順市役所では曩に昭和園貸下料金低減の件に就き內田増雄氏より陳情する處があつたので市理事者に於ても各關係當局と協議の結果好意を以て慎重研究且考慮を回す事となつてゐた處別派たる藏永新七澤野藝太郎、清任孫一、有地武夫の諸氏連名にて廿日正式に從來の通の條件にて貸下方出願に及んだ爲め臨山助役は同日午後一時內田

法院便り

旅順高等法院覆一部では十九日▲醫師法取締違犯高橋朝克に對し結審の上齋藤辯護人から無罪の辯論あり二十四日判決言渡しと宣し▲貨幣僞造松岡良太郎に對しては證人として齋藤吉、朴炳章、持田忠雄、野村秀次の四名に就き訊問を行ひ▲詐欺橫領鹽路男治に對しては事實の審理を行ひ午後二時過ぎ閉廷した

市中の噂

夏の市民享樂地は何んと云つても黃金臺だ身分の上下もなくホントの赤裸々で老若男女の浴衣一重の無遠慮振り▲まして學校の先生か親父位しか恐い者のない小河童達の無邪氣な動作には喧嘩にもならない面白味がある▲或日三浦內務局長は波打際でポチヤノ＼と否大に昔の鐵腕を揮つてゐたが少々勞れたので筏に取り付いた▲さうすると忽ち小河童連面白かつて筏をひつくり返す事數度、三浦さん遂に悲鳴?を揚て「モー止めてお異れよ――」「なんだい――おぢさん弱虫だなア――……」▲河童連內務局長だか三浦さんかそんな事は一向御存じないので遂に三浦局長逃げ出しの一幕、侍て作の如し

掴め
縋れ
服め！
慢性胃腸病には
このアイフの
効能は實に覿面!!
眞に分岐点なり
貴下を悩す胃腸病の治療には断じてこの
アイフの一鑵こそ健弱の分岐点なり
慢性胃腸病は實に治り難い病氣で人目には左程大病らしく見江ぬが、何しろ腸胃の機能がすつかり損じて其内壁には恐ろしき疵や爛れを生ぜるため
●食慾進まず胸先痞へ嘔つきゲップ出で
●いつも下痢や軟便にて便には粘液膿汁を混じ
●腹膨りゴロゴロブツ〳〵鳴り放屁多く下腹痛み
●滋養物を食するも身に付かず身體衰弱し
●元氣衰へ顔色悪く神經過敏にて短氣となり
●肺尖肋膜に故障生じ熱出で夜眠られず
●少しの飲酒や不消化物を食するも覿面下痢し痛み
●大便に血液膿汁を混じ胃癌胃潰瘍腸結核等の疑ある重症には断乎としてアイフを服用し其の病根を除去せられよ。
アイフは胃腸病に對し實に適切なる良薬にして内服と同時に其主薬は腸胃内壁の潰瘍面又は糜爛面に附着し炎症を鎭め、粘膜を強壯にし、粘液の分泌を減じ、腸の蠕動亢進を制し、下痢を止め、痛みを鎭靜す。故に的確に急性慢性の胃腸病を快癒せしめ、更に胃腸の機能を旺盛にし、食慾を進め榮養の吸收を佳良にし、血色を良くし、體重を増し元氣と健康とを著しく増進せしむ。
重ねて奨む貴下の慢性胃腸病には断乎としてこのアイフを服用せられよ
商標
登録
THE AIFU
アイフ
MADE IN JAPAN
適應症
◆急性胃加答兒 ◆慢性胃加答兒 ◆胃酸過多症 ◆胃液缺乏症
◆胃アトニー症 ◆胃擴張 ◆慢性胃弱 ◆急性腸加答兒
◆慢性腸加答兒 ◆大腸加答兒 ◆結核性下痢 ◆神經性下痢
◆腸潰瘍 ◆下痢性盲腸炎腹膜炎 ◆初期胃癌胃潰瘍腸結核
定價 三服入 二十錢・四日分 七十五錢・八日分 一円五十錢〜 重症用 十一日分 五円
十七日分 三円・四十五日分 七円〜特製 廿三日分 十円
發賣本舗 大阪市東區清水谷西之町 順和公司
振替貯金口座大阪三四五番 電話(東)五〇〇〇・五〇〇二・五〇〇三
全國到る所の有名なる薬店に販賣す

12A—3

實業、猛打を浴せ臺北軍に大捷す

きのふの第一回戰

臺北交通對大連實業團第一回戰は二十一日午後四時半より實業球場で山口（球審）小池、和田（壘審）三氏審判臺北先攻で開始、實業軍打撃大いに揮ひ、結局十二A—三で大捷す、八時に閉戰同六時三十分

回數	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
臺北	0	0	0	1	0	0	0	0	2	3
實業	3	0	1	3	4	1	0	0	A	12

▲第一回　臺北オ木三振、三山三振、黒田三振△實業中川二飛、安藤四球津田の三振野手一寸フアンブルしたゝめ津田を生かし安藤二進高橋期待に背かず1—1後のストレートを右中間に三壘打して安藤、津田生還　宮武初球のスクイズバント惜くもフアウルとなつたが渡邊宮武への1—2後の投球を暴投して高橋も生還　實業先づ三點を占めて優勢、宮武左飛、山田三振

▲第二回　田中左飛、渡邊輕く右中間に二壘打し中村の遊飛に三進したが淺尾捕前ゴロ△實業中島右飛、岩瀬左飛、武井遊飛

△第三回　臺北本多一壘強襲内山一二壘間をゴロで抜き才木も投手足下を直球で抜いて内山二進三山中飛後内山才木の重盗成つて二死走者三、二壘を占めたが黒田右飛△實業中川三振安藤二壘右をゴロで抜いて直ちに二盗、津田の二飛を野手フアンブルして更にこれを一壘に暴投したゝめ安藤一擧生還津田二進、高橋遊直して津田と併殺

▲第四回　臺北田中左中間に二壘打し渡邊の遊飛に三進PH石川（中村に代る）中堅にフライして田中生還し臺北一點を返す淺尾三振△實業（臺北中村退き石川二壘に入る）宮武遊撃右に單打渡邊一壘に牽制誤投して宮武一擧三進山田一飛後

中島の三飛を野手一壘に低投して宮武生還中島二進岩瀬初球を右翼右に三壘打して中島も生還武井遊飛で二死中川四球、安藤初球のスクイズバントを失し、岩瀬三本間に挾まれたが

▲第五回　臺北本多遊飛、内山二飛、才木左中間二壘打したが三山中飛△實業（臺北黒田投手渡邊一壘に交代）津田左飛、高橋三側にセーフチイバントして生き宮武の三壘左の單打に高橋一擧三進しこの間宮武二盗、山田左翼線に二壘打して高橋、宮武生還中島もまた左中間二壘

打し山田生還（臺北黒田田中退き木村投手小橋捕手となる）中島三盗、岩瀬の中飛で中島還り武井三飛

△第六回　臺北小橋三振、木村投飛、渡邊中越の大きな二壘打したが石川二飛△中川遊越單打して二盗安藤一飛津田二飛後高橋左前テキサスで中川三本間に挾まれたが中襴の投手失で中川生還宮武二飛

▲第七回　臺北（實業岩瀬退き因藤投手となる）淺尾遊飛本多遊飛内山三振才木中飛△實業山田四球中島二盗したが因藤三振武井の遊直を野手ヂヤンプして片手に好捕し更に中島を併殺

△第八回（實業高橋退き木下右翼に入る）臺北三山二飛小橋捕前ゴロ木村遊飛▼實業中川、安藤津田三者共に左飛

△第九回　臺北渡邊二飛石川四球で二盗淺尾も四球に續き本多三振後内山高いボールを打つて一壘二壘打し石川生還才木の遊飛

戰評

▲岩瀬、渡邊は共に…されたが、渡邊、劈頭より…り思はしくなく加ふるに内野…に四回までにすでに七點も許…回黒田と更代した、然し足…た黒田もまた調子思はしから…七點をリードして氣を好くし…實業軍に完全にノックアウトさ…更に木村にプレートを譲り、…も既に勝敗は決したとは言へ…もまた不安な投球をつゞけて…つた▲これに反し實業岩瀬は…トコーナーを鋭く突く作戰見…功を奏し都市對抗戰において…チームと稱された臺北の各打…しく安打を發したのみ、…て實業は勝利を確實にして七…瀬を因藤に更代せしめた▲か…て行くさき結局臺北軍は力さ…主戰投手渡邊が打たれたゝめ…外野手共に全く萎縮したために…各回に起つて大敗したものさ…得やう▲が然したさひ大敗し…はいへ臺北各打者の火の出る…

リンデイ機

武魯頓灣に曳航

【落石廿一日發】新知丸はリンデイ機を曳航ムロトン灣着、灣内は靜穩青空高し、飛行機は特に引上げる見込みにて機は安全に曳航し異狀なし

西川技師と職工急派

昨夜東京發

【東京二十一日發】遞信省航空局はリンドバーク機に對する處置につき二十一日午前十一時戸川航空局長、伊勢谷、兒玉兩課長、陸軍省より軍務局から須田中佐、海軍々務局第二課長原大佐等參加して協議した結果、技師西川航空官（機體及び機關の專門家）を急派することに決し同技師中島飛行機製作所の職工二名を伴ひ二十一日夜十時青森行列車で根室に急行する事となつた

田代領事に陳情書

紛糾の長春鮮人民會

長春鮮人民會の紛糾に就ては既報の如くであるが民會現幹部反對派に結束して二十日田代領事あて陳情書を提出した、右陳情書は現會長金東曉氏の詐欺横領、文書僞造行使背任等その罪狀を三項に明記し更に目下領事館に拘禁中である蔡淳を釋放することゝ、現民會幹部を總辭職せしむることを決議よつて提出したが、金東曉は目下既に辭表を出したと傳へられゐる、總辭職後の民會役員については目下領事館に於ても研究ものゝ如くであるが從來の紛糾からして相當干渉の態度に出るだらうと豫想されてゐる【長春】

偽モヒ強奪の偽刑事判る

連日の峻烈なる取調べに首魁と相棒が自白

秋競馬

けふから始る

大連競馬倶樂部の秋競馬はいよ本二十二日午前十時から星ヶ浦競馬場に於て開催されるが、競馬には支那新馬七十餘頭が加はる上、單勝式、複勝式勝馬投票も發賣する事とて一段の興味を相當賑はふ事であらう

4A—0

中京商業優勝す

遠來の嘉義農林、力戰遂に空し

中等學校野球戰閉幕

【大阪特電廿一日發】全國ファンの人氣を集めて二十一日午後二時二分から甲子園球場にて擧行された嘉義農林對中京商業の全國中等學校野球決勝戰は昨夕刊既報の如く中京軍斷然嘉義軍を壓迫し遂に四A—○で快勝、覇權を獲得した試合終了後滿場ファンの萬雷の如き拍手裡に大優勝旗は荒木委員長より中京の大鹿主將に授けられ若き球兒憧れの大會も無事終つた、因に第六回目からの經過左の如し

▲第六回　嘉義蘇の遊匍は内野單打となり上松の三匍に二進、吳の二匍に蘇三進したが東三振に凡退△中京大鹿ストレートの四球に浴し二盗なり恒川中飛の後櫻井富りこれの一壘線上の單打に大鹿三進し櫻井も二盗したが鈴木右飛、村上遊匍に退く

▲第七回　嘉義眞山一飛、小里右飛、川原四球に出たが福島二匍中京の守り益々固し△中京後藤三遊間單打、杉浦右飛の後吉田の三匍に後藤二壘に封殺され吉岡二壘上の内野單打に中京二死後好機を迎へたが大鹿左飛

▲第八回　嘉義平野三遊間を抜く單打に出で、蘇の二越飛球を二壘手よく背走して捕り上松の一邪飛を一壘手横に倒れつゝ摑む美技に退けられ、吳の三匍は内野單打となり平野一擧三進本壘を窺つたが東の遊飛に惜くも好機を逸す△中京恒川投飛、櫻井二飛、鈴木三遊間單打を放ち投手暴投に二進したが村上遊飛に終る

▲第九回　嘉義最後の攻撃も中京の鐵壁堅く眞山三振、小里遊匍内野單打となつたが川原三振、福島また三振に萬事休す時に閉戰四時十分

嘉義	打數	得點	安打	犠打	盗壘	三振	四死	刺殺	捕殺	過失
7 平野	4	0	1	0	0	0	0	1	0	0
8 蘇	4	0	1	0	0	1	0	1	0	0
6 上松	4	0	1	0	0	1	0	5	2	1
1 吳	4	0	1	0	0	0	0	2	3	0
2 東	4	0	0	0	0	1	0	2	0	1
5 眞山	4	0	0	0	0	2	0	0	3	0
3 小里	4	0	1	0	0	1	0	5	1	0
4 川原	3	0	1	0	0	2	1	6	2	0
9 福島	4	0	0	0	0	1	0	2	0	0
計	35	0	9	0	0	6	1	24	11	2

中京	打數	得點	安打	犠打	盗壘	三振	四死	刺殺	捕殺	過失
7 大鹿	2	0	0	0	1	0	3	0	0	0
4 恒川	5	1	2	0	0	0	0	2	4	1
2 櫻井	4	1	2	0	1	0	1	9	2	0
9 鈴木	5	0	2	0	0	0	0	1	0	0
8 村上	4	0	1	0	0	0	1	1	0	1
3 後藤	3	1	2	0	0	0	1	12	0	0
6 杉浦	3	1	1	0	1	0	1	1	3	0
1 吉田	4	0	0	0	0	0	0	1	0	0
5 吉岡	3	0	1	0	0	0	1	0	2	1
計	33	4	11	0	3	0	8	27	11	3

暴投—吳2　捕逸—東1

大鹿主將語る

始めて甲子園に來て優勝する事が出來たのでまるで夢のやうです、嘉義軍の吳投手も仲々立派なものですが待球主義に出た作戰が功を奏したのと全員よく緊張して守つて與れましたので何うやら勝つことが出來たわけでせう

飛田穗洲氏評

攻守共に中京は嘉義に對して一日の長があつた、この試合の結果は寧ろ順當といふの他はない、…

二壘を盗む

大連軟式野球

准々決勝戰績

本社後援大連軟式野球大會十一日目（二十一日）准々決勝戰の戰績左の如し

▲消費組合七A—一理學試驗所
▲電友クラブ十二A—一常盤青訓
▲SMUクラブ一—〇COクラブ
▲霞クラブ四—三海務局

尚准決勝戰（二十三日）の組合せ左の如し

▲電友クラブ—SMUクラブ（伏見臺小學校球場）
▲霞クラブ—消費組合A組（大連商業球場）

一味の…

大芝居

金州の苹果デー

一、期日　八月二十三日（日曜日）

主催　滿洲日報社

天候恢復すれば最初の潜航探檢

終日氷塊と闘ひつゝ北へ北へ

難航のノーチラス號

臺北對滿倶第一回戰

けふ午後四時十分滿倶球場にて

中村大尉の弔靈法要

今夜執行する

中村震太郎大尉一行の弔靈法要は二十二日夜七時から大連幼稚園で執行されるが、當夜關東軍司令部付參謀片倉陸軍大尉は特に同大尉生前の寫眞を持參、軍部代表として參拜し、中村大尉につき一場の講話をなすと

共產鮮人首魁捕はる

【ハルビン特電廿一日發】一昨年吉林縣下西香河子にて邦人榊原某他六名の鮮人を絞殺した當時の北滿鮮人共產黨系の首魁朴春波（三〇）は數日前ハルビン傅家甸に潜伏中を日本警察署の手で逮捕、長春に護送された

廢業願を認めて開業の分を保留

新菊水と警察の方針

待合新菊水の財產爭ひは娘の野木一子さんが養父の田中力吉氏に五千圓で財產、營業權利一切を含めて賣却することゝなり一段落を告げ一子さんは二十日新菊水の營業…

改革

を行はんとしてゐる矢先とて八千久席の廢業はこの際當局の方針と異り、殊に三業組合でも廢業の弊害を認めて反對的意向を持つてゐるのでその許可は至難であると見られてゐる

はるびん丸

二十二日正午大連港外着の豫定である

醬油の共同釀造

兵庫縣下東條村農會では時節柄農家の自給自足經濟主義の第一歩として村内一ケ年間の醬油所要高約百石を共同釀造する事として昨今仕込中である。

鱶に食はれた學生

愛知縣寶飯郡西浦村海水浴場で十四日午後七時頃ボートを漕ぎ出した名古屋醫大三年生藤本祐次郎（二三）が行方不明になつた、青年團が搜査したが十五日になつて海岸に片足だけ漂着し、夕刻になつて鱶に食ひあらされた死體が發見された。

神仙救國の小英雄

スポーツ藝妓

支那側の論文

吳佩孚出て來るか

八月廿二日午後七時より
播磨町大連幼稚園講堂に於て

一、中村陸軍大尉弔靈講演會

主催　大連佛教各宗聯合團　大連神道各教聯合團
後援　大連滿洲日報社

曙の鐘 (25)

倉田潮

淺枝次朗畫

淺草のサンタ・マリア （六）

春木は何處に行つても冷たく追ひしりぞけられた。凡ての人に見はなされて、何處にも取りつくしまがないやうな氣がした。

だが、何うして世の中と云ふものはかうまで冷たいのか。何うしてかうまで虐げられる人と暴逆を加へる人の不平等があるのだらう。しかも、訴へようとしても訴へをきいてくれるところは全くない。法律はないのか、道德はないのか神は……あつたらなぜ暴逆をいましめないのか、虐げられたものを助けないのか。

春木は一人眠れない夜の机によつて、青ざめた顏を双の腕に埋めてゐた。が、或る日彼はふと一人殘された女の友達のことを思ひついた。——京極よもぎ、百合子のことだつた。

夜になるのを待ちかれて、彼は淺草行きの電車に乗つた。晝の中はまだ暑いのに、夜になると秋の忍び足に近づいてゐることが、澄み渡つたコバルトの空に知られた。片われ月が利鎌のやうに深い海に似た空に浮んでゐる。車窓からジッと其の樣を見てゐると、こんな美しい空の下に虐げられた人間がゐるといふことが不思議な、あり得ないことに思はれて來た。

淺草は例の通りの人出だつた。彼は疲れた身體を引きづるやうにして、OKチャリネの裏口を這入つた。小舍番の老人が二階の樂屋へ上つて行つたと思ふと、入れ違ひに慌だしい足音が梯子段をおりて來た。京極よもぎ——昔の水野百合子だつた。

「まあ、正雄さん、よくこそ……さ、きたないとこだけど」と彼女は春木の手をとつて引つぱりあげた。「院のまゝでいゝのよ。おぢいさん、特急で客辨だわ。それからお酒。さ、正雄さん、お上んなさい」

表の舞臺からは口上が終つたらしく、チャリネ特有なかけ聲につれて、樂隊が「なげきの王女」をうたひ出した。ほこりにまみれた陰慘を春木は溫い友情を感謝しながらあがつて行つた。たえ子に別れてから初めて彼は人の心の溫さに接したのだつた。

二階は幾室にも小さく區ぎつてあつて、何の部屋にも一座の人が二、三人づゝゐるやうだつた。女はたいてい鏡に向つて化粧くづれをなほしてゐた。男ははだぬきで氷を食べたり、將棋をさしたりしてゐる。京極よもぎは、その小部屋の前を通つて暗く穢いしたく部屋をすぎて突きあたりのドアをあけ、可成り廣い、とは云へ同じやうにほこりによごれた六疊に彼を案内した。

「正雄さん、さ、何卒、座つて下さい。この部屋れ、私の新ハスの騎太郎てかんぢん元の部屋なのよ」と彼女は非常にはしやいでゐた。「もうあなたのこと、彼氏に話してあるのよ」

「結婚したんですか」と春木も强いて笑ひながら「御目出たう」

「私、とつてもすごい腕でせう。かんぢん元をおさしいれるなんて、確に傾國の美もあつた譯だわれ」

そこへおぢさんが辨當や酒を持つて來た。春木は京極よもぎが氣輕に戀を打ちあけたのに力を得て、たえ子のことを詳しく話し出した。

「そりあ、ひどいわれ」と聞き終ると彼女は唇をかんだ。「でも、また警察へ訴へる譯にも行かないし、困つたわれ。それにあなたは逢はうとしても逢はせないんぢやさぞ辛いでせうれ。私苦勞をしてゐるから、その氣持がよく解るわよ。ほんとに何とかして、連れ出してあげたいわれ」

暫く話してゐる中に先程のおぢいさんが、また部屋へやつて來て「カジノ、ドロリゲ」から電話がかゝつて來てゐると告げた。

「フン、あの、先程騎太郎の方へかけて來た家でせう」

さ、よもぎはさう云つて出て行つた。春木はもう歸らうと思つて電話口に行つて見ると、よもぎがそこにゐたので

「よもぎさん、僕、もう歸る」

と、側に行つて聲をかけた。とたんによもぎが電話を切つて飛び出して來て

「正雄さん、とつてもうまいことがあるわ、あなたにたえ子さんを逢はしてあげることが出來るかしれないわよ」

と、喜びを滿面にかゞやかして春木の手をグン〳〵引つぱりながら元の部屋へ連れ戻して行つた。

けふの放送

大連 JQAK 八月二十二日

▲自二十二日午後四時野球連絡放送（滿倶對臺北第一回戰）▲自午後七時三十分ニュース ▲獨逸語講座「テキスト」第十七課 大連語學校講師 荻榮 ▲混聲四部合唱（イ）めでたき御身 モザート作、（ロ）輝く朝、山田耕作作曲、（ハ）里祭、同、同聲會大連支部本科會有志 ▲映畫物語（元祿十三年）常盤座 瀨愛光 ▲浪花節（建久美談頼朝公酒宴の場）吉川晴雲 ▲ラヂオ體操 ▲職業紹介事項 ▲料理獻立 ▲天氣豫報

東京 JOAK 自廿二日午後六時卅分

▲講演（日本の景色と文化）安部能成 ▲俚謠（安來節）松江お糸、森山淺乃、松江花香、三味線山本太市 ▲常磐津、新荷雪間鳴物吉川玉子 ▲市川（新山姥）淨瑠璃常磐津文字太夫、同咲太夫、同春治太夫、三味線同文左衛門、上調子同文之助 ▲連續講談（大島屋政談）第四席 西尾麟慶

講談社原稿大募集

大日本雄辯會講談社では今回逸品雄篇を懸賞募集すると、卽ち一般大人向き原稿、子供向き原稿共に ▲讀物（小說、講談その他四百字原稿紙三十枚以內、子供向きは同二十枚以內）優秀篇一篇に付き賞金五十圓以上二百圓迄、▲記事（美談、苦心物語、その他原稿紙十枚以內）優秀篇一篇に付き賞金十圓以上百圓迄 ▲小物（小話、考へ物、その他、用紙ハガキ）一篇に付き優秀賞金三圓以上十圓迄 外に佳作賞の規定もある、又家庭向き特別原稿として ▲實話（原稿紙五枚乃至十枚）優秀篇一篇につき賞金五圓以上五十圓迄 ▲經驗談（原稿紙五枚內外）優秀篇一篇につき三圓以上三十圓迄 是等の優秀篇佳作は夫々の向きによりキング、富士、講談倶樂部、婦人倶樂部、雄辯、現代、及び少年倶樂部、少女倶樂部、幼年倶樂部に掲載すると

(明治卅八年十月二十五日第三種郵便物認可)
昭和八年八月二十二日　滿洲日報　(土曜日)　第九千九十三號　(一)

滿洲日報

夕刊　八月二十一日

發行兼編輯人 鈴木山 印刷人 本庄太郎 井 治郎
大連市東公園町三十一番地 發行所 株式會社滿洲日報社

けふ南京政府會議で重要對日方針を協議
無謀な强硬論は斥けられるか
蔣氏の態度注目さる

【南京特電二十日發】明日の政府會議には南昌より歸つた蔣介石氏が久し振りで出席今まで方針の確定を見なかつた萬寶山事件其他**重要對日方針に確定的裁斷を下す**筈で朝鮮事件第三回抗議草案も此會議に上程通過の上直に日本側に送達される事にならう、蔣介石氏が對日方針に對し如何なる裁斷を下すかは異常な注目を惹き一般に傳へられるが如く**無謀に近い强硬論は排撃され相當穩和且妥當な方針**の決定を見るものと觀られてゐる、從つて朝鮮事件其他も案外簡單に解決の道を遮るであらうと豫斷する向きが尠くない、目下の排日運動についても相當の考慮が拂はれる模樣で全然禁止しない迄も相當の手心が加へられる模樣である

蔣氏の下野 絶對條件

【廣東二十日發】蔣介石氏が宋慶齡女史を通じ南京、廣東の妥協を畫策してゐるに對し廣東側孫科、古應芬氏等協議の結果蔣介石氏の下野以外の條件では妥協に絶對反對するに決定した

山氏は我事成れりと五臺山の奥に隱遁し又馮玉祥氏も外遊の模樣なきも奉天側は軍事上强制されたものと見てゐる

青島事件の責任を支那は日本に轉嫁
解決の無誠意を暴露

【青島廿日發】青島事件に關する日支協同檢證の結果支那側はその責任を日本側にありと逆襲し來り交涉有利に解決せんとし支那側は早くも解決を圖る誠意なき事を暴露するに至つた

球磨の陸戰隊は當分上陸を禁止
萬一の際は直に出動

【青島特電廿一日發】軍艦球磨は昨日午前九時入港した第二遣外艦隊司令官津田少將も坐乘し居り居留民の保護に關しては遺憾なき手筈が行はれた旨言明したので在留民は安堵した、尙事件直後の際當分は水兵の上陸を禁止し萬一の際は直に出動し得る樣準備してゐる

支那紙逆宣傳

【青島特電廿一日發】青島市黨部機關紙青島民國日報は國粹會は常に武器を弄し大和魂の美名に隱れ支那人を脅迫してゐる、事件の發生原因は　ろ日本側にあり暴力團の存在は社會の安寧を害するを以て日本側に嚴重取締方を要求し損害賠償も要求すべしと宣傳してゐるが、胡青島市長は原因は兎も角斯かる不祥事を惹起した事は兩國親善のため遺憾であるから互讓的

閻、馮兩氏今後の進退

【北平二十日發】太原來電によれば中央から外遊を迫られゐる閻錫山氏は一日も速かに解決したいと語つてゐる

滿洲の現狀を奏上
菱刈大將より

【東京特電二十一日發】菱刈前軍司令官は二十一日朝七時二十分上野發、那須御用邸に伺候し聖上陛下に拜謁し軍部側より見たる滿洲の現狀につき詳細御報告申上ぐる所あり陛下より有難き御言葉を賜り恐懼して退出、同地に一泊の上二十二日歸京の豫定である

天津戒嚴司令部閉鎖

【天津特電廿一日發】天津戒嚴司令部は戰局も一段落を告げたので二十五日限り閉鎖することに決定したが張學銘氏は更に警備司令部に改組すべく目下準備中

奉派、閻氏に外遊希望

【濟南特電廿一日發】赴平中であつた韓復榘氏の代表宋式顏氏は往訪の記者に次の如く語つた
張學良氏と北方の治安について充分の協議を遂げたが氏は韓復榘氏との會見を熱心に希望してゐた、韓氏も石軍の改編を了つてから北平に赴くであらう、學良氏は全快し各方面の代表に連日會見してゐたが、閻錫山氏の歸着には非常に不滿を抱き自發的に外遊することを求めてゐた山西の石軍改容には滿足の意思を表示してゐた

日本人顧問の任用禁止

【南京特電廿一日發】蔣介石氏は北方各將領に向け一切日本人顧問を任用する勿れ、且つ租界地における反蔣派は充分取締るべしと密令した

反日決死隊を組織
日貨の强奪を敢行
我陸戰隊と對抗形勢

【上海二十日發】我陸戰隊の活躍以來排日會檢査隊は怖氣づき强盜的行爲を控へてゐたが反日會の過激分子は今回決死隊を組織し便衣を纏ひ拳銃を携帶し日貨强奪を續行し陸戰隊と對抗するに決した模樣で目下警戒中である

孫科氏等調停し汪精衞氏歸任す
北伐軍總司令に許崇智氏

【廣東特電廿二日發】孫科、唐紹儀氏らの調停で汪精衞氏は廣東に歸つた、許崇智氏は北伐軍總司令に就任した

櫻内、原三相と懇談したが會見後原拓相は語る
實は過日首相から十七日會見したいとの事だつたが延々となつて今日三大臣一緒に會見する事になつたのだが勿論省の廢合に關するもので劈頭首相から準備委員會からは未だ何等正式報告はないが色々新聞もうるさいし又興黨の注文もあるし近く審議會の議題となるから意見を述べろとの事で意見を述べた、自分は植民地統治統一海外發展は今日の不況の深刻化人口過剩から觀て絶對必要と思ふ故に拓務省廢止は反對である、省廢合が直ちに行政整理であるかの如く觀るものもあるが之は間違ひである

山道幹事長進言

【東京二十一日發】省廢合問題につき二十日若槻首相は町田、原、櫻内三閣僚に對し意嚮を聽取したが反對を押し切つて斷行する事は困難なるものと見らるゝに至つた又興黨內で櫻井木、富田、加藤、儀氏等の少數を除いては三省の廢合は賢明でないとし不徹底な反對氣勢有力となつた、よつて山道幹事長は何時までも未解決に放任するの不利なるを若槻首相に進言する模樣である

軍縮準備委員會

【東京二十一日發】第三回軍縮準備協議會は二十日午後一時三十分首相官邸に開催會議に派遣すべき代表の人員及び直接關係なりが九月の聯盟總會で佐藤全權から聲明すべき政府の態度其他につき協議し午後四時三十分散會した

植民地學位令は修正通り可決か
政府、宇垣總督に照會

【東京特電二十一日發】樞府御諮詢中の植民地學位令は審査委員會で修正可決された儘政府は朝鮮總督更迭等あり修正を同意するや否や定まらざるために樞府に對し本會議留保を交涉した儘今日に及んでゐるが最近拓務省より宇垣朝鮮總督に對し右修正の可否意向を問合せ中でこの回答を待ち閣議に諮り態度決定の上樞府に通知する筈であるが朝鮮總督以外の各植民地長官は何れも修正に同意してゐるやうだから結局本會議で委員會の修正通り決定する事とならう

省廢合問題
一般行整と切離して來週閣議で可否決定

【東京廿一日發】閣內の意見は省廢合反對に傾きつゝある狀勢に鑑み若槻首相は川崎翰長を江木鐵相の許に派し意見を聽取する事となつたが之を實行すれば黨內の不統一を暴露し政治的危機を招來する惧れありこれを一般行政整理と切り離して當面の動搖を避ける樣で來週の閣議で若槻首相より諒解を求める事となる模樣である

海外發展上廢止反對
原拓相の意見

一日午前十時若槻首相と會見したが、若槻首相は頑强に大藏省の豫算節減要求に對抗してゐる陸軍の再考を促し軍制改革につきても協議を行つた

陸相首相協議

【東京二十一日發】南陸相は二十一につき廿日閣議後省廢合問題に町田

鐵道交涉

は高紀毅氏の病氣

厄介なオリムピック競技規則書
スタデユームの新設

擴大入場券の前賣と來夏ロサンゼルスで開かれる第十回國際オリムピック競技に主催國米國では莫大な費用を投じて大わらべの準備中だが國際的競技に適はしく規則書もジユリア・シメーヤー嬢の苦心で四ケ國語に飜譯されこの程五萬册ばかりが刷上つて全世界の六十二のオリムピック委員會に發送される事になつた、寫眞は刷上つた苦心の規則書を見るジユリア・シ・メーヤー孃と、技術監督のウイリアム・エッチ・ヘンリー氏

日支の感情を融和し提携して行きたい
奉天事務所の設置も之が目的
內田滿鐵總裁車中談

滿鐵沿線初度視察の途についた內田、江口滿鐵正副總裁は首藤、山西兩理事、杉本、八木兩秘書役等を帶同し二十一日午前八時三十分着列車で來奉、驛には日本側林總領事を始め森島領事小倉地方課長、古川鐵道課長、野迫庶務課長、立川奉天署長、野口居留民會長、藤田會頭、各機關團體代表その他知名士支那側から臧主席代理王鐵壇氏、高紀毅氏代理婁朗陽、鄔恩元兩氏その他約百五十名の多數出迎へあり、驛貴賓室に小憩出迎への知名士と挨拶を交し在奉記者團と會談し直にヤマトホテルに入つたが、內田總裁は途中まで出迎への記者に對し語る

滿鐵沿線には數回來てゐる、然も日露戰爭當時遼陽から奉天まで來た事があるので諸君より精しいわけである、だが總裁としては今回が最初である、職制改正も一段落を告げたので外部の

實地視察 といふわけだ、今回はチチハルまで、滿鐵沿線全部を廻る豫定であつたが來月十日用事があるので一旦歸へり改めて安奉線視察に出る、職制改正も實績をみてからでなければ批評も出來ぬ、結果如何により惡い點は改める、傍系會社は整理よりも退職希望者を解職する位で今これに取りかゝつてゐる昭和製鋼所は最も重大な問題で特に慎重を要する、來年度の事業費豫算大減少については未だ考へてゐない

で捗らぬが全快次第開始するつもりである、その交涉の任も木村理事が當つてゐる從前通りだ奉天事務所の擴張は地理的に亦國際都市として滿洲の中心地であるから奉天に重きを置き日支兩民族の提携を圖り平和な共存共榮が目的で今後成績の如何により擴張するやうにもならう、近頃は日支間で種々

感情を害 してゐるやうであるが滿鐵としてはお互に融和に努め提携して進んで行きたい【奉天電話】

滿鐵正副總裁
廿五日鞍山視察

滿鐵內田、江口正副總裁の一行の沿線初巡視に先立ち伍堂理事、斯波技術局長は二十一日午前四時半鞍山驛通過、正副總裁一行は二十

一日午前六時十分鞍山驛を通過したが川崎鞍山地方事務所長は途中湯崗子まで出迎へ遼陽まで同車の後歸鞍した、同一行は奉天、撫順視察後鞍山には廿五日午前九時廿三分着列車にて到着する豫定である【鞍山電話】

對支關係は重大では無い
然し軍部の肚は決めてゐる
南陸相決意を語る

【東京特電廿一日發】二十日の閣議散會後南陸相は蒙古における中村大尉虐殺事件について左の如く語つた
中村事件については閣議で詳細に説明して置いたが支部官兵が斯くの如き事を敢てするのは甚だ穩がでない、談判は勿論外務者に一任して置いたが**支那側が之に應じない場合どうするかについては僕としても肚を決めてゐる**、然しその內容は今から發表すべき限りでないと思ふ、青島事件についても外相から報告があつたが近來續々色々な事件が支部に起るのは困つた事だ、然し**時局重大と爲すのは當るまい**、この程度を以て【寫眞は南陸相】

萬寶山事件報告に
高崎弓彦男上京

萬寶山事件の發生と共に所屬貴族院公正會より同事件調査を特命され同地において調査報告資料の蒐集中であつた高崎弓彦男は廿一日出帆ばいかる丸で急遽上京したが右は同調査事項の報告に赴いたもので出發に先だち
私用だよ報告だつて、まあそんな仕事もあるさ、高崎は丁度滿洲に居るから調査して貰へといふので派遣された人だから充分調べて來たつもりだ、內容はこ

松浦伯に叙勳

【東京二十一日發】貴族院議員松浦厚伯は豫て病氣の理由を以て議員辭職を願ひ出てゐたが十九日御允許、二十一日發表された、長き邊ではその功勞を嘉せられ二十一日左の御沙汰あつた
從二位勳三等 伯爵 松浦厚
叙勳二等授瑞寶章

史談會幹事會

大連史談會では二十四日午後二時から幹事會を開き二十八日例會の打ち合せを爲す筈

臭い爆彈
長谷川如是閑

先月の十一日にロンドンのアルバート・ホールで一萬近くの大衆が會合して大「反戰」デモを行つた。政府黨は勿論、在野黨その他英國の六十有餘の團體が代表され、マクドナルド、ボルドウキン、ロイド・ジヨージの三黨首が演說した。司會者が前參謀總長のロバートソン元帥だつたのも振つてゐる。
ブルジヨア反戰運動。いかにそれが矛盾であり、出來ない相談であるかは、そこでの黨首連の演說が正直に告白してゐる。
マツク首相はいふ「いかにも不思議に堪へないことは、すべてのこと――反戰に關して――が云はれ且つ爲されたに拘らず、今日は過去のいかなる平時におけるよりも多額の金を軍備に投じてゐる。平和の氣分は世界に瀰つてゐるが平和の實行は局限されてゐる」云々。
ロイド・ジヨージはいふ「軍縮會議、ロカルノ協約、反戰同盟――そんなものが、戰前の武裝に走りかけてゐる國々によつて持ち出され、それが成立するや締盟諸國は以前に倍して軍國的となる。世界は平和の歌を唄ひつゝ、武裝を準備しつゝ、確實に、恐ろしくも馬鹿らしくも戰爭といふ破滅に向つて程邀しつゝある。世界は八億磅の武裝費のために破產に瀕しつゝある」等々。
軍人生活五十有餘年といふロバート元帥さへもいふ「今や世界の人間の大多數は、戰爭を、暴利商人以外の何人にも有害であり、何人をも益せず、何事をも決定せざるものであると考へてゐる」云々。
日本の政治家や軍人が到底いひ得ないことを大膽にいつてのけてゐる所は流石英國と感服させられるが、さて「すべてのことが云はれ且爲されたに拘らず」各國は刻々戰爭の危險に迫られ、從つて愈々武裝貧乏に追ひかけられる。
昔支那の春秋戰國に孔子といふ聖人があつて、盛に戰爭して居る封建國家を攻擊した。當時の支那全土のインテリはもちろん攻擊された當の軍國君主までがそれに共鳴して、直弟子だけでも七千人に上つたといふ騷ぎだ。然し「すべてのことが云はれ且つなされたに拘らず」戰國共は依然として封建戰爭をつゞけた。その理由は？
それは、孔子も畢竟、一つの軍國々家――周――の帝國主義の主張者に外ならないからだ。しかも既にヘゲモニーを失つた極東の「神聖ローマ帝國」の觀念的帝國主義だ。その「神聖國家」の實力喪失から起つた春秋戰國が、そんな古看板で治まる筈はない。周が再興したら有りつけると覗つてゐた七千の弟子が大抵失業インテリに終つたのも是非がない。
ブルジヨア國家の觀念的「反戰」運動もやゝそれに似てゐる。ブルジヨア帝國主義の元締だ英米――それはまだヘゲモニーを失つてゐない資本主義の周だ――の碧眼紅毛の孔子連が「武裝はやめだ」と號令をかけても乃公自身の帝國主義そのものが武裝で維持されてゐるのだから誰れもそんな「子曰く」を本氣にするものはない。ロバート元帥よりもコケ正直な日本の大將などは顏から反噬してゐる。
十六日のロンドンの會に、新聞記者席にゐた一人の美人(?)が會場に恐ろしい惡臭を發する瓦斯彈を投げつけて一萬の大衆に鼻をつまゝせた。彼女はファッシヨだつた。マツクやジヨージやロバートソン元帥やが孔子なら、日本の連中は差向きこの臭い女の方だ。

人事

▲稻田已喜藏氏(工專教官步兵大佐)今回勇退廿一日出帆ばいかる丸にて內地へ
▲木島某氏(步兵少佐)同上步兵第三十聯隊附へ
▲中村賢氏(工兵少佐)電信第一聯隊附同上
▲池田眞穃氏(安田保善社理事)正隆銀行總會出席中のところ同上歸任
▲二村光三氏(前滿鐵勞務課長)同上內地へ
▲佐田弘治郎氏(前滿鐵調査課長)同上
▲ステアー氏(ライジングサン社員)廿一日下り機にて京城より來連
▲齋藤文男氏(貿易商)同上平壤より
▲藪內丈平氏(陸軍步兵少佐關東軍司令部附南滿工專服務)着任挨拶のため二十一日市內關係方面歷訪
▲加藤正美氏(關東廳航空武官)廿一日新任挨拶のため中尾遞信局監理課長同伴各方面歷訪
▲本山繁雄、同敏雄氏(本山大每社長愛孫、慶大學生)暑中休暇を利用し滿洲各地見學のため廿日來連、大每大連支局に滯在中

蛇角

リンデイ夫妻、北の荒海の機上に不安の枕を並べる、うらやましくはないか。
◇
漢口水災に政府は之れから對策の協議を始めた、協議の了つた頃には在留邦人が水ぶくれになつてゐた。
◇
勞農大衆黨大山郁夫君、米國へ黨勢擴張に行く、米國人は見むきもしないが、在米邦人は珍しい與行だと思つてお賽錢をあげる。
◇
幣原と陸相、節約で刄を合すこと數度、火花は散るが一向金は浮び出ない、出ない筈である軍服には袖がなかつた。
◇
滿鐵正副總裁の巡視、巡視からは必ず偉大なものが生ずる。
◇
聾のチーム、臺灣野球軍來る、睨ぐせのついた滿倶も少しは聾アリを出すがいゝ。
◇
骨抜きの植民地學位令が出來上つた、骨はどうでもいゝ、博士は身のあるのを尊ぶ、滿洲からは身てかしのがぞこぞこ出ますぞ。

東亞の謎 (66)
國枝史郎
挿畫 伊藤順三

魔都の陰謀(一)

三日目の午後に××丸は、東洋の魔都。――いや世界の魔都、その魔都の上海の、雜然とした港へ入り、乘客達はランチによつて、そこの碼頭へ運ばれた。
松下伯の一行も、多數知人の出迎へを受け、南京路のグランドホテルへ這入つた。
×　×　×
その翌日のことであつた。
吳淞路の一軒の家で、上海日々新聞を手にしながら、武村俊三が話してゐた。
「松下伯の一行が、いよいよ上海へ來たらしいな」
「さうです、さうさう來たらしいです。疑にかゝりに來たやうなもので」
かう云つたのは上海亭にゐた、
例の兎好の男であつた。名を大島吉五郎と云つた。
「野郎共には用は無いが、女郎達は是非とも手に入れなけりやア」
「わけてもお禰さんの花子さんをでせう」
かう云ふと吉五郎はヘラヘラ笑つた。
「うん、あの女も手に入れるさ。なあに未練なんか有りやアしないんだが、どうでも一度はしよびいて來て、痛い目に逢はせてやらなけりやア、この腹の虫が納まられえつてやつさ」
「その節お禰さんを手に入れると、お禰さんの旨い口車に乘せられ、グニヤグニヤになるのでござんせうよ」
「ヘン、そんな甘ちやんなものか」
武村は眩な顏をした。
彼はもう一度新聞を見た。
「ら立てゝ行かうかな」
武村は吉五郎へ云ふといふより自分へ向つて云ふやうに云つた。
「小夜子を攫へるのが一番でせう」
吉五郎は水煙草を喫ひながら、それが順序だといふやうに云つた
「それが出來れば何よりなんだがちよつと小夜子は攫へられまいよ」
武村は煙燈の翳の先へ、消えた葉卷の先を押つけ、新しく火を呼んで喫ひはじめた。
「そりやア又何故ですかい？」
「伯爵が嚴重に警戒して、外出させまいと思ふからさ」
「だつて私達が居るつてこと、この上海に居るつてことは、彼奴等知つては居りますまいに」
「そりやア知つては居やアしまいさ。が、小夜子を欲しがつてゐるのは、他にも數人もゐるんだからなあ」

伯一行が觀光のために、同勢六人で來支したこと、美しい令孃も同伴したこと、作家として令名のある小枝次郎氏や、刀水會長の南部正雄氏も、一行に加はつてゐることなどが、可成り長く書いてあり、一行六人の寫眞も出てゐた。
グランドホテルに投宿し、當分上海にゐるだらうといふことや、大連や奉天やハルビンの方から、場合によつては蒙古の方へ迄、出かけるかもしれないといふやうなことや、名に負ふ華冑界の新知識であり、探檢家である伯のことであるから、今度の來支も單なる觀光ではなく、矢張り何等か探檢するための、來支らしいといふやうなことが、興味をそゝるやうに書いてあつた。
「さあ是からの計畫だが、どこか

漢口日支罹災者に御救恤金を御下賜
聖上陛下の畏き思召

【東京廿一日發】天皇陛下は漢口大水害の慘狀を聞し召されさくに居留邦人及中華民國人御救恤御慰問の思召で御内帑金下賜の御内沙汰があつたので一木宮相、關屋次官は昨二十日外務省谷亞細亞局長と協議しその結果を齎し關屋次官は廿一日午前七時上野驛發那須に赴き天皇陛下に外務省着公報を奏上したなほ右金額は午後御發表になるはず

木下宮内省總務長官謹話　聖旨は一週間前から拜し失れ〴〵實情調査中であつたが略は被害程度も判明したので本日午後發表するに至つた之れは陛下が率先隣邦の御義捐に當らせらるゝ譯で日本朝野を始め外國でも思召には感激するであらう之れは大正十二年關東大震災に對し支那が日本に寄せた好意と同情に對して酬いさせられる思召もある事と拜する

勞働者等が義捐金
深川の無料宿泊所止宿者等が
慘狀をきいて醵出

【東京特電二十一日發】二十日泥塗れの印半纏を着た一人の青年が東京朝日新聞を訪問して十圓紙幣を五枚出して大水害で困つてゐる民國の罹災者救濟の資金にと寄附を申出た、青年は深川の共愛無料宿泊所三十餘名の自由勞働者代表中川新一郎で二、三日前宿泊所の監督から漢口大水害の慘狀を聞いて悲慘な罹災者を救はふとお互から十圓事務員から五圓合計十五圓を山口所長の處に出した處所長も安い勞銀で働く諸君がよくも斯うして同情して呉れたと感激して即座に十五圓出した之を聞いた所長の友人も十圓五圓と出し五十圓更に第二回として九月には勞銀の何割かを出し合ふ事を申合せてゐる

支那罹災民に一千圓を寄附

【東京特電二十一日發】南湖院々長（結核療養所）高田畊安氏は二十一日午後二時外務省に幣原外相を訪問今回の揚子江大水害に就き支那側罹災民に金一千圓在留邦人被害者に金百圓の寄附を申出て送達方を依頼した

水中に彷徨するもの三十萬に達せる事實を確め得たので本日徴發軍用船全部の漢口集中を命じ一方水害救濟委員會に對しては食料品藥品の急送及び内外人より救恤金を命じたが政府としての秩序だつた救濟策は目下漢口にある顧問ジョン・ベーカ氏の報告を待ち廿三日中に決する筈

水害で失業した漢口勞働者不穩
在留邦人の身邊危險

【漢口二十日發】水害による勞働者の惡化漸次濃厚となり殊に邦人紡織工會社に對し甚だしく泰安紡織の職工は一般職工より遙かに優遇され不良分子が無いといはれてゐたが同工場で防水排水作業に從事した際僅かに六時間の仕事に對し一人銀十元宛を強要し形勢不穩であつた泰安紡の職工すら右の如くで一般勞働失業者は更に險惡性を帶び來り一方反日會の活動だけは水害のため不可能だが工人等は手段を替へて反日會の暴行に呼應すべく水害と糧食缺乏を機會に直接行動に出でんとするもの丶如く特に警戒されてゐる

武漢三鎭全部水中に沒す

【漢口二十日發】當地對岸の漢陽も今朝遂に附近の堤防決潰城内は完全に水中に沒するに至つた、斯くて武漢三鎭全部は最後の一塀も殘さず水中に沒し終り昨日まで漢陽側の高地から辛うじて供給されてゐた少量の野菜類も今や全く杜絶した

食糧品藥品を急送

【上海廿日發】蔣介石氏は漢口地方水害意外に甚大で溺死者數千名

全京城對全滿鐵對抗競技の豫想

本年度滿洲陸上競技界の最大催しものとして大なる期待を以て迎へられて居る全京城對全滿鐵の對抗陸上會は愈々廿三日午後一時より奉天國際運動場にて擧行されるが全京城軍と云ふもの丶實質に於ては全鮮軍ともいふべきでこれに反し全滿鐵軍は全滿洲軍の中堅小林、米津、土倉及び學生軍の不參加に村上の負傷、岡、三隅の入院のため大打撃を蒙つて居る今兩軍のレコードより觀織な豫想するに

▲百米、二百米　岡が出場するとしても病後のことであるから朝鮮の矢野兄弟には一歩を讓るであらう、ただ滿鐵大久保の奮戰を待つのみ

▲四百米　滿鐵軍多田の奮鬪期待されて居るもこれまた京城の山根深津で一二着を占められるのではなからうか

▲八百米　春のマラソンに可成り無理した濱田は回復意の如くならずやや其の前途に暗影を投じて居たが最近漸く好調となつたから京城の中村、白圭福、滿鐵日比の三選手が二三四着を爭ふのではなからうか

▲千五百米、五千米　永谷大藪八重樫の超A級を揃へる全滿鐵軍に對しては全京城軍は何〔ほ〕どこと術もなからう中村（京）が僅かに四着に食ひ入るに過ぎないと思はれる

▲高障碍　滿鐵福井に對し全京城は相千を以て對戰せしめるであらうが結局福井一着、二着綱干、三着山田（全滿鐵）四着柴田（全滿鐵）となつて滿鐵七點京城三點

▲中障碍　老朽福井新進山田に對し京城軍田中、孤軍奮鬪あるのみ結局一着福井（滿）二着山田（滿）三着田中（京）四着柏木（滿）

▲千米繼走　京城軍百米矢野（兄）二百米に岡本三百米に矢野弟又は田中四百米に山根を以てオーダーするものと思はれるが滿鐵軍如何なるメンバーを以て對戰するとも絶對に勝味なし

▲圓盤投　丸茂、劉、藤田で一等を爭ふであらうが結局丸茂が全京城を押さへると思はれる京城の山登と滿鐵の川野との四等爭ひが興味の中心となるであらう

▲砲丸投　滿鐵のナンバーワン、西村急病のため出場不可能となつたため七對三でリードされることゝ思はれる

▲槍投　小林の不參加は滿鐵にとつて打撃で京城霜島が壓倒的記錄を以て優勝し岡田（滿鐵）三等劉（京城）四等伊藤（滿鐵）となるであらう

▲棒高跳　過般練習の際四米〇五の驚異的記錄を出した滿鐵淺坂對京城山本の一騎打ちは本大會の呼物であらう、又滿鐵伊藤京城勝原の三四着爭ひもこれにおさらない接戰となるだらう

▲走巾跳　好調を示す滿鐵の柴田の優勝は確實京城は矢野の奮起をうながすであらうが侮り難きものがある結局六對四で滿鐵リード

▲走高跳　柴田ただ一人を有する滿鐵軍として最も苦手の種目である、結局條敗に終るであらう右各種目の豫想より兩軍得點を豫想すると左の如くなり七十四乃至七十二對六十九乃至七十一で滿鐵軍の敗となるのではなからうか

	滿鐵	京城
百米	2	8
二百米	2	8
四百米	3	7
八百米	5	5
千五百米	8	1
五千米	9	1
高障碍	7	3
中障碍	8	2
鐵圓走	0	3
圓盤投	4	6
砲丸投	3	7
槍投	4	6
棒高跳	5	5
走巾跳	6	4
走高跳	2	8
合計	71	72

獨女流飛行家　カザン發日本へ

【カザン廿日發】十九日午後四時（日本時間午後十一時）カザンに着陸せる訪日飛行のドイツ婦人飛行家マルガ、フォン、エッツドルフ嬢は同地一泊後二十日未明四時三十分（日本時間十一時三十分）日本に向け飛び出した

クルガン到着

【クルガン廿日發】東京へ向け歐亞聯絡飛行の途にあるドイツ女鳥人エッツドルフ嬢はカザンからモスクワ夏期時間二十日午後三時クルガンに到着した、二十一日オムスクへ向ふ豫定

リンデイ機の修理成る
霧はれ次第試驗飛行

【落石二十一日發】リンデイ機エンヂン修理成りしも着火スタート面白からず濃霧は次第に霽れつゝあり、濃霧霽れ次第試驗飛行を行ふ由である

修理成れば根室に飛ぶ

【落石二十一日發】今朝六時迄に新知丸より落石局に達した情報に依ればリンドバーク機は波高く機關の手入れ出來ぬため更にケトイ島北側に曳航して徹宵夫妻協力して修理を試みたが午前四時半に至るも修理成らず今朝は夫妻とも疲勞のためスッカリ寢てゐる模樣でこれから起きて再び修理に取りかゝるのであるから今朝出發するとしても何時頃になるか見當が附かぬ然し昨夜リンドバーク大佐は二十一日に修理が出來れば飛行を決行し多少天候惡くとも根室に飛び度いと云つてゐたから遲くなつても出發するかも知れぬと尚根室附近は雷鳴驟雨あるも次第に回復に向ひつゝあり

鮮南暴風雨の被害
死者廿、行方不明二百

【京城特電二十一日發】警務局着電によれば十八日以來全南地方を襲つた暴風雨の被害累計は死者二十名、負傷者四名、行方不明百九十名、家屋全潰百五十二軒、半潰五百九十八軒、浸水百六十一軒、流失三軒、船舶沈沒二十八隻、顚覆七隻、行方不明三十隻の多數にのぼり、その他農作物の被害甚大なるが目下調査中である

林檎のお株攫はれた林檎屋
成功した三井の割込

滿洲林檎の南洋進出に對しては既に神戸藤田商會の手によつて兩三年前より實行され昨年度の如きは約五千箱を輸出、滿洲林檎の聲價を知らしめたが本年にいたり滿洲林檎の南洋市場における好評を耳にした三井ではこの藤田商會と關東州果樹組合との間に割込み運動をなし過日來紛糾を釀してゐたが當の藤田商會の藤田俊夫氏は數日前より來連この三井の割込運動に對策を講じてゐたところ遂に利なく南洋における一手販賣は三井に横取られた形となり、かなり興奮し乍ら廿一日出帆ばいかる丸にて歸神した、船中語る

折角南洋に滿洲リンゴの名を賣り弘めたと思つたらこんな事になりました、私の方は長い間果實專門にやつてゐるので經驗もあり得意先も多いのですが果して三井でやつてどれ丈捌けるか疑問です、最初三井と一緒にやる丶な話も出ましたが下手に競爭するのも面白くないので斷りました、こちらの組合の人も案外勝手な事を云ふ人が多い樣です、三井では年一萬箱を捌くと云つてゐるが五千箱行つたら成功でせう

こんどは暴利封じ
エロ故の暴利は認められぬと公定値段を献立表に掲示さす
カフエーの新取締り

命令條項の公布でカフエーのエロ封鎖を行つた大連署では今度はカフエーの飲食物暴利を取締ることゝなり調査に着手してゐる、從來カフエーの飲食物は物價の低落とは全く無關係で

原價　廿四五錢のビールを五十錢、一錢位の麴可突出しを十錢、カクテル一杯三十錢、湯水の如きコーヒを二十錢といふ調子で天下御免で暴利をむさぼり、其他一般飲食物も著るしき高價なものを賣付けてなりカフエーのみ暴利を認めてゐる警察當局の態度に非難の聲があつたのに鑑み、今回調査のうへ法外なる

暴利　と認められるものはカフエー組合を通じて値段の統一を計り、警察當局が認可した公定値段をメニューに掲げて公示させる方針である

不合理は改正　藤井保安主任談

右に就き藤井保安主任は語る「カフエーは食ふ所にあらずエロを味ふ所なり」といふ營業方針は時代遲れで警察としては理髮料、湯屋其他一般取締營業の値下げを慫慂してゐるに獨りカフエーのみエロ氣分を味ふ所だから暴利は止むを得ないと認める譯にはゆかぬ、尤もカフエーが一般飲食店より高いといふことは大目に見るが現在の如く原價の三倍も四倍もの暴利を得てゐるといふ不合理は速かに改正する必要があると思つてゐる

中村大尉の死をいたむあどけない少年の美擧
ひとの感動を惹く手紙

廿一日午前小崗子署警務係へあどけない文字で書かれた一通の手紙が屆いた、門脇警務主任が開封して見ると

中村大尉さんが興安嶺で惡者に殺されてお氣の毒です、滿洲にゐる私どもはこの仇を取つて上げます、おばさん決して御心配なさいますな、お身體を赤ちやんをだいじにして下さい、このお金は少ないけれど、これいぜんに供へて下さい

と、遙に支那官憲の手にかゝつて虐殺された參謀本部中村大尉の死をいたみ、未亡人を勵ます溫かい同情の手紙に添へて一圓紙幣が一枚添へられてあつた、差出人は市内葛蒲町居住の某氏の長男であるが、讀んで門脇主任も大いに感動し、この手紙に金を同封し、參謀本部を通じて未亡人へ贈る手續を執ることゝにした

中等學校野球決勝
十萬の觀衆極度に緊張

【大阪特電廿一日發】勝ち殘る二强豪臺灣代表嘉義農林と東海代表中京商業の二チームによつて全國の覇權を決すべき優勝戰は愈々廿一日午後二時二分より嘉義農林先攻の下に開始された、嘉義農林の巨砲は勝つか中京の鐵腕吉田が守備を勝るか決戰は絶好の微風コンディションに惠まれて觀衆十萬は息もつかざるに極度の緊張を示す審判は田（球）鶴田、水上、久保田（壘）の四氏

嘉義		
平	野	7
	松	8
上		6
東		1
眞		2
山		5
里		3
原		4
小川		[illegible]
島	福	9

中京	
大	7
恒	4
櫻	2
鈴	9
村	8
後	3
杉	6
吉	1
吉	5

▲第一回　嘉義平野第一球を飛ばしたが村上よく走つてとる蘇遊飛、上松第一球を三滅單打した が吳おしくも遊飛△中京大鹿四球に出て恒川二球目をバントしたが投飛となり大鹿ととも に併殺を喫す櫻井右翼前に單打したが鈴木の三飛に櫻井二壘に封殺されて零し

▲第二回　嘉義東二飛眞山捕邪飛小里の投飛を吉田後走してとり三者凡退△中京村上四球を得たが後藤打者のとき二盜を企て投手好投に刺さる後藤三壘線上に單打に出で杉浦の三飛に封殺され吉田遊飛

▲第三回　嘉義川原中前單打に出で中堅手一壘暴投に一壘二進福原の二飛に川原三進平野三飛蘇三振にチャンスを逸す△中京吉岡三遊間强ゴロを放つたが遊撃よく捉へてアウト大鹿二飛の後恒川中前單打に出で櫻井四球に續き二死ながらチャンスを迎へ鈴木三遊間に單打して恒川先づ生還し左翼よりの球を捕手二壘

▲第四回　嘉義上松三振、吳遊飛の後東二飛失に生きたが眞山三振空し△中京後藤四球、杉浦一二間バントは内野單打となつて後藤一擧三進、杉浦も二盜し中京またチャンス、吉田一飛に倒れたが吉岡打者の時第一球を投手暴投して後藤、杉浦共に生還吳投手に疲勞の色あり中京待球主義に出つ、吉岡、大鹿共に四球、恒川右前に單打して滿壘、櫻井投飛して吉岡惜しくも本壘に封殺され續く鈴木二飛にやんだが中京また二點を得計四點となる

▲第五回　嘉義小里、川原共に三振福島三飛失に生きたが平野三飛に無爲△中京村上右翼後飛遊飛失に生き杉浦四球に走者一、二壘に據る吉田二飛吉岡の二飛に杉浦二壘に封殺されて零し

悲戀に泣く八雲惠美子さん

「新入娘から鮫妓！女優！」と數奇を極めた惠美子の悲戀物語、講談倶樂部九月號掲る處で大評判。

晩夏のとんぼ——けふ西公園にて

御神寶の傳達式

二十日大連民政署貴賓室に假安置された御神寶は廿一日午前七時四十分、辛島民政署長、富田庶務、山中地方兩課長、神官、氏子總代立ち會ひの許に傳達式が行はれ三浦關東廳内務局長（長官代理）より御下賜になつた

大連、沙河口、大石橋、營口、鞍山、奉天、撫順、鐵嶺、四平街、長春各神社に傳達された、而して沿線の神官および氏子總代は同九時發下り急行列車で出發大連神社の分は水野神官が奉戴し石本、恩田、神成、鈴木各氏子總代並に富田民政署庶務課長、沙河口神社の分は河野神官これを奉戴し結城、桂城、一宮各氏子總代並に山中民政署地方課長何れもお伴を申上げ同九時三十分民政署を出發してソレ〴〵歸社した

滿鐵の囑託整理

滿鐵の囑託整理については一兩日中に發表を見る筈であるが左の四名丈け決定、二十一日發表した

解囑託（各通）

鐵道部囑託　眞山孝治
同　王徵五
同　大西清
同　黑子純造

青聯に内紛
大連支部幹事の除名騷ぎ

滿洲青年聯盟では十八日午後七時より山城町聯盟本部に理事會議を開き大連支部長森田稻志氏以下高木、大町、河野の三幹事の除名を決議し十九日金井理事長の名を以てこれを各方面に通告する所あつたがその除名の理由とする所は前記四氏の思想行動が青聯の主義主張と相容れざるものありといふにありこれに對し被除名者たる森田氏等は連名を以て長文の聲明書を發表し理事會の決議による除名理由の全く事實無根なることゝ並に理事會の權限上右の除名決議は單なる空文に過ぎざることを主張し理事會の反省を促す所あつたが時局打開のため最近頓に本來的使命に則し活動しつゝある聯盟の有力支部たる大連に於て斯る内紛が勃發した事は成行を注目されてゐる

方面委員七月中の取扱件數

關東廳方面委員が七月中に取扱つた件數は五百四十九件で前月に比し九十六件の減少であるがその内容は左の通りである、社會調査一五七、保護救濟四三、相談指導七八、醫療保護八二周旋紹介四四、兒童保護二五、戸籍整理二、金品給與二九、敎化福利五四、その他三五合計五四九

長山島消遊會

中日文化協會主催の大長山列島清遊會は風雨のため延期中であつたがいよ〳〵來る二十九日（土）午後四時半滿月の夜を好機として出帆、三十日午後七時頃歸着することゝなつたが會費は船賃及び三十日の朝晝二食分を含めて金二圓で申込みは二十七日午後三時迄中日文化協會まで申し込まれたしと

幼稚園同窓會

市内播磨町大連幼稚園に於ては來る二十三日第十五回同窓會を催すが、當日は童謠舞踊、獨唱等種々餘興の催しがあると

辻聽花氏逝く

本社北平特派員聽花、辻武雄氏は十八日夜北平の寓居にて腦溢血にて逝去、十九日同地本願寺にて葬儀を執行した、享年六十二、氏は民國元年蘇州高等師範學校教授を辭して赴平し順天時報に支那劇評を掲げ日本における支那劇通の第一人者として令名あり、中國劇界も氏の死を悼み近く追悼會を營む筈

マーク募集

南滿商科學院にては同學院のマーク圖案を懸賞付きにて一般より募集することになつた

天氣豫報

二十二日　南西の風　曇一時晴

各地溫度

二十一日午前十一時

		二十日最高
大連	二七、七	二九、三
旅順	二八、四	二九、一
營口	二六、五	三〇、九
奉天	二四、九	三一、一
長春	二四、九	二七、一

滿潮（午前四時二十五分・午後四時十五分）
干潮（午前十一時十分・午後十時五十五分）

けふの小洋相場（正午）
金百圓は二六二圓一五錢

上海バス罷業

【上海特電二十日發】上海共同租界乘合自動車車掌、運轉手等は過般正給料値上を要求し今朝から同盟休業を開始し目下監督ロシヤ人運轉手等で少數の車を運轉中である

暗流阿修羅館 (162)

生田蝶介 作　挿畫 藤井耕造

（明治四十年八月二十五日第三種郵便物認可）

滿洲日報

日支の融和を希望

滿鐵正副總裁省政府を訪問し　臧主席に挨拶交驩

滿鐵正副總裁一行は午前十時五分ヤマトホテルを出て奉天神社に參拜し次で春日小學校講堂において講演中倒れた早川前社長の跡を弔ひ續いて忠靈塔に參拜、それより領事館を訪問し午前十一時林總領事の案內で城內臧首席を省政府に訪問、十一時十五分から內田總裁の新任挨拶に次で

滿鐵さしても親密に融和して協同福利の增進を圖りたい、尙これに就ては外によく事情の判つたものがあることてその人からいろ〳〵お話もせられるこさゝ思ふから何分宜しく賴む

さの希望に對し臧首席もこの外上機嫌で逆へ

支部側さしても決して離るべからざる密接な關係あることゝて宜しく願ひたい

さの挨拶で十五分間で會見を終り玄關に出て記念撮影をなし同政府を辭去、續いて敵草地の張作相氏不在のため張景惠氏を私邸に訪問挨拶をなしヤマトホテルに歸り晝食を濟ませて午後一時三十五分發列車で撫順の視察に赴いた【奉天電話】

遼陽通過北行

內田、江口正副總裁一行は廿日午前六時四十七分遼陽着、山崎領事を初め官、有志ホームに出迎へ一行は六時五十三分發北行した【遼陽電話】

陸相閣議で　强硬意見吐露

【東京特電廿日發】南陸相は本日の閣議で最近頻發する日支不祥事件特に中村大尉事件は空前の暴虐で斷乎たる決意を以て問題の解決を圖れさ强硬なる意見を吐露した

軍縮全權候補に　齋藤子、山本男ら

數名を首相から推薦　軍部に異論なき模樣

【東京二十一日發】二十一日午前の若槻首相、南陸相に於て若槻首相は軍縮會議全權決定につき意見を求め若槻首相は參考さして數名の候補者を擧げたが右顏觸れは極秘に附されてゐる、その中には民政黨顧問山本達雄男、前朝鮮總督齋藤實子も加へられてゐるもの如くである、然して兩氏につき軍部では異論なきもその受諾に就いて疑問を持つてゐる

塚本關東長官　御用邸に伺候

【東京特電二十日發】塚本關東長官は室田秘書官を帶同、今二十日朝九時二十分上野發列車にて那須野御用邸に伺候、御避暑中の天皇皇后兩陛下に拜謁仰せつけられ天機並びに御機嫌を奉伺し、御陪食を賜はり恐懼して退出したが直に歸路につき七時五十八分上野着にて歸京の筈

省廢合反對の　諒解を求む

原拓相、濱口　仙石兩氏を訪問

【東京二十一日發】原拓相は今朝九時半久世山の自邸に濱口前首相を見舞つたのち省廢合問題につき反對意見を述べ、なほ濱口氏の意見を聽取し更に仙石貢氏を訪ひ同樣反對意見を述べ諒解を求めた

關係閣僚　明かに反對を公言すまい

小泉遞相談

【東京二十一發】若槻首相を訪問した小泉遞相は南陸相さ首相さの會見が長時間にわたつた爲め遂に會見せず別室で櫻內商相さ懇談して辭去したが左の如く語つた

省廢合問題は政府の重大問題であるが櫻內、町田、原各相でも明らかに反對を公言する事はあるまいさ思ふ、若槻首相は關係閣僚にどの程度の事をいつたか知らぬが苟くも責任の地位にある者はまだ案の內容を知悉せずしてこれを云々すべきでない

省廢合問題　首相三相と協議

原拓相反對を强調

【東京二十日發】閣議散會後町田、原、櫻內三大臣等は居殘り若槻首相列席の下に省廢合問題につき意見を交換したが、原拓相は不景氣の現狀より海外移民增加の折柄拓務省を廢止することは國家的見地よりして由々しき大事で省の廢止には反對すさ述べ交々立つて反對意見を述べ若槻首相は參考になつたさ述べて散會した

行整委員會が　決定を急ぐ

【東京二十日發】行政整理の中心問題たる省廢合案については與黨總務中に斷行論者たる賴母木總務に對抗して中野總務等は反對を主張しこのまゝに置く時は閣內及び與黨內に不穩な對立から動搖を招く虞あるため二十一日行政整理準備委員會は本案につき何等かの決定をなすはず

外交部の善後方針　地方問題として取扱ふ

反日會感情を激化

【青島二十日發】暴民事件後全市の防備は巡警隊及保安隊二個大隊が當つてゐるので今のところ鳴りをひそめてゐるが、反日會が陰險な反日運動を開始し逆捻的敵愾激化に努めてゐるので成行憂慮されてゐる

【南京特電二十日發】青島事件については未だ外交部に報告はないが外交部では地方的問題として解決するものさ觀らる

白々しい支那　紙の逆宣傳

【南京特電二十日發】支那側機關紙中央日報は青島事件を日本人が支那人を襲擊したもので支那側に多數の負傷者を出した、この事件は日本側の計畫的暴行なりさ全く事實に反對の記事を掲げ逆宣傳を爲しつゝあるが尙之を對外的に宣傳する計畫の模樣である

宋慶齡女史が　內爭に忠告

【上海特電廿一日發】宋慶齡夫人は廣東政府の各要人に對し故總理一生の艱難を考へ私的の政見で黨の團結を破壞する勿れ、さの忠告電を發した

鐵道從業員　任官年齡　平均卅歲に決定

【東京廿日發】鐵道從業員は中學校卒業後平均二十歲程度で就職し傭人雇員の階梯を經て判任官に至るまで約十四、五年を要しその任官年齡は三十四、五歲で今回の恩給法改正により受恩給年限二十年さなれば五十四……

軍司令官歡迎會

新關東軍司令官本庄中將のため三浦內務局長、三宅參謀長、久田海軍駐在武官、永山市長發起人さなり來る二十七日午後六時より偕行社にて歡迎會を開催する、會費一圓五十錢出席希望者は市役所庶務係へ

本庄軍司令官招宴

本庄關東軍司令官は來る二十五日午後六時三十分より旅順偕行社において旅大官民の主なる者約四百人を招き披露宴を開催するさ

印度から　ビルマ分離

【ロンドン廿日發】インド事務省の發表によればイギリス政府は十一月ロンドンに於てビルマ圓卓會議を開き同會議で第一回インド圓……

滿鐵正副總裁沿線視察に廿日夜出發

內田、江口滿鐵正副總裁は二十日二十二時發列車で着任以來最初の社線巡視さ近接支那側各鐵道視察及び中露要人さの交驩旅行の途に上つた、九月六日歸連するまで十八日間奧地の酷烈な殘暑さ不便な旅行を續けるのであるが正副總裁とも發車前二十分機嫌よくプラットフオームに姿を現はし見送りの十河、竹中、村上各理事關東廳會社軍役その他各方面の人々さ挨拶を交はし同行の首藤、山西兩理事、斯波顧問、杉本、八木、林秘書その他の隨員さ賑やかに出發した

奉天軍の兵變頻々　河北省共產黨の煽動で

【北平特電二十日發】北平城內に駐屯中の奉天軍約一ケ大隊は昨日永定門、本日は朝陽門附近において兵變を起し武器攜帶の儘通州方面に自由移動を爲し追擊した軍隊さの間に交戰中であるが、右は河北共產黨の煽動によるものさいはれ今後も此種の叛亂兵は各所に續出するであらうさいはれてゐる

善後問題は　張繼氏が解決

【北平特電二十日發】張繼氏は本日張學良氏さ會見し中央代表の資格で山西問題解決の衝に當る事さなり徐永昌氏に對し速かに閻錫山氏を外遊せしめる事、山西の善後問題については全責任を負ふて盡力する事を斷言したさ

米陸軍長官來朝

【東京二十一日發】アメリカ陸軍長官ハーレー氏は十一日來朝したので同長官歡迎午餐……

英赤字補塡案　反對の聲に原案修正

【ロンドン二十一日發】イギリス內閣經濟委員會作製の赤字補塡案に對し勞働組合側並に保守黨側に反對の聲あるので同委員會は本日午後再び會合論議の結果原案の一部を改訂する事さなり二十一日更に會議續行に決定した

赤字補塡　原案內容

【ロンドン廿日發】……ラルド紙所報によれば……ド首相が二十日……黨代表に說明した……は左の如くである……一、赤字の半額は……

反蔣運動の側面觀（上）

上海にて　日森虎雄

反蔣戰爭の發展性

反蔣戰は石友三の失敗によつて一時恰も其發展性を失つたかの如く見えたが、然し石友三の反抗は反蔣運動の大局から見る時、單に其序幕であり、前哨戰に過ぎなかつた。即ち、其失敗は反蔣戰を終熄せしむべき何等の條件變化をも齎しはしなかつた。否、條勢は却て引締り、一般情勢からして反蔣戰の本幕は愈々これからであらう事を示してゐる。

石友三の失敗の結果、山西、西北軍並に韓復榘其他の北方反蔣隊は、何れも「此際まご〳〵してゐるさ奉天軍や中央軍のために潰滅し盡される」さいふ懸念が增して却てこれら各軍の、より一層の聯絡さ結束を促す原因さなつた。

閻錫山が大連から飛行機で急遽大同に歸來した事、石友三の退却に當つて韓復榘軍が橋梁の架設其他種々な方法を以て石軍の退却を援護せる如きは、此間の消息を如實に物語るものである、同時に、これまで考へ込んでゐた廣東政府にあつても、石友三の失敗に刺激されたゝめか、山西軍、西北軍其他北方における反蔣各軍閥に對して、軍費の可及的援助を決定するに至つた事も極めて重要な要因であらう。

斯くて、これらの諸要因は反蔣戰の發展性をより可能ならしめ、その進行をより速かならしめ、其行動をより激化せしめてゐることは云ふ迄もない。

反蔣戰の發展性如何を檢討するさき忘れてならないことは、南京さ廣東兩政府の財政的力の强弱についてである。最近廣東方面よりの信ずべき消息に據るさ、英、米、武官の廣東政府財政收入に關する調査の結果、政府の財政狀態は最近に至つては益々良好さなり、一ケ月二千萬元の收入が確實さなつてゐるさいふ。一方、孫科の話さして傳へらるゝ所に據れば、南京政府は孫科の脫出前――國內公債をはじめ收入の大部分が債權者に管理されてゐるので、其計上收入一ケ月六百萬元を出でないさ、斯くの如く、南京のそれに比較して廣東の財政が遙かに良好、……ことは、反蔣戰の發展に拍車をかけ、此援助によつて北方の反蔣軍が大いに活氣を呈するに至ることは爭はれない眼前の事實である。なほ、廣東からの確實なる消息によるさ、政府は近々人物を北方に派遣し、政治的活動を行はしめることになつてゐる。

これは、廣東政府が北方各將に對して、反蔣戰軍費を可及的援助することが前提さなつてゐるとはいふ迄もない事で、……はた又北方においても反蔣……を以て……に入りつゝある。

反蔣軍隊の分析

……

第二の反抗（7）

三宅やす子　作
阿部金剛　畫

來客（七）

「だが伯父さんもわからない事を仰しやるんだな」
「さても、あの。ほんさに察一さんにお願ひよ。もつささばけて呉れるやうに、說法して下さらない？」
「駄目、駄目。僕が云ひ出したら……」

……

鞍山神社に　御神寶着御

東拓定時總會

本庄軍司令官　動靜

菅原總裁の　演說要旨

社説

共榮運動を容易ならしめよ

凡そ近時の國際關係ほど不可解な現象はない。衝突矛盾の甚しさがマザマザと痛感せられる。就中吾人に取つて最も重大な日支間の交渉がそれだ、萬寶山事件が朝鮮事件を生み、上海反日會の日貨押收が日本海軍兵の奪還となり、抗議と反對抗議とが繰返される。其際に中村大尉虐殺事件が發表されて最近靑島に於ける市民の騷擾となつた。此等事件の以前にも其の中間にも日支人の個人間又は團體間の爭鬪は屢々惹起されて居る。世間に知れたのも多く、知られずに濟むのも甚だ多い。併し其多くは「相接觸する事多ければ爭ひも自然に多くなる道理」と云つた樣な性質のものが多い。萬寶山事件の如きも日本內地にも屢々惹起せらるゝ所の「水喧嘩」に過ぎないと說く人もある。併しながら、近來の傾向には必ずしもさうばかり云つて樂觀して居られない民族的感情の色彩が濃厚になつて來た。此點最も注意を要する。此等の事件の間には自から民族的復讐關係と見る可きものもあり、復讐といふ程でなくとも相互の間に多少の關係があつて、民族的反感の色彩を發見するに難くない。併しながら、深く其鬪爭の根柢を察すると、必ずしも不倶戴天の民族仇怨であるといふ確信から割されたものとも思はれず、大から見た民族的利害よりは寧ろ別方面の邪道に橫走りして行く氣味もある。その證據には爭の半面には融合親和の氣運も度を加へ、斯うした邪道が竟に何等の良結果をも齎らすものでない事を多數の民衆に覺知させても居る。畢竟斯うした一鬪爭は流行さして除りに危險な流行といふ可く、關係兩國民共通不幸事に外ならぬ。

◇

時代は信仰を失つた。信仰の對象を何處に求むべきか、迷うて居る。その結果が個人と個人を相疑はしめ、更に國と國とを相疑はしめて居る、國際關係は彼の如く紛糾して而も歸趨する所を知らぬのはその爲だ。斯うした時代の通弊として何事にも異論が多い。所謂堅白異同のソフィストが跋扈する。それが何の位無用の事故を民族間に叢生させ、その爲めに何人も得る所がないのは說明を須ゐぬ。勿論近代の生活相は總てに競爭が伴ふ。それは必然の勢ひであつて之を無競爭狀態に引直すことは不可能だ。併し個人間の交誼に於て利的折衝と情的親和との必要があるやうに、國民と國民との接觸にも道義的融和機關は必要だ。現代にはそれがない。何に附けても自我の主張が總ての總てになつて居る。他の缺陷を責むるに急で、その美點は全く無視し合つて居る。日支間の近狀が幾んど萬事に背中合せになつて居るのは、世界の大勢と支那の國情とに本づく結果ではあるが、又た同時に新氣運に適應した國交融和の指導努力に欠けて居る爲でもある。兩國の識者は既にこの點に氣附き、一般商民間にも彼此提携の利益多いことを自覺して居る。隨つて兩國の懸案を解決すべき途は、必ずしも一時の外觀に拘泥せず、讓るべきを讓り守るべきを守りその間に共存の原則に準據した事業並に諒解運動の勃興にあると吾人は信ずる。

◇

日支間の同府關係は今更論ずるまでもない。此關係をうまく運轉して兩國民相互の利益を謀るのは政府の仕事であるが、時勢の特徵と日支双方の現在の國狀とからして、此責任を全然政府にのみ一任して置くわけにいかぬ。國民すべてが身を以て此問題の解決に當られねばならない。吾人の見る所によるに、日支兩國の本來の關係を達觀して共榮の原則に準據して兩國民の利益を增進せんと欲する人士が、必ずしも日本に乏しくはない。此人達は從來、種々の方面に於て此種の運動に從事して居る。然るに近時の日支關係を見るに、萬寶山事件を主として滿洲官憲の日韓民族に對する無理解なる態度、上海反日會を主とする全國の不法なる對日貨態度の如きは今まで隱忍して來た日本人に憤懣の情を起さしむるに至つた所謂幣原外交によつて日本國民は久しく訓練せられて居るから支那の更生道程にありては多少の脫軌的行動あるも已むを得ざる事となし、自己の不便を忍びて、支那更生の完成を待たんとして居る。支那側が之れを誤解して以て政府の軟弱となし國民の腰抜けさなし、常軌を逸した對日態度に出づるならば、隱忍せる日本國民も遂に其隱忍を解かざるを得ざるに至る。近時日本の對支國論が著しく硬化したと見ゆるは即ち國民の此の氣持が自然に發露するものである。斯くの如き狀態に立至る事は吾人の甚だ遺憾とする所であるは屢々論述した通りである。若し斯うした狀態が更に進一歩するならば兩國間に極めて不幸な狀態を發生せざるを保し難い。事此處に至りては兩國の共榮を策し親善を謀らんとする人士も、策の施す可き所を失ひ、言の出づ可き所を知らざるに至る。是れ吾人の最も痛嘆して措く能はざる所である。何となれば、これによつて折角此等の同志が養ひ來つた兩國民の諒解、兩國の自然關係助成の機運を破壞し去るからである。

◇

吾人は中國にありても、吾人と意見を同じくする人士がもさより多々之れある事と思ふ。時に之れを言文に表白する人あるも、或は內心之れを思ひて表白するを憚る人もある。中國の人士にして日本を以て不倶戴天の仇敵なりと確信する人はそれでよい。必ずしも然らずして、衝突は一時一局の問題にして大局打算に於ては一致共同を必要と爲すのが兩國の自然的關係であると見る事、吾人と見を同じくする人達は此際敢然として其所信を披瀝せん事を希望する。斯くの如くにして、双方共に、守る可きを守り讓る可きを讓る事を明白にして、之れによりて兩國民關係の向ふ所を知らしむるならば、自から局部的問題に拘泥したり、一時感情に刺戟されたりの原因より起る所の爭鬪は跡を斷つに至るであらう。此處に始めて吾人の期待する所の兩國の自然的共榮の舞臺が開け來る。

愈廿一日展開する白熱の野球戰

强豪・魔のチーム臺北軍を迎へ 實、滿の攻防は見もの

早慶明來らず實業振はず滿倶もまた都市對抗に敢なく敗北の悲運に逢ひ轉寂寥の滿洲球界に「臺北野球團來る」の快報ファンの喜悅幾何ぞ！京城において三勝一敗(一敗は京城電氣に三對二で敗退)「强豪臺灣、魔のチーム」と評された同チームは十九日奉天において奉天クラブと對戰し主戰投手渡邊大陸投手をベンチに殘し輕く二對一で勝を制し期待さ多分の清新味を橫溢させて二十一日朝八時その元氣な姿を大連驛に現した

▼……▲

その臺北チームの元氣を物語る插話一つ……東京を出發して陸路四十八時間京城に到着した翌日から連續四日間に四試合、ヘト／＼に疲れながら三勝一敗、相手が得點するまではウト／＼して居るナイン、相手にリードされると憤然起してとり返して三勝したといふ

▼……▲

本年の都市對抗において滿倶脆くも第一戰で敗退後は事實人氣の中心は臺北チームであつた、臺北チームの戰ふ日、神宮球場は七萬のファンに滿たされた、東京クラブ選手を中心とする觀手席の批評において渡邊投手のピンチング(今夏大會において示した好投)は早の伊達、慶の宮武兩投手を凌ぎ日本一だと判定された、守備のチームに非ずして猛打攻擊旺盛のチームであるだけに渡邊投手が打たれると案外脆い點がないでもないがチームの半數が猛打者連で得點をかせいで守備力を補つてゐる、東京と戰ふて最後まで頑張り六對六の同點で强味を發揮したが最八回の渡邊打たれて四點リードされて遂に敗れたけれどもその追擊の强さには驚嘆しないものはない有樣だつた、東京の勝利は臺北の敗北よりもずば拔けて强い東京チームの獨り勝ちださ批評したい

▼……▲

廿一日着連早々午後二時から實業球場で練習、今廿一日から開始の對實滿兩戰に備へて鬪志滿々の臺北チーム津田、宮武、山田、安藤、高橋の中堅打者の當りの出て居る實業、强いチームに强い滿倶、特に滿倶は一昨年都市對抗において渡邊投手を中心とする全京城に八對四の記錄で勝つて居る渡邊投手としては圓熟した腕前を滿倶ナインに示す絕好の機會である

▼……▲

白熱の戰ひは愈々けふに迫つた、岩瀨、木下、因藤が臺北の猛打をよく防ぎ得るか剛勇渡邊投手が實業の攻擊を抑へるか、本年度唯一の好試合は將に展開されんとする なほ臨時會員券は五十錢二十錢の二種さ

州內中等學校水泳競技會

5—3 滿倶再敗 對東大二回戰

東京帝大對滿倶第二回戰は午後四時十分より滿倶球場に於て三氏審判、帝大先攻で開始、武(球審)立石、安藤(壘審)三氏審判、帝大先攻で開始時頭二點を得て優勢と見えたも帝大三點を得形勢逆轉したる滿倶七八回の總攻擊も空しく九回一點を返せしのみで滿倶再敗す閉戰六時二十…

經過

▲第一回 帝大三者外野凡飛△滿倶吉野の左飛野手橫走一度手にしたが逸して二壘打さし永澤の中堅右寄フライで吉野三進 山下**初球を大きく左中間二壘打**して吉野生還片岡四球、濱崎投飛で二死となつたが和田の左飛を野手後送これまた一度手にしながら腰がくづれ落して二壘打としたため山下生還片岡も一擧本壘を衝かんとして三本間に挾殺

第二回 帝大凡退△滿倶二死後梅本中前單打して二盜したが吉野凡退

▲第六回 帝大凡退△滿倶山下死球片岡のバント捕邪飛となり濱崎中飛後山下二盜に死ぬ

▲第七回 帝大細井三振淺原四球片桐三振廣岡右飛△滿倶和田遊ゴロで攻いたが後援なし

▲第八回 帝大竹內四球笠間一越單打して竹內二進し內山バントで送つて**一死走者三二壘に據る、**濱崎のカーブ低く遂に小宮を四球で送り出して滿壘となる、帝大中村を退け田中2—1後に守りの淺い遊**田中PHとして立ち擊手の右をゴロで拔いて竹內笠間生還**小宮二進、細井三匍して小宮、田中三二進淺原四球で二死滿壘片桐の二匍を永澤一寸ファンブルしたためセーフとなり此の間小宮生還 田中は一擧ホームに走つて一壘からの返球に刺されたが帝大一點を勝越して試合は全く白熱化する△滿倶(帝大中畠三壘に入る)吉野捕邪飛永澤左翼の眞正面にフライを呈し山下高くライトフライ

▲第九回 帝大廣岡三匍失に出た竹內投手眞正面にバントを呈して廣岡を封殺、笠間四球で竹內二進し**內山初球外角の直球を左翼線に單打して**竹內生還笠間二進小宮も投手左を直球で拔き一死滿壘となるPH大塚(中畠に代る)右中間にフライし針原好く走つたが單打となつて笠間生還この時內山もホームに走つて右—遊—捕の轉送に刺され細井の遊匍に帝大の總攻擊終る△滿倶(帝大大塚三壘に入る)片岡遊匍濱崎右越三壘打し和田三匍高投に擧二進したが濱崎故意に還らず古味の中堅右寄フライに濱崎還り和田三進PH中井(針原に代る)立つたが2—3後に二直して滿倶遂に一點を返しただけ

帝大	得點	打數	安打	犧打	盜壘	三振	四死	過失
4 宮村	1	4	1	0	0	0	1	0
5 小中(中畠)	0	3	0	0	0	0	0	0
PH(田中)大塚	1	1	1	0	0	0	0	0
6 細	0	5	0	0	0	0	0	0
5 淺(原)	1	2	0	0	0	1	2	1
6 片桐	0	4	0	0	0	2	0	0
8 廣岡	0	3	0	0	0	3	1	0
3 內	0	2	1	0	1	0	1	0
2 竹	2	2	0	1	0	1	2	0
9 笠	0	2	1	0	0	1	2	0
7 山	0	3	1	0	0	2	0	0
計	5	30	5	1	1	10	8	1

滿倶	得點	打數	安打	犧打	盜壘	三振	四死	過失
5 吉野	1	4	1	0	0	0	0	1
4 永澤	0	4	1	0	0	0	0	1
9 山下	1	3	1	0	0	0	1	0
2 片岡	0	3	1	0	0	0	1	0
1 濱崎	1	4	1	0	0	0	0	0
7 和田	0	4	1	0	0	0	0	0
3 古味	0	4	0	0	0	0	0	0
8 針原	0	3	0	0	0	0	0	0
PH(中井)	0	1	0	0	0	0	0	0
6 梅本	0	3	1	0	1	5	0	0
計	3	33	7	0	1	0	2	2

▲二壘打—吉野、山下、和田▲三壘打—濱崎—和田▲與へし死球 笠間一(山下)▲試合時間二時間〇五分

戰評

歸連後の滿倶の意氣は依然揚らず一方前日の快勝に氣を良くした帝大軍は濱崎投手の疲勞に乘じて八、九の二回に猛打を浴せ始めて堂々たる振りを示した▲三回無死一二壘に走者を送りながら竹內君の凡打に機を逸した帝大軍は濱崎君の巧なドロップに手も足も出ず八回までノーヒットの慘狀で或はこのまゝ押し切られるかと思はれたがそれまでにカーブを使ひすぎ强氣な投球をつゞけて來た濱崎の疲れは八回に入つてから表面化し遂に帝大軍の總攻擊さな…

滿倶の敗因としては二回以後の笠間君の好投と濱崎君の疲勞とをあげ得るがこれを押しつめて行くと滿倶軍は九回濱崎君を交代さすべきの機を失したといへやうし、また第一回片岡君が和田名の二壘打で一擧ホームに突進したことは見逃すことの出來ぬ一つの敗因となつた▲しかし勿論この日の戰ひは滿倶に不運であり野田、緣川兩君は病完全には癒えず近田君また第一回戰で受けた頭部の傷のためベンチにあり、六回濱崎君の好い當りが中堅手に得られた點等充分の同情が拂へる

大連軟式野球 第十日目成績

本社後援大連軟式野球大會第十日(廿日)の成績左の如し

▲CO倶樂部七A—二幡度所
▲消費組合十—〇石炭商組合
▲常盤靑訓一—〇淡路倶樂部
▲電友倶樂部四A—二大連驛

尙廿一日の組合はせは左の如く決定した

▲於伏見臺グラウンド 常盤靑訓對電友倶樂部
▲於商業グラウンド CO倶樂部對SMU倶樂部
▲於二中グラウンド 消費組合A對理學試驗所
▲於一中グラウンド 霞倶樂部對海務局

中等學校野球優勝戰 廿一日午後二時

【大阪二十日發】全國中等學校野球中京商業對嘉義農林の優勝戰は二十一日午後二時擧行する

滿洲大豆飼料化研究所を訪ふ

日本の丁抹愛知縣安城に(下)

◇…安城を中心とする碧海郡は愛知縣下に於て養鷄王國とまで呼ばれ、成鷄羽數六十三萬羽、飼養戶數七千九百十三戶、聚業として居る家が多いのである、その年產卵數は六千九百三十九萬五千三百三十三個、一羽當り百十個を產んでゐる、最も多いのは一羽が一年二百九十個を產むさうな、これによる養鷄全收益は年額二百四十五萬四千圓となつてゐる

◇…畏くも高松宮殿下には昭和四年秋台臨遊ばされ、御奬勵の御言葉あり、又賀陽宮殿下には昭和五年夏、シャム皇兄カンペンペジュル殿下には同年秋、御視察遊ばされた、この事實は土地の人の大きな光榮とするところであつたわれ等は畔飛組合を視察してより郡農會、產業組合、圖書館等を巡察した

◇…中食後われらは安城を中心として二里四方の農村を巡察した。

自動車を飛ばしての甲の村より乙の村へ、養鷄の傍ら、養豚、養牛を兼業させる農家を訪問したのであるが、いまから五十年前は安城ヶ原といふ不毛の山林地、荒地であつたものを、義人都築彌厚翁の献身的努力により、開拓の基礎を成し、岡本兵松、伊與田與八郎氏等の協力により、不良土を掘いて水田となし、今日、田畑二千八百餘町步六萬石を平年作となすに至つた、五十年前四百戶の一寒村は今日四千戶の繁榮の一都市となつてゐる

◇…それは土地の人々が協力一致して山を拓き、用水を開鑿した事に原因する、社會事業の基礎である「人の一生は重荷を負ふて遠き道を行くが如し」といつた德川家康の教訓が、昔から三河武士、三河百姓に至る迄…

…要するに、安城を中心とする碧海郡は、農業を總て合理的にやつてゐる、罪を捨て實を取り、しかも進取的氣鋭に充ち滿ちてゐる

一向具體化しない大連の都市計畫案

道路建物等亂雜となるに鑑み 來月委員會を開く

大連市街百年の大計を樹立せんとする同市の都市計畫に就いては昨春來關東廳にて三浦內務局長を委員長とする都市計畫委員會を設置し同時に本邦斯界の權威者たる京大高井教授を囑託に招聘し土木課と協力して直に研究を開始し更に

本年度に於ては右に關する實地測量費として六萬餘圓を豫算に計上現市街を中心にして附近一帶にわたる精密な地圖の作成に着手し調査中である、併しながら他面大連市の都市計畫を實施するには先づ勅令を以てその施行地に指定するといふ都市計畫令を初め…研究の範圍を出でず實際上には何等役に立たず、從つて又委員會設置以來一年餘になる今日、都市計畫の最初に決定を要する

施行地の範圍、或は市街地區割即ち工業地、商業地、住宅地混合地等の地區乃至は幹線道路公園の計畫等も未だに何等具體的大體案すら得るに至らず遲延してゐることゝは一般に漸く非難の聲があげられつゝあり、現に星ヶ浦、金州街道沿線は目下グン／＼と家屋建ち込み道路計畫など最早手のつけやうもない有樣であるし、地區割の未決定は商業地區となるべき所に工場が設けられたりして都計實施上不都合なることが容救なく行はれてゆくので部內に於ても

至急制定方及び委員會の施行區域、地區割等の決定を要望されてゐる次第であるが、關東廳では九月中旬頃第一回都市計畫委員會を旅順に於て開會し何等か具體的方法を講じる手筈であると

中學競泳會成績 廿二日旅順における

二十日旅順體育プールにて開催された第一回關東州內中等學校男子聯合體育大會水泳部競泳會は夕刊所報後の成績左の如くで千五百米自由型、二百米平泳は共に滿洲新記錄である

▲二百米平泳 一分二十七秒六△二着穗口重雄(大一)△三着大木靜枝(旅一)
▲二百米平泳 △一着金光弘(大商)三分九秒滿洲參考新記錄△二着穗口重雄(大一)△三着藤井平三(旅一)
▲百米背泳 △一着木內四郎(大二)一分二十二秒六△二着仁田隆晴(大一)△三着片山一郎(大一)
▲三百米メドレ、リレー △一着大連一中(穗口、仁田、永山)四分三秒△二着大商(高橋、金光、永田)△三着旅一中(大谷、大木、柳)

大觀小觀

戾日、侮日、排貨、不法、迫害、暴行、虐殺等々▲いろ／＼のあらむ限り日支の關係をしてますく緊張ならしめて居る▲折も折、新聞東軍司令官本莊將軍來任す▲長身瘦軀の將軍の新任を見て…

八相

こんどこそは 公野生

◇本月十七日の滿日夕刊にて詳細に發表されたる參謀本部中村大尉一行遊歷中の死に對して滿蒙の形勢を表すると共に、我關東軍司令部及關東廳當局者に切に希望す

◇我滿洲における支那官民の不法行爲は殆ど每日の如く新聞にて報ぜられ、夫に對する外務當局者の從來の外交交涉は又事每に嚴重なる抗議を提出せるものゝ如く發表されたるも其結果は吾人を滿足せしむること少い

◇外交々涉は吾々素人が考へる如く單純でないことは察せらるゝも、吾等の生命線たるこの滿洲に直接生活を爲す者は從來の外交々涉に少からざる不滿を抱くものである

◇今回中村大尉一行慘殺事件の如き全く痛恨事なり、正當なる手續を經て正當なる方法を以て旅行せるものを、何等の理由なく之を捉へ其上官兵指示の下に殘酷極まる虐殺を爲す等實に激憤に堪へない

◇新聞の報ずるところに依れば、今度こそは、ほんとに今度こそは嚴重なる交涉を開始されたるが如し、就ては吾々は今度こそは其交涉の顚末、要求の內容等其經過を其都度新聞にて發表されん事を希望す從來の如く談片的でなく其經過を具體的に發表されんことを切に希望す

◇新聞の發表に依れば外務、陸軍兩當局者共相當强腰にて交涉するとの事なれば吾々は夫を信頼すると同時に今度こそは吾々の滿足する條件にて解決するだらうことを豫想し、念願し、速かに發表されることを、本件の解決するまで總ての遊行を中止して待つ

投書歡迎 十五行以內 中國は△さらず

市況（廿一日）

株式

內地株變らず 當市閑散

▲後場 內地主力株の大引保合を入れて當市も氣配變らず閑散裡に散會した

錢鈔

標金變らず 鈔票保合

▲定期後場 後場の市場は人氣引立たず標金動かざるため保合閑散裡に引く

商品

綿糸新安値 先物四圓臺

綿糸 大阪三品大引は前場寄に比し期近三圓安中先三圓二、三十錢安の新安値に低落し當市はマバラ筋の小手合せをみた

奧地市況

市場電報

家庭

奥さま教育

流行を追はず、きずや汚を我慢すれば 極く安く手に這入る洋雑品

お買ひ物上手（○）

洋品雑貨、さうしたものゝお買物にも何より大切なのは矢張り品物をよく見ることです、店にならんでゐる品物の殆ど全部が東京製品と大阪製品ですが、概して東京物は製作に親切でその代り多少値段が高くなります

◇…大阪物は なか〳〵見場が いゝかはりに製作は粗雑に出來てゐます、勢ひ東京物が大阪物より體裁は劣るが實用向だといふことになります、といつても大阪物だつて相當の値段を出せば決してそんなものばかりでない事は勿論です、ところで一流の商店と二三流商店の品では大分値段のひらきがありますれ、例へば同じ様な生地を用ひほとんど同じやうなスタイルに仕立た子供服にしても、一流商店の品より二三割も廉く二三流どころの店先に澤山並んでゐます つまり仕入元がちがふのです、仕入元で下手な職人に殆ど稽古用として縫はした品ですから當然やすい筈です、ですからちやんと恰好よく氣持よく着やうとすれば多少値が高くとも相當の店で買つた方がいゝのです、よく「丈は充分だが身幅が足りない」とか「肩のところがダブ〳〵で氣持ちがわるい」といふのはこんな

◇…稽古用に 縫つた品物に 多いのです、でも多少は恰好がわるくてもやすい方がといふのでしたら、あまり店を張らない、廣告費などに多額の金をつかはない二流、三流の店で結構です、そして充分手にとつて見て品質を吟味して、體裁なんかかまはないから身につけるものだつたら着て見る位にするんです、アンダーシャツだの子供の通學用の靴下だのグロースだのだつたら何も一流商店を選ぶほどのものでもありません、しかし洋服やシャツ類だつたら家へかへつて釦をつけかへる位の手數はかける必要がありませう、更に夜店物で間に合はす場合にはなほ更この邊の手入が大切です、さいへば一流商店では

◇…安い物は 手に入らぬか さいへばそんな事もありません、却つて大變割のいゝ特價品、奉仕品などゝいふのがあります、こんな店の特價品でしたら夜店物のやうにつかまされる心配は先づありますまい、でどんな時割引をするかといひますと、仕入がすぎた場合、向きがわるい時・或は一寸よごしたりきずになつた時に特價品として二三割から時によると五割以上も値引して店に出すのです、今ですと婦人帽、子供帽、カン〳〵帽、婦人子供服、ネクタイといふやうな一定の時期がすぎると著るしく商品の價値を落したり又は全く價値を失つたりするやうなもの（流行とか色が變るとかによつて）に思ひ切つた特價品を見ることがあります

いつもよく新聞廣告やチラシなどに氣をつけて、割引賣出しや特價品賣出をはじめると毎度かゝさぬやうに見にいらつしやる方があります、澤山の品物をずいぶん熱心にごらんになつて一寸流行におくれた上等の品や、少しよごれてゐる立派なものなどをずい分安く買つていらつしやる奥様がおありです、ほんとに少しの流行おくれで我慢なさる方ならどの店にだつて相當立派な特價品が少くないでせう、ここに一寸手垢がついたりきづがあつたりする物なんか店では思ひ切つてお安くしてくれがつてゐるのですからずいぶんお徳用なんですがれ、で

◇…お上手な 奥様になり ますと夏には春物を、秋になると夏物をといふやうに時期おくれの物を殆んど三分の一位のれだんで買つていらつしやる方がありますが、ずい分世帯もちのいゝ奥様とひそかに感心してをります ある洋品店の女主人はかう語つてくれました

フランクリンの受取りが 四百五十弗

リンコルンの手紙は三百弗臺 米國名士のサインの値段

生存して居る人、或ひは故人となつた名士の署名と云ふものは世界各國共に珍重せらるゝものと見えて、五弗から數百弗間の價値を保存して居るといはれてゐます、これ等のものが古い時代の人々のものに就いてはどういふ風に世の中に出て來るかと云ふ事を考へて見ると、物置等の中に永らくの間他の書類と一緒に保たれて居つたものが掘り出されて來たものが一番多いので、或種類のものになるとその有名なる人の家に一代の間は保存せられて居つたものが子々孫々に傳へられて、遂にそれがその道の商人の手に這入り揚句の果にはさう云ふ種類のものゝコレクションをする人の手に這入るのです

就中 その出所が明かであるものは、その價格もまた從つて高くなるわけで其の道の商人の鑒識を見ると現大統領のサインの數弗程度のものから歴代の大統領或ひはイギリスのクイン・ビクトリヤ等のもの迄も登録にのつてゐるといふのです、そしてその値段といふものは其の人の贏ち得たる地位の程度にも關係するし又別の方からはその人の署名が滅多に無いといふ事にも關係し、時によればその書かれて居る書類の形式或は文章或は手紙の内容も關係する事になります、例へばルーズヴェルト大統領の署名の如きはその形式如何によつて五弗から七十五弗位の間、ジョン・アダムスに依つて書かれたる歴史的の

文書 は二百七十五弗、ベンジャミン・フランクリンが千四百册のドイツ書を受取つた受取の如きは四百五十弗、アブラハム・リンコルンの手紙でゼネラルバンサイドに送つた手紙の如きは三百七十五弗の定價がつけられて居ると云ふ事です

簡單に出來るシャーベット

卵の白味と果實汁とで作つた淡白なデザートです、アイスクリーム機械があれば簡單に出來ますからお試み下さい

▲材料 卵白四ケ分、鑵詰パイナップル汁一合、湯ざまし一合、砂糖大匙一杯

▲拵へ方 卵白を泡立器でよく掻き廻し十分泡を立てゝおきます パイナップル汁、湯ざまし、砂糖をよく混ぜ合せたものにさきに泡立てた卵白も一しよにしてアイスクリーム機械にかけて三十分程廻します、固まりましたら涼しげな硝子器にもつてすゝめます

○—すーい〳〵 オールに銀波漂ふ

母のために童話を語る（三）

政本いさむ

猿とうさぎ

幼稚園の子供に先生がこんな話をしたさうです

一匹の猿が山の中を歩いてゐました。お腹がすいてゐるので、何か食べ物を探してゐました。可愛い兎の子がお母さんのそばからはなれて獨りで遊びに出てゐました。川がありました。そこに長い一本橋がかゝつてゐました。猿はふら〳〵とその橋にさしかゝりました。兎の子も反對がはから橋にさしかゝりました。

二匹はちつとも知らずに橋を渡りかけました。橋の眞ン中で兎と猿がばつたり出會ひました。兎が吃驚しました、猿はパクッと兎をたべてしまひました。すると子供が二三人ワアンと泣き出したさうです。先生は吃驚しました。實は出鱈目にこんな話をしてゐたのださうです。さあ困つてしまつて、まさか今のはうそだともいへず、一生懸命子供をなだめたり、すかしたりしても、どうしても泣きやまないで、ほと〳〵困つてしまつたといふ話を聞きました。

子供の世界はそれほど純眞です。大人の鈍つた神經の前には何でもないことが子供には眞劍に受け入れられるのです。子供はお話の中に這入つてしまつて兎になり切つて聞いてゐるのです。犬ころを見ても、お月さんを見ても、それをみんなお友達として見てゐます。子供の目にはこの宇宙の森羅萬象、木も草も雀も家も石も月も星も犬も猫もすべてが自分に呼びかけてゐるやうに感じてゐるのです。

虹の橋渡ろ
手々ひいて渡ろ

子供の心は本當に虹の橋を渡つてゐるのです。子供は大人を小さくしたものではありません。子供は子供獨特の別個の世界に住んでゐるのです。

童話について

そこに教育の重大性があります。そんな純眞な子供をどう育てゝ行くべきかといふことになります。

「なに子供はほつて置けば何とかなるよ」

いや、さうぢやありません。私は幾人かの女中を使つて見ました中で、無論それはよくない家庭から流れ出されたものが多かつたとは外に幾多原因もありませうが、それ等の子供を見て、家庭教育によつて作り上げられた性質はもはや十四五にもなれば、どうすることも出來ない程根強く第二の性質を作つてしまつてゐることを感じます

お話が横道にはいりました。本道へ戻して、子供に與へる童話について考へてみます。面白い話もいい、お伽噺もいいが然し本當に子供の美的情操を、美しい心情の世界を培つてやるものは、どうしても子供の生活にぴつたりしたものから材料をとつた、人生の何物かを暗示したものでありたいと願ひます。子供は案外敏感であります。本當にいゝ童話といふものは未明さんのいつてゐられるやうに、子供に讀まれてよいものであるばかりでなく、大人が讀んでも或響きを感ずるものでなければなりません。そこに從來のお伽噺の世界から一歩レベルを上げて現代文學の中に詩や小説や劇と肩を並べて確固たる位置を占めるやうになつたわけであります。童話は我々の人生の中から童話になる部分をぬき出したものであります。人生に何のかゝはりもない何の暗示も受られないものは文學としての價値に乏しいものといつてよいでせう。

現代童話作家の中では小川未明さんがどういつても第一人者でせうそれから永谷まさる、濱田廣介、千葉省三、こんな作家のものは本當に私達の狙つてゐる童話です。こんな人たちの童話の中から選んで子供に話して聞かせるやうにお勧めいたします。子供はお母さんのお話を聞きながら眠つて行く、眠り出してもお母さんはやつぱりお話をつゞけて行つて下さい。

潛在意識の中に受ける影響が覺醒中のそれよりも却て強い潛在力となつて殘つて行くものだといふことは或心理學者の研究の結果ださうです。映畫が如何に盛になつてもそれは大人のものです。本當に子供のための映畫が、劇が、芝居が、童話が、もつと〳〵我國に起らなければならないと思ひます（をはり）

滿日各地版

滿鐵中間驛を襲擊 社員を人質に拉去
不況で兇暴性を帶びてきた馬賊 大膽な計畫を目論む

【長春】本シーズンに於ける全滿各地の馬賊の猖獗は最近見ない猛烈さで日支人を問はず不安は其極に達してゐるがこの匪賊に直接關係を有する各地警察官の警戒は轉ろ餘りにも悲壯を極めてゐる殊に本年の馬賊は銀安と不況から驚くべき小額の金までさらへる手段がゐるかと思へば金を持たない百姓など最初から目もくれず堂々と日本人を人質に拉致するとか四洮鐵路局に巨額の要求をなすとか容れられざれば運行列車の顚覆を圖るとか、一市街地を占領せんと襲ふとかその兇暴は想像も許さぬものもある殊に最近傳へられる噂としては相當數の賊團は南滿沿線の中間小驛を襲擊して驛長乃至助役その他を人質に拉致し多額の金品を滿鐵に要求するといふ情報である、中間驛の襲擊は最も易々たるもので驛の賣上金などは差してある譯でもあるまいし結局社員を人質に拉致しようといふ作戰なるもの、如きであるため　間小驛の勤務者は此際特に警戒注意すべきであらう、匪賊が日本人の人質拉致に着眼し來つたことは新らしい戰術でこれも銀安の原因からであらうと見られてゐる

身代金三千圓を橫取りさる
氣の毒な大倉組の二人

【四平街】去る七月三十一日午前十時鄭家屯を距る西方一里の地點遼河架橋中にある大倉組員三橋、山田の兩氏を人質に拉去し同贖金五千圓を要求し來りたるは其當時報道せるが爾來前記兩氏の昵懇者は大倉組と共にこれが救ひ出しに萬策を盡して馬賊團に交涉中であつたが結局同贖金三千圓を提供することに話が纏まり去る十八日大倉組員は當地竹村洋行にて前記の三千圓を借り受け馬賊が指定せる場所である鄭家屯附近に攜行し二名の人質の身柄を引取るべく之を手交し一刻千秋の思ひで待てど暮せど一向それらしき模樣なく不審焦慮のあまり能く聞き糺せば三千圓を受取つた者は馬賊仲間の者でなく剩つさへ共者は其場より何れにか行方を晦ましたと傳へられてゐる、尚三橋山田の兩氏の消息を仄聞するに身體の自由を奪ふために兩腕を緊縛し剩つさへ食物は可なりこの旱天に碌々水も與へぬので兩氏は極度に衰弱し氣息奄々漸く生命を繋いでゐるといふことである明日と涯しなき曠野を轉々する毎に引ずられ行くので膝關節以下の肌は皮膚破れ血に染まる肉が露出し、屎尿に塗れて臭氣を放ちトテも近寄れぬほど變り果てゝゐるといふことである

公安局で馬賊を掩護

【大石橋】十九日大石橋警察署員が海城縣公安局員より聞知したる處に依れば近時海城縣第十區（馬圈屯）管内には匪賊の跳梁橫行甚だしく被害事件頻發し居るに拘はらず未だ曾て之を檢擧したる事例なきのみならず搜査警戒に關し同管内居住民より兎角の風評あるを以て縣公安局に於ては同分局長以下の行動に不審を抱き注意中のところ偶々本月十日同分局前の雜穀商に匪賊侵入し被害者より急報に接したるにも拘らず直に之が逮捕に赴かざりしのみならず引續き爾後の搜査をなさゞるを以て縣公安局に於て嚴重調査したる結果該分局長（警察分署長）は窃に匪賊團と密通連絡し匪賊團より金品の贈與を受け之が保護援助を爲しつゝある事判明したるを以て縣公安局長は部下六十名を率ゐ去る十七日同分局長以下逮捕に向つた

其後の馬賊被害

【公主嶺】公主嶺の西方六支里懷德小孤楡樹居住農閔方に十八日の午前二時頭目戰山好の率ゆる四十名の馬賊團來襲周壁を乘越え屋内に闖入金品を強奪し人質一名を拉去逃走　夜遼家河口の農黃方に一泊翌朝遼河口を渡渉梨樹縣に潛入の一方同日午後十一時葦子溝に於て討伐の軍隊を全滅し逃走した東洋の率ゆる五十名の賊團は同地の豪農董方を襲ひ家人を威嚇食事を命じ翌朝四時出發に際し董の長男を人質として拉去逃走した

馬賊船を襲ふ

【遼陽】遼陽太子河から營口に編成號の運搬船が綿布と雜貨を積み之に護衛として營口河防警隊劉班長以下兵士十二名が乘組下降中十九日午前十一時ごろ城西夾信子附近に差掛つた時匪賊の頭目双陽以下二十餘名の一團現はれ陸と船中とで交戰した結果兵士二名負傷遂に官兵は武裝を解除されたる上班長以下の攜帶せる長銃十二挺モーゼル二挺彈丸數百發綿布雜貨類價格數千元を掠奪されたと

九人組の馬賊

【長春】十八日午後十時半頃大屯附屬地を南方四丁を距る農業某方の瓜畑に九人組の馬賊現はれ瓜の提供を迫つたが番人は賣出した瓜ばかりで熟したもののない旨を告げると賊は番人を毆打して逃走・附屬地を襲ふ計畫の賊團ではなかつたかと目下嚴重警戒中

撫順の馬賊

【撫順】高粱繁茂期に跳梁する強盜——十八日午後十一時支那町新立街野菜商彭萬善（四五）方に大型拳銃所持の三名組強盜表戸を破壞侵入現大洋二百三十元外金品十一點時價金換算三百五十圓のものを強奪逃走
十九日午前十一時二十分大山坑南方十八町の農王秀軒（五一）同崔鳳林（四五）同云鶴有（六八）方を矢繼早に五名組強盜襲ひ金品強奪犯人不明

正に降伏仕り候
撫順永安臺弓術道場に燦然と輝くふるつた額

【撫順】撫順永安臺弓術道場に振つた額が兩日前より燦然と光つてゐる、曰く

降伏狀

第一回對抗競射會に於て正に降伏仕り候

昭和六年八月十六日

於撫順道場、奉天選手

川原、落合、小林、西尾、有田、瀧澤、尾坂、中山、高島、小森、青木、岡野、久保

撫順選手殿

右は奉撫弓界の精鋭をすぐつた對抗競射會を去る十六日開くに當り優勝旗の爭奪位じやそれが何れに歸してもピリツと來ない依つて負けた方は男として最大の恥辱降伏狀を書くことにしようと相談一決同十二時より「二十射競射」により輸贏を爭つた結果奉軍利あらず百五十三點對百五十九點で惜敗したるため血涙を絞つて前記降伏狀を撫軍に贈つたものである、當日兩軍の成績左の如し

奉天軍（計一五三）

奉軍	得點
川原	11
落合	10
小林	14
西尾	14
有田	9
瀧澤	8
尾坂	5
中山	15
高島	4
[illegible]	15
小森	14
青木	10
岡野	9
久保	15

撫順軍（計一五九）

撫軍	得點
岩松	13
長濱	13
坂井	15
井手	11
藤吉	11
稻宮	11
岡崎	17
藤田	13
花田	7
甲斐	11
原山	9
渡邊	9
橋口	15
宮原	4

自家用米に納税を強要

【鐵嶺】昌圖縣下八面城居住邦人小辻卯之吉は數日前知人數名と共同して安東より白米五俵を購入し驛から各戶に配付すべく稅捐局前を通過したところ局員は右白米を商品なりとし稅金の納付を強要したが小辻は日本人であり且つ白米は商品でなく自家用米なることを述べて一先づ歸宅したるところ更に稅捐局から態度強硬に稅金納付を強要して來たので何の稅金やら譯が判らず同地警官出張所に屆出で領事館の指示を仰いで來た、日本官憲としては斯かる問題は承認すべき筋合のものでなく當然蹴つける方針らしいが詳細不明の爲め調査復命を促した、八面城在住邦人は支那側の態度強硬なるに驚いてゐる

開原城壁を修繕
一般から寄附金募集

（鐵嶺）開原城の城壁は數年前より破損するに委せて警備上頗る不利を感じてゐたが不況の折柄とて修築費の捻出方法なく今日に至つたが今年は各地に匪賊の出沒甚だしく開原縣下の被害も少からぬので警備充實上から見ても是非本年は改修したいとあつて十七日尹公安隊長は有力者を召集協議の結果一般から寄附金を募つて改修工事に着手する事になつたと

慘殺死體
長春鐵北で

【長春】二十日午前五時四十五分ころ通行中の一支那人が和泉町派出所に死體ある旨を屆出たため同派出所吉原巡査が現場に臨檢したるに鐵道北三不管（日露支三國の緩衝地帶たりし時代から支那人稱して三不管（現在は支那不良分子の巣窟）西方草中に頭部へ九ケ所の負傷箇所あり胸部露出、耳落ち右手拇指を殘して他全部は第二關節より切落され右背部に一ケ所切りつけられた死體あり相當抵抗したもの、如く死後既に三日間餘を經過したものと思料され二十二三歲の苦力體のものだが遺恨による殺人視されてゐると

電燈料保證金撤廢の運動
安東鮮人から要望

【安東】安東在住朝鮮人に對しては沿線各地の例に倣つて南滿電氣安東支店は點燈申込者に對し電燈料支拂に對する保證金として二ケ月分の電燈料相當額を前納せしめつゝあつた爲めそれが撤廢に就ては從來よりも寄り／＼協議が進められて居た處今回虎賢氏が會長就任以來全滿各地に亘つて保證金前納の有無を調査したる結果奉天に於ては本年一月以來これを撤廢しつゝある事實が明瞭となつた爲め安東朝鮮人會は去る十四日金會長の名を以て電氣會社支店宛

一、日本人中より朝鮮人を差別すべき理由なし

二、最近朝鮮人の需要增加し料金支拂も往年の比でない

三、朝鮮人の滿洲進出助長は日本の經濟上重要である以上斯くした朝鮮人に對する差別扱は國是に反する事

四、奉天は既に一月以來保證金制度を撤廢した事

等の四項を掲げて保證金の至急撤廢方に就き要望を爲す處あつたが右に就き電氣會社に於ても朝鮮人會の主張を極めて妥當なるものと認めたるが如く目下之れが調査を進めてゐると

綠樹鬱蒼として涼味豐かな仙境
晩夏の金州響水寺

【金州】地獄の樣な灼熱に苦みながらも朝晩さつと吹く秋色の涼風は鈍つた活動力を容易に甦がへらしては居るものゝまだ／＼日中の暑熱から脫出することは出來ない、海に山に涼地を漁る群は近ごろ續々として郊外の金州を訪れる、本社でも廿三日には苹果デーを催して疲れた大連人のために一日の行樂をほしいまゝにするチャンスを與へ

金州側 でも双手を廣げて待つてゐる、海に山に……渤海と黃海とを目の邊に見下して昔日の激戰を偲びつゝ南山の英靈を弔ひ圓熟する山麓の苹果を觀賞して金州城、三崎山の古蹟、名所を巡觀するのは最も有意義であるが、之れを今少し延長して大和尚山に馬車を向け四圍の綠草木、展開さるゝ淡々たる流れの山谷を通り拔けて仙境の響水寺を訪ることは金州に涼を求めピクニックをする客の最も味はふべき事であらう、鬱蒼たる綠樹と險阻な溪谷とは分け入つて陰涼を探るに十分であり、山間を流るゝ豐富なる

淡水と これを集むる三百坪を超ゆる一大プールは現實に涼味を喫ることが出來る　恐らく全滿をしてこれ以上の涼場を見出すことは出來まい、而も往復の馬車賃が一圓二十錢の廉價である、殊に二十三日一日のみでない、秋色深まるに付けて溪谷の綠樹は紅葉して正に紅葉狩の適地として他に類を見ない、行けよ大和尚山に響水寺に

釣りの旅順（四）
寒河汀生

◎一竿を肩にして岩から岩へ渡り步き、時には竿を弓のやうにたわめながら、水ぎわに躍る銀鱗にほくそ笑むのも、舟釣りとは違つた一種の趣がある、場所は岩や藻のある處なら何れも可い

四、陸釣り

アカシヤの花咲く頃の上げ潮の夜には、產卵に來るメバル、アブラメの相當のものが、港内の波止場でも釣れる。

◎矢張りアカシヤの花の頃から炎暑の訪れる前迄に、旅順運動場のプールの前で、二歲、三歲のチヌが釣れる、上げ潮の一時間か一時間半の間、多い時は十尾位揚るので、關東軍司令部の釣りファンが大押しかけ、今年は餌賣りにいや迄出張する騷ぎであつた　引潮も喰はない事はないが數は少い、時にはボラや石カレヒの子も揚る、よくフグが邪魔をするが、チヌ釣にフグは付き物だから仕方がない、フグとチヌでは當りが違ふから、フグが當つたら躊躇なく糸を揚げる事だ、うつちやつて置けばどうせ餌はとられるし、時々は鉤迄ブツリとやられて了ふ。

五、ボラ釣り

◎其昔、ロシヤから日本の手に移つた頃の旅順はボラの名所と謂へた程に、港内到る處にボラが群れ黑い背を見せ、殊に冬期の東港内はボラの冬眠地で、日を定めて海軍側が旅大名士をボラ釣に招き、深い井戶につるべの落ちた時に用ゐる樣なかぎを東港内に投げ込んでは引ツ張りさへすれば、一尺四五寸から二尺と云ふ大ボラを、一人で五十も六十も揚げたものだと云ふ。

◎それが大正四五年頃からまるで寄らなくなつた、それ迄は旅順の町で東港内のボラ獲りの權利を握つてゐて、特定の漁夫に步合を與へてボラ漁をやり、年收二萬圓もあつたものだといふ、其財源を失つた旅順は頗る狼狽して原因を調査したが判らない、宅島氏の話によると大正三年に東港内のボラが殊に多く、網を入れたところがボラの密集隊が折り重なつて網が動かない、四五日待つたが揚らない、潛水夫を入れて見るとボラが餘りに密集し過ぎて下積になつた奴は死んでゐると云ふ騷ぎ

◎さうく網は海軍がやかましく云ふので切ツて了ツたが、それ以來連日死んだボラが續々に浮いて東港内が白くなつたと云ふ、越えて大正四年の二月頃、旅順未曾有の酷寒で東港内が結氷に閉ざされ、氷の中に何萬と云ふボラが凍死した事があるのでそれ以來ボラ仲間に東港は危險區域とされるに至つたのではないかと云ふ事である。

◎併し夏から秋へかけて、現今でも橋の上から滿潮時をねらひ投網で五六寸から七八寸のいな（ボラの子）をピク一杯とる位は何でもない、尤もそれは網の領分だから釣の方に戻るが、上げ潮の早朝を第一として、總じて未明から旭日のなほ低い間、稀にボラの大群に出會はすと、一尺四五寸位のを四五十釣つて、無論ピクには入らず、荒繩で口を通してかついで歸るやうな事がある、筆者は只一度斯樣な快擧を見た事がある。

◎秋のチヌ釣りにも曇つた日には港内でチヌ釣にボラの來る事がよくある、勿論細い糸で揚げるのは困難だが、上手にたま網を使へば逃さずに濟む、凡そ釣りにたまの用意を怠る事は、みすく大物を逸する不覺を忍ばねばならぬ事である

日滿陸路貿易 通關事務改善

【安東】安東に於ける日滿陸路貿易上の通關事務は頗る重要なる役目を爲してゐるが從來輸送上の見解と通關上の見解に就いては往々意見の相違を來たす事あり其の原因は相互事務の連絡上に就て缺くる處あるは謂ふ迄もなく斯ては日に不況に傾きつゝある日滿貿易上甚だ遺憾とされ、これが打開に就いては種々講究されつゝあつたが要は稅關、鐵道兩事務の連絡を密にするにありとの見地から今回新義州稅關安東派出所長佐々木三雄氏を鐵道局書記として兼務せしめる事となつた、これに依つて將來稅關鐵道兩者の連絡も極めて密接となり通關事務上に就ても一新機軸を出すものと期待されてゐる

水稻の大豐作 撫順縣下作況

【撫順】撫順縣下水稻の大豐作―最近の調査に依る本年縣下水稻作付反別は實に二千町歩例年は旱魃に禍され水喧嘩枯死水田龜裂等の悲劇を隨所に惹起してゐたが本年は降雨量極めて多く現在の狀態では三割方增收の見込早きは開花し他も悉く穗朶九月半には早くも新米が市場に出る見込で農夫連は日鮮支國境を超越何れも惠比須顏である

支那記者視察

【長春】上海の申時電訊社主催東北觀察團一行、上海時事新報記者何西亞、上海英文大陸報記者鄭鈞、上海申時電訊社記者黄天鵬三名中何西亞、鄭鈞兩記者は二十日十三時着列車で奉天より來長、城内大東報記者に迎へられ城内四馬路長春旅館（支那宿）に入つたが右兩人は長春支那官邊各方面を訪問萬寶山事件を調査し奉天に病氣のため遲れてゐる鄭鈞を待合せ吉林、哈爾濱に赴き對日情況を調査する筈だと

北部庭球大會 出場選手決定

【金州】來る三十日普蘭店に於て行はれる本社三支局主催の州内北部庭球大會に出場する金州軍のメムバーは左の通り決定したが、必勝の意氣物凄く連日内外組コートに於て猛練習を續けてゐる尚左の順位に依り七組だけ出場の筈
一（高見・川人）二（中原・楠美）三（辰田・鹽田）四（竹氏・[?]原）
五（鶴見・岩切）六（中村・藤井）七（太田・福田）八（石・鈴）
九（畔柳・阪成）一〇（浜田・秋山）一一（森花・戸上）

豚コレラ發生

【鐵嶺】數日前新臺子附屬地に於て豚コレラ發生し二頭を撲殺三十餘頭を隔離し應急豫防策を講じたが更に別の農家飼育豚がコレラに罹り二頭撲殺し三十餘頭を隔離大消毒を行ひたるが蔓延の兆あり警戒中で傳染系統は不明である

三地水上競技

【鐵嶺】兼て協議中であつた鐵嶺、四公對抗水泳大會は公主嶺がプールの設備なき爲め參加不能らしきも開原四平街とは略協定が成立したので來る二十三日當地プールに於て鐵開四の對抗競泳會を開催するさ

中村大尉追悼會

【鐵嶺】北滿旅行中支那兵の手に虐殺された中村大尉と井杉延太郎氏の爲めに追悼會を鐵嶺在鄕軍人有志の中に計畫が進められて居る

公主嶺

野球リーグ戰

公主嶺體育協會野球部のリーグ戰は連日ファンを熱狂させつゝある各チーム奮鬪の成績は左の如くである
十七日　地方部九―四對軍隊
十八日　實業一四―三對鐵道
十九日　地方部四―〇對殖產

見・聞・一束

△長春に於ける野菜行商人の不賣に對し公主嶺農業實習所は一千二百貫の各種野菜を急送した
△滿蒙の雲行は逐日險惡となり匪賊の慘害支那兵暴行事件等頻發の昨今當地に些に事故なきは日支官憲の努力により安全地帶の聲を高めた
△地委改選の運動期に近づいたが嵐の前の靜けさと一般頗る冷靜選擧人名簿を見に行つたものもないと
△市街の西北端ロシヤ墓の北方僅かに數丁の高粱畑に約七十名よりなる馬賊の一團が移動してゐるとの流言に附近の農民は極度の恐怖に囚はれ容易に外出出來ぬと
△四平街に開催の州外相撲大會に當地のチームに書入れの兵士の出場が出來ぬのでファンの失望主催者側も重點の軍隊にないたのでこれまた失望さある
△十二日より開始した野球のリーグ戰に各旗亭のスポーツ藝妓連は開戰前よりグラウンドに詰掛け金切聲の應援は遠慮してゐるが大和の〇子は某君の男性美にポーツとなり公園の稻荷に日參油揚を供へ連勝を祈つてゐるさ
郞雀の發見

四平街

五月信子一行

ヴァンプ女優として夙に名聲ある五月信子、高橋義信の率ゐる近代座一行六十餘名は全滿巡演すべく大連上陸以來大連、奉天、長春において異常な好成績を收めて居るが尚四平街にも愈々二十四日來四當日一日限り午後六時より劇場に於て滿鐵勞務課、四洮新聞社後援の許に公演することは決定した當地にての公演は此度が初めにて稀に見る熱と座員の充實したる大一座とて市井の前人氣を極度に煽つて居るが開演當日は定めし大入滿員を呈するものと見られて居る當夜の演出は先づプロローグとして音羽六藏氏作スポーツナンセンス「野球狂時代」中幕には得意の毒婦劇土師清二氏作「藏前お瀧」を上演して大切に今回の呼物たる現代悲劇「女給」を上演し觀客をして心憎さ迄に魅了せずには置かないであらう尚入場料は階下二圓、階上一圓五十錢、軍人學生八十錢、小人四十錢なるも滿鐵側は後拂入場券市中側は四洮新聞愛讀者に限り刷込割引券を利用されれば特に階下一圓五十錢階上一圓に割引するさ

鐵嶺

地方事務所

鐵嶺地方事務所では既報の如く工事係の新編入で事務室の配置を變更し階下は地方係、會計係、工事係と階上は所長室、庶務係とし電話も左記の如く變更した
所長室公衆三九七番、庶務係公衆四六六番、社内五八番、階下公衆三〇七番、社内六番、三九番、二七番

鐵嶺雜聞

◇鐵嶺少年團は前團長濱寄準次郎氏近く離鐵されるにつき二十日午後一時より小學校講堂に於て可愛い送別茶話會を開き前團長の盡力を謝した
◇前地方事務所長濱寄準次郎氏は近く大連に引揚げの由につき親しき者達相寄り二十二日午後六時半から松花ホテルで別盃を酌むにつき贊成者は出席されたいさ
◇來る二十三日滿鐵グラウンドに於て擧行する鐵嶺日支對抗陸上競技兩軍メムバーは二十日發表したるが鐵嶺軍は[?]中抗戰の陣容と同樣で支那側は奉天から學生連が大分參加するやうであるさ

安東

市民運動會

滿鐵關係及び市民合同の大運動會は一昨年六道溝トラックに於て盛大に開催されたが昨年は經費其他の關係で滿鐵側のみにて擧行したが新任多田地方事務所長着任するや本年は是非沈滯せる市民の士氣を鼓舞すべく滿鐵、市民合同の大運動會を擧行すべく寄々協議を進めて居たが二十日午後一時から安東俱樂部に於て地方委員、區長、土建關係者、滿鐵箇所長等一同集合し秋季大運動會開催の件につき協議をなした期日は來る九月二十日の日曜日の豫定にて經費は一昨年同樣一千五百圓見當とし六百圓は滿鐵及び市民側が各擔し殘餘の三百圓は安東運動協會より支出することゝなつてゐる模樣であるが此の外某方面よりの補助あるさ見られてゐるから一昨年以上に盛大なる大運動會が開催されるものと觀られてゐる

三氏の歡迎會

新任多田地方事務所長、千葉安東驛長、藏重安東守備隊長三氏の歡迎會は十八日午後六時半から安東公會堂ホールに於て開催された、一同着席するや大津地委議長の發起者を代表せる歡迎の辭あり之に對し多田新所長、千葉、藏重二氏を代表して謝辭を述べ宴に移つたが遊南兩地の美妓酒間を斡旋非常な盛會裡に午後七時四十分頃撤宴した

鞍山

御寶物奉安祭

鞍山神社では伊勢神宮撤下御神物の奉安祭を廿三日午前十時より執行すべく準備中であるが御物は汽船の都合で一日遲れとなり二十一日急行にて梶野神職三宅氏子總代奉戴して歸鞍した

二警官を表彰

鞍山警察署北六番町警官派出所詰鳥越巡査及び藤巡捕は去る十七日鐵西市場附近に於て匪賊と交戰一名を射殺一名に重傷を負はせ被害を防止し治安保持の職責を全うしたので松木署長から金一封を贈り表彰したが中谷警務局長は左の感狀に金一封を添へて贈つた
鳥越巡査等の勇敢機敏なる行動に依り管内に潛入せる賊一名を射殺し續いて一名を逮捕し被害を防止し治安保持の職責を盡したることこれを喜ぶ、藤巡査の負傷は同情に堪へず厚き手當を乞ふ

豆ゴルフ競技

鞍山みどり會では二十六日午後四時より赤城町ベビーゴルフ場に於て競技會を開催するさ會員出場希望者は會費五十錢當日持參參加されたしさ、賞品は一等より八等まで授與し[?]賞三等までさ

實靑役員會

鞍山實業青年團では十九日午後七時より實業會堂に於て役員會を開き左記の件を協議した
一、市民射擊會開催の件
一、御神寶奉迎の件
一、鞍山神社秋季大祭神輿かつぎの件

四氏の送別會

鞍山滿鐵醫院では今回四平街滿鐵醫院庶務長に榮轉する岩堀恕吉氏及び撫順滿鐵醫院皮膚科醫長に榮轉する岩永清氏は家事の都合により辭職した内科醫長石川[?]二氏並に事の八畝田龜吉氏の四氏のため廿二日午後五時より三階廣間において一大送別宴を開催するさ

遼陽

活動寫眞會

滿鐵庭球部は經費難で腕は鳴つても充分の活躍が出來ぬので社會係が主催となり廿一日夜テニスコートで活動寫眞會を催した

白塔だより

振興期成會が振興策を募集して居るが、文章等飾るに及ばず理想に走らぬ實行性のある提議を希望すさ▲振興策は種々あるが需要供給の調節が急務中の急だとの意見もあるがそれ然らば何職が何戶、職業が何戶過多に依つて去つて下さいとは云ひ得ぬ譯やはり何とか方法を講ぜねばさ尤もな話▲自主同盟、國粹會支部設置もよろし誰か一番奮發して呉れる有志はないものか▲遼陽が他地に立後れするのも[?]はあつても近所近邊に遠慮氣兼れするからだ遠慮は退嬰を意味するさ云つてる人もある

熊岳城

選擧人名簿

當地方區に於ける地方委員及び豫備委員の改選期日もいよいよ來る十月三日に決定したので其の選擧人名簿の縱覽を二十日より同二十四日まで五日間午前十時より午後四時までの間に行ふ事となつた、地方區長も若手に交代し大いに其の能率を增進しつゝある時代に際し今將に地方委員及其の豫備委員の改選に當り新進有爲の委員選出を希望する向き多く既に下馬評に上つて居る人々もあるらしく新舊顏の奮戰も豫想せられてゐる[?]が自ら進んで年來の抱負を實行に移し衰微への一路を辿る地方發展策の根本義建直しを行ふは時代の要求に添ふ民衆の渴望である。大いに古きも新しきも一丸となり無上の選良を出す事に努力するは實に喜ばしい現象である

劍道稽古開始

當地劍道部にては十八日より時節柄大いに士氣を鼓吹すべく劍道稽古を開始したが每火、木、土の三日宛クラブ道場に於て猛練習を開始し九月九日の當地神社祭禮には劍道の奉納をなす由、因に同練習期間に於て多數出席を希望し一般の參觀應援を望んでゐる

旅順

時局演說大會

最近日支間の紛擾頻々として起り我が邦人に對する侮辱的行爲益々甚しからんとしてゐるので青年聯盟旅順支部幹事は十九日午後七時から乃木町庶民金組に集合協議の結果市民有志もこれに合流し來る二十七日午後七時から昭和園に於て中村大尉虐殺事件、青島邦人[?]問題其他を始め尚官吏加俸減額問題に對し批判大演說會を開催する事に決定した

昭和園問題

旅順市役所では曩に昭和園以下料金低減の件に就き内田境兩氏より陳情する處があつたので市理事者に於ても各關係議員と協議の結果好意を以て愼重研究[?]考慮を爲す事となつてゐた處別添たる松永新七、[?]太郎、瀧作藏一、有地武夫の諸氏連名にて廿日正式に從來の價の條件にて貸下方出願に及んだ爲め[?]山助役は同日午後一時內田境兩氏を招致し意嚮を質す處ありたるが近く關係議員の招集を求めこれが態度を決定する筈であるさ

無苦茶な男

二十日午前二時過ぎ旅順市鯰島町[?]派出所へ四五號人力車夫がワア〳〵泣き乍ら一人の邦人泥醉客を乘せ保護を願出たので詰合の長谷部巡査が取調べると車上の男は飛び下りるや否や長谷部巡査の右胸部を突きあらゆる暴言を吐き侮蔑を與へたので尚も說諭中車夫を毆打するやら手に餘る處へ山口巡査も來合せた處今度は山口巡査に喰つてかゝり罵詈暴言亂暴を働くので遂に檢束されたがこの勇敢な男は山口縣人にて現住所大連美濃町七一時計貴金屬商村出明人（三〇）で翌朝瀨戶口保安係から目の玉の飛び出る程叱責された

古新聞應用講習

各家庭でも持合せのある古新聞紙で盆景ショーウインドの裝飾、床飾又は花生等にも頗る妙である古新聞應用の盆景講習會が生れた講師は民政署の富山華畝講伯で氏獨特の考案になる面白いもので來る三十日午前八時から正午まで驛前の日濟寺で行はれるが會費は二圓で廿七日が申込期日の締切朝日町一ノ三〇富山氏宛申込むさよろしい因に習得は最も簡單で應用次第によつてはなか〳〵趣味のあるものである

黄金臺

◇戰跡見學者供給馬車賃金に關し市役所では二十一日午後一時から各關係者の參集を求め協議會を開催する
◇少年團舊市街隊キャンプ生活は愈々二十二日より三日間苗圃に於て行ふ事さ決定した
◇朝鮮總督府警察講習所本科生四十九名は教官引率の下に二十六日午前九時十分着列車で來旅戰跡其他を視察の上午後八時二十分大連に向ふさ
◇旅順ゴルフ俱樂部では二十一日より三日間に亘り本年度優勝盃爭奪競技會を開催二十一、二兩日は午後三時より二十三日は午前九時より開始豫選を行ひ四日午後三時より決勝戰を行ふ筈で本年は竹內、高田、臼井の三氏が優勝候補者と目されてゐる

法院便り

旅順高等法院覆審部では十九日▲鹽田法取締違犯高橋朝克に對し結審の上齋藤辯護人から無罪の辯論あり二十四日判決言渡しと宣し▲貨幣僞造松岡良太郎に對しては證人として齋藤吉、朴炳章、持田忠雄、野村秀次の四名に就き訊問を行ひ▲詐欺橫領鹽路男治に對しては事實の審理を行ひ午後二時過ぎ閉廷した

市中の噂

夏の市民享樂地は何んと云つても黄金臺だ身分の上下もなくホントの赤裸々で老幼男女の浴衣一重の無遠慮振り▲まして學校の先生か親父位しか恐い者のない小河童連の無邪氣な動作には喧嘩にもならない面白味がある▲或日三浦内務局長は波打際でポチャ〳〵否大に昔の鍛腕を揮つてゐたが少々勞れたので筏に取り付いた▲さ忽ち小河童連面白がつて筏をひつくり返す事數度、三浦さん遂に悲鳴?を擧て「モー止めてお呉れよ―」「なんだい――おぢさん弱虫だなア――……」▲河童連内務局長だか三浦さんかそんな事は一向御存じないので遂に三浦局長逃げ出しの一幕、依て件の如し

19664

眞に分岐点なり
貴下を悩ます胃腸病の治療には断じてこの
アイフの一罐こそ健弱の分岐点なり
慢性胃腸病は實に治り難い病氣で人目には左程大病らしく見えぬが、何しろ腸胃の機能がすつかり損じて其内壁には恐ろしき疵や爛れを生ぜるため
●食慾進まず胸先痞へ嘔つきゲップ出で
●いつも下痢や軟便にて便には粘液膿汁を混じ
●腹膨りゴロゴロブツ〳〵鳴り放屁多く下腹痛み
●滋養物を食するも身に付かず身體衰弱し
●元氣衰へ顔色惡く神經過敏にて短氣となり
●肺尖肋膜に故障生じ熱出で夜眠られず
●少しの飲酒や不消化物を食するも覿面下痢し痛み
●大便に血液膿汁を混じ胃癌胃潰瘍腸結核等の疑ある重症には斷乎としてアイフを服用し其の病根を除去せられよ。
アイフは胃腸病に對し實に適切なる良藥にして内服と同時に其主藥は腸胃内壁の潰瘍面又は糜爛面に附着し、炎症を鎭め、粘膜を強壯にし、粘液の分泌を減じ、腸の蠕動亢進を制し、下痢を止め、痛みを鎭靜す。故に的確に急性慢性の胃腸病を快癒せしめ、更に胃腸の機能を旺盛にし、食慾を進め榮養の吸收を佳良にし、血色を良くし、體重を増し元氣と健康とを著しく増進せしむ。
重ねて奬む貴下の慢性胃腸病には斷乎としてこのアイフを服用せられよ
適應症
◆急性胃加答兒 ◆慢性胃加答兒 ◆胃酸過多症 ◆胃液缺乏症
◆胃アトニー症 ◆胃擴張 ◆慢性胃弱 ◆急性腸加答兒
◆慢性腸加答兒 ◆大腸加答兒 ◆結核性下痢 ◆神經性下痢
◆腸潰瘍 ◆下痢性盲腸炎腹膜炎 ◆初期胃癌胃潰瘍腸結核
定價 三服入 二十錢・四日分 七十五錢・八日分 一円五十錢〜〜重症用 十一日分 五円
十七日分 三円・四十五日分 七円〜〜特製 廿三日分 十円
全國到る所の有名なる藥店に販賣す
發賣本舗 大阪市東區清水谷西之町 順和公司 振替貯金口座大阪三四五番 電話（東）五〇〇〇・五〇〇二・五〇〇三
摑め！ 縋れ！ 服め！
慢性胃腸病にはこのアイフの効能は實に覿面!!
THE AIFU
アイフ
MADE IN JAPAN

食糧調節のため婦女子は上海避難

邦人側の被害今後更に增大せん

慘！漢口の大水害

【漢口二十一日發】昨朝約五吋減水した市中の水は昨夕又復三吋增水し、その儘よどんでゐるがこれまで土色をしてゐた市中の水は今や青黑色に變じ汚物が混濁して漸次鐵漿樣の泥となり惡臭鼻を衝くに至つた、加ふるに日中は九十五六度の暑氣で惡疫の流行を見るは必然、思ふだけでも肌に粟を生ずる、邦人宅の倒潰はまだ無いが明治小學校等堅固な建物程水壓強く爲めに床板は殆ど全く彈き上げられ同文會經營の江漢中學の如き風浪のため倒潰の危險に瀕してゐる、邦人の被害は今後更に增大するものと見られ本當の受難はこれから始まらう、尙米は民團より配給しつゝあるも燃料不足のため紙その他手當り次第に焚きつゝある狀態で食糧調節のため婦女子を上海に避難せしめつゝある

支那の水害に同情

日本同仁會から救護班を派遣

赤十字も應急策協議

【東京特電二十日發】漢口銀行頭取入江湊氏は漢口大洪水罹災者救濟方をわが國民に依賴するため在留同胞二千四百名を代表して上京し十九日宮內省外務省日華實業協會同仁會等を歷訪し詳細に陳情報告更に二十日は大震災の時に支那からも多大の恩顧を受けた東京市へも交涉したが各方面でも友邦の天災のため種々救濟方法を講ずる事となつた、外務省亞細亞局でも具體策を建てるべく重光公使に詳報方直に電命するとゝもに各關係方面に救濟方を勸告した、同仁會では取敢ず靑島から救護第一班を組織して急派する事となり日本赤十字社でも幹部に飛電して二十一日午前緊急理事會を開き善後處置を講ずる事となつた

避難民の上陸禁止

窮した武昌當局

【漢口二十一日發】武漢三鎭は既に食糧品缺乏してゐるのに各地からの饑餓避難民は漢口二十萬、武昌五萬、漢陽二萬に達しそのうへ車夫四萬、埠頭苦力十萬失業し何れも餓鬼の如く飢え切つて居り、漸次險惡化せんとしてゐる、上海その他へ避難するものあるも避難民の入り込む數が餘程多く、饑餓民は增加の一途を辿る許りで對策に窮した武昌當局は近縣から船で來た避難民の上陸を禁止した

リンドバーク機

武魯頓灣曳航か

計吐夷で修理困難の際

【落石廿一日發】午前七時半新知丸發電＝昨夜は風強くリンドバーク機の修理は出來なかつた模樣である、只今當方面は非常な濃霧あり、リンドバーク大佐は武魯頓灣で修理を希望してゐるから計吐夷で波のため修理が出來ぬ場合は武魯頓灣まで本船が曳航するかも知れない

【落石二十一日發】午前十一時三十分新知丸發電＝リンドバーク機の故障は點火線とマグネットの一部にあるらしいとの事で新知丸は正午現場を出帆し武魯頓灣に曳航しようとしてゐる、目下波靜か發動機は武魯頓灣到着の上修理の豫定である

西川技師と職工急派

昨夜東京發

【東京二十一日發】遞信省航空局はリンドバーグ機に對する處置に就き戶川航空局長、伊勢谷、兒玉兩課長、陸軍省より軍務局から須田中佐、海軍々務局第二課長原大佐等參加して協議した結果、技師西川航空官（へ機體及び機關の專門家）を急派するに決し同技師中島飛行機製作所の職工二名を伴ひ二十一日夜十時靑森行列車で根室に急行する事となつた

技師派遣を電請

【東京二十一日發】在根室田中航空官から「リンドバーク大佐機武魯頓灣にて修理のため豫め技師派遣の御配慮請ふ」旨の入電があつた

武魯頓灣到着

【落石廿一日發】新知丸（百三十噸）は時速約五浬で計吐夷島北端より武魯頓灣まで十三浬であるから三時半頃迄には到着の豫定

出發不能

【落石二十一日發】新知丸は二十一日正午リンドバーク機を曳航して時速五浬で武魯頓灣に向ひつゝあるが、遲くも三時頃までには武魯頓灣に到着それより飛行機を海岸砂濱に引上げ修理にかゝる筈で今日出發出來ぬ事は最早確實となつた

張發奎が和尙に

張發奎は下野して和尙になるとの消息がある。張の軍隊は初め一萬あり有名な勇敢な軍隊だが數次の戰鬪に幾度も勝つたり負けたりを繰返し全滅に瀕した事も屢々である、今は五千の兵を抱いて居るが、久しく戰陣に出て東奔西走して居るので將士すべて歸心矢の如きものがある、然るに種々の事情あつて軍隊を廣東に廻す事が出來ない、將士多く逃げたり休暇を乞ふたりする、張發奎も一面部下に對する氣の毒でもあり一面廣東政府に對して不平でもあり旁々香港に行きて僧となり念佛懺悔を事となす積りだといふ

太平洋會議妨害

太平洋會議にはかれてから北平南京、上海各地の黨部が畢つて反對して居る、これは帝國主義者が羊頭をかけて狗肉を賣る誤覺化し手段であるといふのである、そこで浙江省の各縣黨部に向つて此會を杭州に開くのを拒絕せよと勸めて居るので、浙江省の黨部も早くから反對運動をやつてゐる、然るに籌備會の方では之等の反對運動に頓着なく着々準備を進めて居るので、躍起となつて妨害をして居る「會中の不肖華人は歡を帝國主義に失はん事を恐れて百方反對を緩和せんとして居る」とか「喪心病狂の徒にあらざる限りは早く既に俳中の黑幕を看透して之れを拒絕す」とか「極少數の分子之れによりて外人の餘瀝を啖吮せんと欲す」などと、幹事や委員を罵倒して居る、そして楊杏佛、馬寅初陳立夫の諸氏は委員を辭したと宣傳して居る

無靴下美人取締

支那のモガ連はいつも思ひ切つた服裝をするので警察では時々奇裝取締令を出す、此頃北平では、薄物を纏ひ短いスカートを附けてストッキングをはかずに市內公園を濶步する婦人が多いので見付け次第處罰する事にした

巫女捕りの懸賞

天津市では、懸ら寸巫女とモグリ醫者が迷信と生活難とに乘じて社會に害を流して居るので、捉へた者に五十元の賞金を與へる事にした

12A—3

實業、猛打を浴せ臺北軍に大捷す

きのふの第一回戰

臺北交通團對大連實業團第一回戰は二十一日午後四時半より實業球場で山口（球審）小池、和田（壘審）三氏審判臺北先攻で開始、實業軍打擊大いに振ひ、結局十二A—三で大捷す、時に閉戰同六時三十分

		勝	
臺北	木山田＝渡邊＝村尾＝多山	オ三黑田渡＝淺本＝內	9 0 3 2 7 1 4 6 8 6
實業	藤田＝武田島＝瀨井	中安津高宮山中岩武	7 4 5 9 6 3 8 1 2

回數	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
臺北	0	0	0	1	0	0	0	0	2	3
實業	3	0	1	3	4	1	0	0	A	12

▲第一回　臺北オ木三振、三振、黑田三飛（實業中川二安藤四球津田の三飛野手ファンブルしたゝめ津田を生かず1—1後のストレートを安藤二進高橋期待に背

右中間に三壘打して安藤、津田生還

宮武初球のスクイズバント惜くもファウルとなつたが渡邊宮武への1—2後の投球を暴投して

高橋も生還

實業先づ三點を占めて優勢、宮武左飛、山田三飛

▲第二回　田中左飛、渡邊輕く右中間に二壘打し中村の遊飛に三進したが淺尾捕前ゴロ（實業へ臺北中村退き石川二壘に入る）中島右飛、岩、左飛、武井遊飛

△第三回　臺北本多一壘強襲內山一二壘間をゴロで拔き才木も投手足下を直球で拔いて內山二進三山中飛後內山才木の重盜成つて滿壘となり本多一壘ゴロ

に二壘打

し渡邊の遊匍に三進PH石川（中村に代る）中堅にフライして田中生還し臺北一點を返す淺尾三匍（實業宮武遊擊右に單打、渡邊一壘に牽制誤投して宮武一擧三進山田一匍後中島の三匍を野手一壘に低投して宮武還り中島二進岩瀨初

球を右翼右に三壘打して中島も生還

武井遊飛で二死中川四球、安藤初球のスクイズバントを失し、岩瀨

三本間に挾まれたが

臺北三壘を留守にしたため岩瀨三壘に歸りこの時捕手二三壘間にあつた中川を刺さんと追ひつめる間に岩瀨本壘に走り捕手のホーへの返球おそくしかも惡投したため岩瀨生還安藤の中飛に漸く止む

▲第四回　臺北田中左中間

二死走者三、二壘を占めたが

黑田右飛（實業中三振安藤二壘右をゴロで拔い直ちに二盜、津田の二匍を野手ファンブルして更にこれを一に暴投したゝめ安藤一擧生還田二進、高橋遊直して津田と殺

▲第五回　臺北本多遊匍、內山二匍、才木左中間二壘打したが三山中飛（實業（臺北黑田投手渡邊一壘に交代）津田左飛、高橋三匍にセーフチイバントして生き宮武の三壘左の單打に高橋一擧三進しこの間宮武二盜、山

田左翼線に二壘打して高橋、宮武生還中島もまた左中間二壘

打し山田生還（臺北黑田田中退き木村投手小橋捕手となる）中島三盜、岩瀨の中飛で中島還り武井三匍

△第六回　臺北小橋三振、木村投匍、渡邊中越の大きな二壘打したが石川二匍（中川遊越單打して二盜安藤一飛津田二飛後高橋左前テキサスで中川三本間に挾まれたが中繼の投手失で中川生還宮武二匍

▲第七回　臺北（實業岩瀨退き因藤投手となる）淺尾遊匍本多遊匍惡投に生きたが內山三振才木中飛（實業山田四球中島二壘左に單打し山田三進中島二盜したが因藤三振武井の遊直を野手ヂヤンプして片手に投捕し更に中島へ併殺

△第八回（實業高橋退き木下右翼に入る）臺北三山二匍小橋捕前ゴロ木村遊匍▼實業中川、安藤津田三者共に左飛

△第九回　臺北渡邊二匍石川四球で二盜淺尾も四球に續き本多三振後內山高いボールを打つて一越二壘打し石川生還才木の遊匍を野手一壘に惡投したため淺尾も還り內山三進才木二盜臺北二點を收め最後の攻擊を思はせたがPH田岡（三宮に代る）空振の三振で空し

4A—0

中京商業優勝す

遠來の嘉義農林、力戰遂に空し

中等學校野球戰閉幕

【大阪特電廿一日發】全國ファンの人氣を集めて二十一日午後二時二分から甲子園球場にて擧行された嘉義農林對中京商業の全國中等學校野球優勝戰は昨夕飛既報の如く中京軍斷然嘉義軍を壓迫し遂に四A—〇で快勝、覇權を獲得した試合終了後滿場ファンの萬雷の如き拍手裡に大優勝旗は荒木委員長より中京の大鹿主將に授けられ若き球兒憧れの大會も無事終つた、因に第六回目からの經過左の如し

▲第六回　嘉義蘇の遊匍は內野單打となり上松の三匍に二進、吳の二匍に蘇三進したが東三振に凡退△中京大鹿ストレートの四球に浴し二盜なり恒川中飛の後櫻井當りそこねの一壘線上の單打に大鹿三進し櫻井も二盜したが鈴木右飛、村上遊匍に退く

▲第七回　嘉義眞山一飛、小里右飛、川原四球に出たが福島二匍△中京の守り益々固し△中京後藤三遊間單打、杉浦右飛の後吉田の三匍に後藤二壘に封殺され吉岡二壘上の內野單打に中京二死後好機を迎へたが大鹿左飛

▲第八回　嘉義平野三遊間を拔く單打に出で、蘇の二越飛球を二壘手よく背走して捕り上松の一邪飛を一壘手柵に倒れつゝ摑む美技に退けられ、吳の三匍は內野單打となり平野一擧三進本壘を窺つたが東の遊飛に惜くも好機を逸す△中京恒川投飛、櫻井二飛、鈴木三遊間單打を放ち投手暴投に二進したが村上遊飛に終る

▲第九回　嘉義最後の攻擊も中京の鐵壁堅く眞山三振、小里遊匍內野單打となつたが川原三振、福島また三振に萬事休す時に閉戰四時十分

嘉義	打數	得點	安打	犠打	盜壘	三振	四死	刺殺	補殺	過失
7 平野	4	0	1	0	0	0	0	1	0	0
8 蘇	4	0	1	0	0	0	1	0	1	0
6 上松	4	0	1	0	0	1	0	5	2	1
1 吳	4	0	1	0	0	0	0	2	3	0
2 東	4	0	0	0	0	1	0	2	0	1
5 眞山	4	0	0	0	0	2	0	0	3	0
3 小里	4	0	1	0	0	0	0	5	1	0
4 川原	3	0	1	0	0	2	1	6	2	0
9 福島	4	0	0	0	0	1	0	2	0	0
計	35	0	9	0	0	6	1	24	11	2

中京	打數	得點	安打	犠打	盜壘	三振	四死	刺殺	補殺	過失
7 大鹿	2	0	0	0	1	0	3	0	0	0
4 恒川	5	1	2	0	0	0	0	2	4	1
2 櫻井	4	1	2	0	1	0	1	9	2	0
9 鈴木	5	0	2	0	0	0	0	1	0	0
8 村上	4	0	1	0	0	0	1	1	0	1
3 後藤	3	1	2	0	0	0	1	12	0	0
6 杉浦	3	1	1	0	1	0	1	1	3	0
1 吉田	4	0	0	0	0	0	0	1	0	0
5 吉岡	3	0	1	0	0	0	1	0	2	1
計	33	4	11	0	3	0	8	27	11	3

暴投一吳2　捕逸一東1　併殺一吳一小里

大鹿主將語る

始めて甲子園へ來て優勝する事が出來たのでまるで夢のやうです、嘉義軍の吳投手も仲々立派なものですが待球主義に出た作戰が功を奏したのと全員よく緊張してやつて吳れましたので何うやら勝つことが出來たわけでせう

飛田穗洲氏評

攻守共に中京は嘉義に對して一日の長があつた、この試合の結果は順當といふの他はない、ただ試合が面白くなりはせぬかと思つたのは臺灣の投手吳が今までの試合に現はしたやうなコントロールのあるカーヴを充分に發揮することが出來れば相當中京の打擊を封ずるであらうから試合は必ずしも中京に有利とのみ觀られないのであつた、吳は前日小倉の試合に全力を盡して戰つた疲れが癒へず、爲めにそのカーブにコントロールがなく中京のために打たれて三、四回に致命的な四點を擧げられて遂に勝を讓つた、これに反し中京の吉田のコントロールは良く殊に後半になつて益々投球は冴えて來たので臺灣の打擊をもつてしては何うすることも出來なかつた、要するに嘉義は荒削りの憾みがあり洗練味がなかつた、今日の結果は嘉義としては誠に已むを得ないものであつたらう

フランスで好評の軌道バス

汽車から自動車へと運輸機關の中心が移つて行く時に今度はフランスでその中間の軌道バスといふのが發明され、既に實施されて居るが汽車に比し振動が少く且つ汽車に比し費用も安くつくので非常に好評を博して居る【寫眞は軌道バスとその特別裝置をした車輛がバスのタイヤに特別裝置を施したもので鐵の車輛に比し】

廢業願を認めて開業の分を保留

新菊水と警察の方針

待合新菊水の財產爭ひは娘の野木一子さんが義父の田中力吉氏に五千圓で財產、營業權利一切を含めて賣却することゝなり一段落を告げ一子さんは二十日新菊水の廢業願を大連署に

提出

同時に田中力吉氏から新菊水を一萬八千圓で買取つて美濃町藝妓置屋八千久席こと猪森千代氏が食客宇澤茂次郞氏名義で新規待合營業の許可願を提出したが大連署では廢業のみを認め新規營業の分に對しては保留してゐる右は營業名義人こそ違ふが實質は藝妓置屋の猪森氏が待合を營業することになるので大連署では潮月淡月其他の三業乃至二業の營業制度を改め單式營業となし花柳行政の根本的

改革

を行はんとしてゐる矢先きて八千久席の兼業はこの際當局の方針と異り、殊に三業組合でも兼業の弊害を認めて反對的意向を持つてゐるのでその許可は至難であると見られてゐる

持逃げした居候逮捕

廿日カフエーで

市內加賀町三一新橋カフエー中村力雄方にては本月十二日より廿日午後四時ごろまでの間に同家の金十五圓（女給の金）をはじめ十圓金貨假り指輪二個、女物縮緬羽織一枚（價卅圓）同羽二重羽織一枚（價卅圓）中村氏預金の正隆銀行預金通帳（三千圓）一通がいつの間にか紛失してゐるのを發見二十日午後急ぎこの旨大連警察に屆出でたので大連署にては直に取調の結果當時同家寄食中の佐賀縣東松浦郡唐津生れ前科四犯市丸儀一郞（三〇）を指名犯人として同人を搜査の結果廿日午後七時半ごろ春日町カフエー綠水で大連署和田、遠藤兩刑事が逮捕直に本署に連行關係者を呼出し目下嚴重取調中

打し山田生還

活動の僞電事件不起訴

松竹映畫上映權をめぐつて捲き出された僞電事件は南信次氏の告訴により常盤館々主吉田辰次郞氏を營業妨害、小田英澄氏を文書僞造で大連檢察局井關檢察官係取調中であつたが二十日正式不起訴に決定した

米兩飛行家

橫斷許可を申請

航空局は許可に難色

【東京特電二十日發】パーンドン、パングボーン兩氏は淋代を出發點とする太平洋橫斷飛行を行ふべく大使館を通じ我外務省へ願書を提出した之が許可問題に就いての航空局の意嚮は航空局へ未だ何等の通知も願書も出てゐないのだから其前に何とも云ふ事は出來ないが兩氏と同樣の行爲を日本の飛行家が爲した場合日本の航空法は操縱士免狀を取上げるか又は一定の期間免狀停止を爲し事實上の飛行の禁止を行ふことになつて居り米國の商業航空法でも同樣の規定があるので日本としては米政府の發行した兩氏の免狀停止は出來ぬが兩氏の飛行許可に就いては相當の難色あるものと觀られてゐる

田代領事に陳情書

紛糾の長春鮮人民會

長春鮮人民會の紛糾に就ては既報の如くであるが民會現幹部反對派の結束して二十日田代領事あて陳情書を提出した、右陳情書は現會長金東曉氏の詐欺橫領、文書僞造行使背任等その罪狀を三項に明記し更に目下領事館に拘禁中である吳泰淳を釋放することゝ、現民會の幹部を總辭職せしむることを決議した長春鮮人市民大會實行委員の名によつて提出したが、金東曉は二十日既に辭表を出したと傳へられてゐるゝ總辭職後の民會役員に就いては目下領事館に於ても研究中のもの如くであるが從來の紛糾軋轢からして相當干涉の態度に出るだらうと豫想されてゐる【長春電話】

蟹工船の網を

ロシア漁夫竊取

【東京二十日發】去る十四日日本蟹工船巖丸の蟹刺網五十反を竊取せんとしたロシア蟹工船漁夫八名船諸共逮捕せるに今まで千五百反の網を竊取せることが判明したので農林省は外務省を通じ嚴重抗議すると共に賠償を要求した

藏前謠曲會

藏前工業會滿洲支部は八月十二日の同窓會席上で田島豐治（元大連工場設計長）千石眞雄（鐵道部技師）兩氏の發起により會員中の同好の士を集め藏前謠曲會を設立その發會を來る廿三日（日曜）午後一時より老虎灘千勝館にて開催する由同會は同好の士は奮つて參加を希望すと申込は中野方へ

曙の鐘 (25)

倉田潮

淺枝次朗畫

淺草のサンタ・マリア (六)

春木は何處に行つても皆冷たく追ひしりぞけられた。總ての人に見はなされて、何處にも取りつくしまがないやうな氣がした。

だが、何うして世の中と云ふものはかうまで冷たいのか。何うしてかうまで虐げられる人と暴逆を加へる人の不平等があるのだらう。しかも、訴へようとしても訴へをきいてくれるところは全くない。法律はないのか、道德はないのか神は……あつたらなぜ暴逆をいましめないのか、虐げられたものを助けないのか。

春木は一人眠れない夜の机によつて、青ざめた顏を双の腕に埋めてゐた。が、或る日彼はふと一人殘された女の友達のことを思ひついた。——京極よもぎ、百合子のことだつた。

夜になるのを待ちかれて、彼は淺草行きの電車に乗つた。晝の中はまだ暑いのに、夜になると秋の忍び足に近づいてゐることが、澄み渡つたコバルトの空に知られた。片われ月が利鎌のやうに深い海に似た空に浮んでゐる。車窓からジッと其の様を見てゐると、こんな美しい空の下に虐げられた人間がゐるといふことが不思議な、あり得ないことに思はれて來た。

淺草は例の通りの人出だつた。彼は疲れた身體を引きづるやうにして、OKチャリネの裏口を這入つた。小舍番の老人が二階の樂屋へ上つて行つたと思ふと、入れ違ひに慌だしい足音が梯子段をおりて來た。京極よもぎ——昔の水野百合子だつた。

「まあ、正雄さん、よくこそ……さ、きたないところだけど」と彼女は春木の手をとつて引つぱりあげた。「靴のまゝでいゝのよ。おぢいさん、特急で客辨だわ。それから酒。さ、正雄さん、お上んなさい」

表の舞臺からは口上が終つたらしく、チャリネ特有なかけ聲につれて、樂隊が「なげきの王女」をうたひ出した。ほこりにまみれた階段を春木は溫い友情を感謝しながらあがつて行つた。たえ子に別れてから今初めて彼は人の心の溫さに接したのだつた。

二階は幾室にも小さく區ぎつてあつて、何の部屋にも一座の人が二、三人づゝゐるやうだつた。女はたいてい鏡に向つて化粧くづれをなほしてゐた。男ははだぬきで氷を食べたり、將棋をさしたりしてゐる。京極よもぎは、その小部屋の前を通つて暗く穢いしたく部屋をすぎて突きあたりのドアをあけ、可成り廣い、とは云へ同じやうにほこりによごれた六疊に彼を案内した。

「正雄さん、さ、何卒、座つて下さい。この部屋ね、私の新ハスの騎太郎てかんちん元の部屋なのよ」と彼女は非常にはしやいでゐた。

「もうあなたのこと、彼氏に話してあるのよ」

「結婚したんですか」と春木も強ひて笑ひながら「御目出たう」

「私、とつてもすご腕でせう。かんちん元をおとしいれるなんて、確に傾國の美もあつた譯だわれ」

そこへおぢさんが辨當や酒を持つて來た。春木は京極よもぎが氣輕に總てを打ちあけたのに力を得て、たえ子のことを詳しく話し出した。

「そりあ、ひどいわれ」と聞き終ると彼女は唇をかんだ。「でも、また警察へ訴へる譯にも行かないし、困つたわれ。それにあなたは逢はうとしても逢はせないんぢやさぞ辛いでせうれ。私苦勞をしてゐるから、その氣持がよく解るわよ。ほんとに何とかして、連れ出してあげたいわれ」

暫く話してゐる中に先程のおぢいさんが、また部屋へやつて來て「カジノ、ドロリゲ」から電話がかゝつて來てゐると告げた。

「フン、あの、先程騎太郎の方へかけて來た家でせう」

と、よもぎはさう云つて出て行つた。春木はもう歸らうと思つて電話口に行つて見ると、よもぎがそこにゐたので

「よもぎさん、僕、もう歸る」

と、側に行つて聲をかけた。とたんによもぎが電話を切つて飛び出して來て

「正雄さん、とツてもうまいことがあるわ、あなたにたえ子さんを逢はしてあげることが出來るかもしれないわよ」

と、喜びを滿面にかゞやかして春木をまたグン／＼引つぱりながら元の部屋へ連れ戻して行つた。

けふの放送

大連 JQAK　八月二十二日

▲自二十二日午後四時野球連絡放送（滿倶對臺北第一回戰）▲自、後七時三十分ニユース ▲獨逸語講座「テキスト」第十七課大連語學校講師萩榮 ▲混聲四部合唱（イ）めでたき御身モザート作、（ロ）輝く朝、山田耕作作曲、（ハ）里祭、同、同聲會大連支部本科會有志 ▲映畫物語（元祿十三年）常盤座瀬愛光 ▲浪花節（建久美談賴朝公酒宴の場）吉川晴雲 ▲ラヂオ體操 ▲職業紹介 ▲料理献立 ▲天氣豫報

東京 JOAK

自廿二日午後六時卅分 ▲講演（日本の景色と文化）安部能成 ▲俚謠（安來節）松江お糸、森山淺乃、松江花香、三味線山本太市、鳴物吉川玉子 ▲常盤津、新荷雪間市川（新山姥）淨瑠璃常盤津文字太夫、同咲太夫、同春衍太夫、三味線同文左衛門、上調子同文之助 ▲連續講談（大島屋政談）第四席西尾麟慶

講談社原稿大募集

大日本雄辯會講談社では今回逸品雄篇を懸賞募集すると、即ち一般大人向き原稿、子供向き原稿共に

▲讀物（小説、講談その他四百字原稿紙三十枚以內、子供向きは同二十枚以內）優秀篇一篇に付き賞金五十圓以上二百圓迄

▲記事（美談、苦心物語、その他原稿紙十枚以內）優秀篇一篇に付き賞金十圓以上百圓迄

▲小物（小話、考へ物、その他、用紙ハガキ）一篇に付き優秀賞金三圓以上十圓迄

外に佳作賞の規定もある、又家庭向き特別原稿として

▲實話 原稿紙五枚乃至十枚）優秀篇一篇につき賞金五圓以上五十圓迄

▲經驗談（原稿紙五枚內外）優秀篇一篇につき三圓以上三十圓迄

是等の優秀篇佳作は夫々の向きによりキング、富士、講談倶樂部、婦人倶樂部、雄辯、現代、及び少年倶樂部、少女倶樂部、幼年倶樂部に掲載すると